FAIRYLAND

Computer Sewing with Embroidery.

使用の手びき

型式：Computer 9800DX

SINGER®

このミシンを安全にお使いいただくため、この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお読みください。「使用の手びき」は手元に保管し、末長くご活用ください。

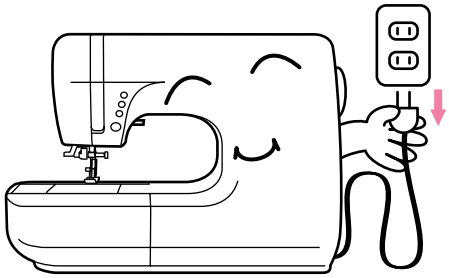
このたびはシンガーミシンをお買いあげいただきましてありがとうございます。
このミシンは、高性能で非常に使いやすく出来ております。
また、直線ぬいやジグザグぬいはもちろん、装飾模様や文字ぬい、ボタンホールぬいなどが簡単にぬえる家庭用コンピュータミシンです。
さらに付属の刺しゅう機を取り付けることによって、美しい刺しゅうぬいを簡単にぬうことができます。
このミシンは、日本製です。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。　FOR USE IN JAPAN ONLY.

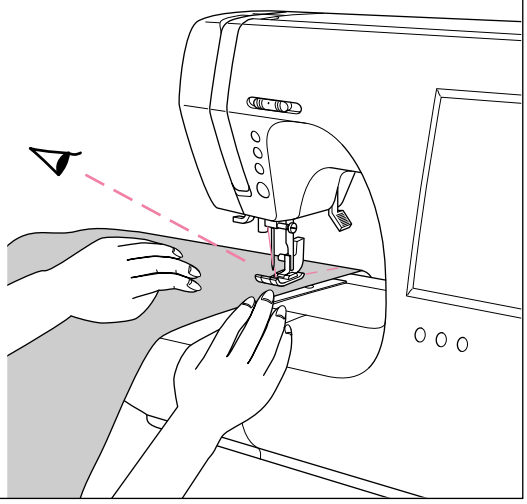
⚠ 警告　感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源 100 V でご使用ください。
2. 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
   ・ミシンのそばを離れるとき。
   ・ミシンを使用したあと。
   ・ミシン使用中に停電したとき。



⚠ 注意　感電、火災、けがなどの原因となります。

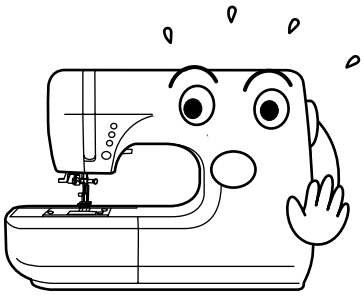
1. お客さま自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びん、刺しゅう枠、キャリッジなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
3. 曲がった針はご使用にならないでください。
4. 裁縫中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

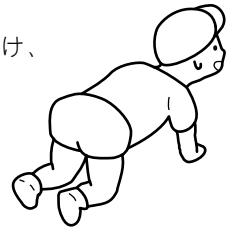


このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「使用の手びき」をよくお読みください。
「使用の手びき」は、保証書とともに大切に保管してください。

シンガーは、皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、デザインまたは、付属品を変更することがあります。

⚠ 安全にご使用いただくために

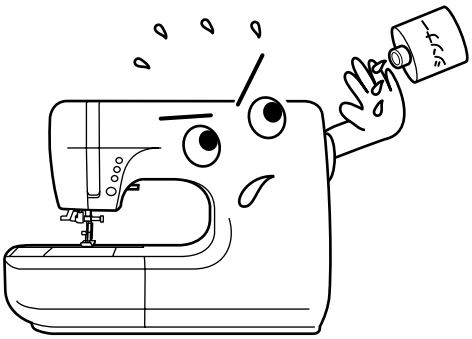




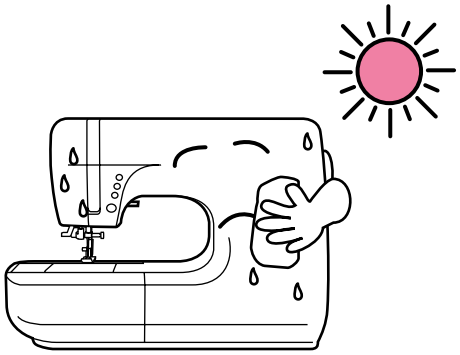
5. お子さまがご使用になるときや、お子さまの近くで使用されるときは、特に安全に注意してください。
6. コントローラー（別売品）の上にものをのせないでください。
7. 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
   - ・針、針板、押え、アタッチメントを交換するとき。
   - ・刺しゅう機、刺しゅうカードの取り付け、取りはずしの時。
   - ・ランプを交換するとき。（ランプが冷えてから行ってください。）
   - ・「使用の手びき」に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。
   - ・原則として上糸、下糸を交換するとき。
8. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店、または「お客様相談係」（裏表紙参照）にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。
   - ・正常に作動しないとき。
   - ・落下などにより破損したとき
   - ・水に濡れたとき。
   - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
   - ・異常な臭い、音がするとき。
9. ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
10. ミシンの持ち運びは、必ずハンドルを持って行ってください。
11. 刺しゅう機を取り付けたまま持ち運ばないでください。刺しゅう機がはずれて落ちる恐れがあります。
12. ミシンおよび刺しゅう機のスキマや穴に、針やドライバーなどの異物を入れないでください。もし、まちがって入ってしまった場合は、使用をやめ、ご購入店、または「お客様相談係」（裏表紙参照）にご連絡ください。

ミシン・刺しゅう機の取り扱い

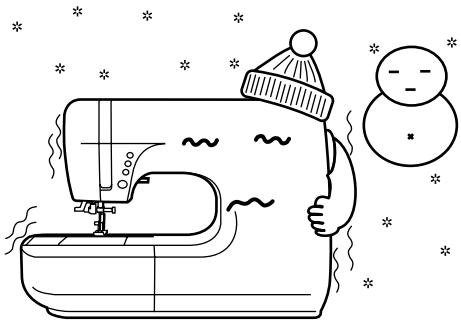
- シンナーやベンジンなどでふかないでください。
  汚れたら、やわらかい布に中性洗剤を少し含ませて、よくふき取ってください。



- 直射日光に当てたり、高温多湿のところには置かないでください。



- 低温の場所から出したときは、普通の温度になじむまで、しばらく置いてください。
  時間がたてば正常に作動するようになります。
  保管は、なるべく寒いところをさけてください。

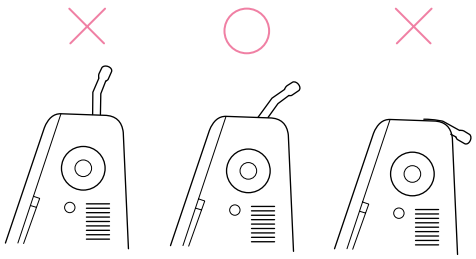


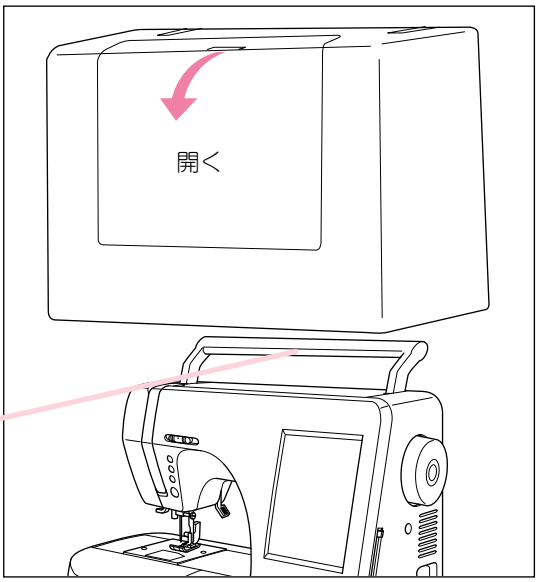
ミシンカバー

ミシンカバーの扉を開くと、この手びきがしまえるようになっています。

ミシンカバーをふくときは、きれいなやわらかい布をお使いください。

ミシンカバーは、ミシンのハンドルを少し斜めにしてかぶせます。





もくじ

始めに

安全にご使用いただくために ..... 表紙裏
ミシン・刺しゅう機の取り扱い 2
ミシンカバー 2

各部の名称とはたらき

各部の名称 4
付属品・補助テーブル 6
付属品 6
補助テーブルのあけ方 6
補助テーブルのはずし方 6
電源を入れましょう 7
電源の入れ方 7
操作パネルが見にくいときは 7
お知らせメッセージ 7
各部のはたらき 8
スタート・ストップボタン 8
スピード調節つまみ 8
糸切りボタン 8
針上下ボタン 8
押え上げレバー 8
返しぬいボタン 8
コントローラーのご案内（別売り） 8
操作パネル 9
使い方ボタン 9
ぬい選択ボタン 9

上糸・下糸の準備

自動糸調子 10
糸と針の選び方 11
針と押えの取りかえ方 11
針の取りかえ方 11
押えの取りかえ方 11
下糸の準備 12
ボビンの取り出し方 12
下糸の巻き方 12
ボビンの入れ方 13
上糸の準備 14
上糸のかけ方 14
糸通しの使い方 15
下糸の引き上げ方 15

ぬってみましょう

ぬってみましょう 16
ぬい始め～ぬい終わり 16
返しぬい 17
ぬい方向のかえ方 17
厚地のぬい始め 17
段ぬい 17

実用ぬい

実用ぬいの選び方 18
実用ぬいの選び方 18
ぬい目の長さと幅の調節 18
ぬい方ボタンの使い方 19
地ぬい（直線ぬい） 20
自動返しぬい付直線ぬい 20
ジグザグぬい 21
伸縮強化ぬい 21
伸縮ぬい 21
ふちかがりぬい（たち目かがり） 22
まつりぬい（ブラインドステッチ） . 23
ファスナー付け（つき合わせ・脇あき） .. 24
つき合わせ 24
脇あき 25
つくろいぬい（点線ジグザグぬい） . 26
パッチワーク 26
クロスステッチ 27
フリーアームぬい 27

実用ぬい

アップリケ 28
ピンタック 28
スカラップ 29
かざりぬい 29
ボタンホールぬい 30

模様・文字ぬい

模様・文字ぬい 32
模様・文字の選び方 32
模様・文字の確認 33
模様・文字の削除 33
模様・文字のぬい方 34
組み合わせ例 35
ぬい目の形の調整 35

刺しゅうぬい

刺しゅうぬいの準備 36
刺しゅう押えの取り付け 36
刺しゅう機の取り付け 37
刺しゅう模様の選び方 38
大型模様の選び方 38
ワンポイント模様の選び方 38
模様を選んだら； 38
刺しゅう文字の選び方 39
よこ書き文字・たて書き文字の選び方 39
アルファベットの選び方 40
刺しゅうカードの使い方 41
刺しゅうカードの取り付け方 41
模様の選び方 41
刺しゅう枠の設定 42
布、糸、針の準備 42
刺しゅう枠の設定 42
刺しゅう枠の取り付け 43
布の取り付け方 43
刺しゅう枠の取り付け方 43
ぬってみましょう（模様） 44
ぬってみましょう（文字） 45
レイアウトの調整（模様） 46
レイアウトの調整（文字） 47
ぬい範囲の確認 48
応用ぬい 48
模様と文字の組み合わせぬい 48
アップリケ刺しゅうのぬい方（別売り） 49
こんなときには 50
小さい布や布端にぬうには 50
ぬいの途中で糸が切れたり、なくなったら 50
ぬいを中断するには 51

仕様・お手入れ

ミシンと刺しゅう機の仕様・お手入れ 52
ミシンと刺しゅう機の仕様 52
ランプの交換・注油 52
かまと送り歯の掃除 53
お知らせメッセージ 54
不調の原因と処置 56

ぬい目一覧

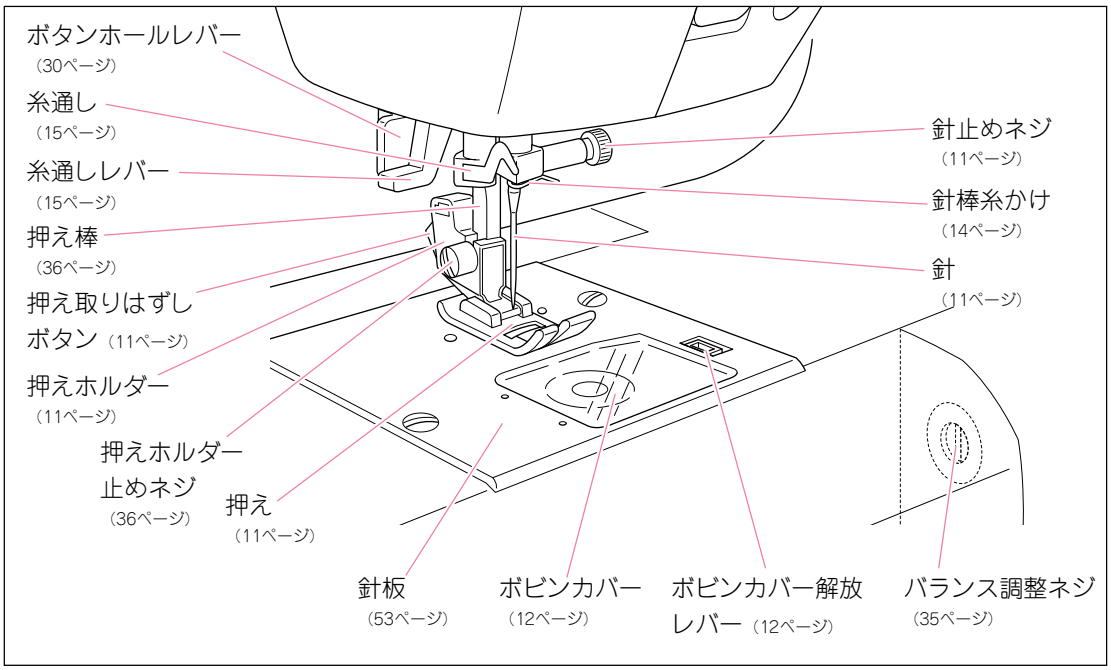
ぬい目一覧（実用・模様・文字ぬい） .. 58
実用ぬい 58
模様ぬい 58
文字ぬい 59
刺しゅう一覧 60
文字ぬい 60
ワンポイント模様 61
大型模様 63

修理サービス

修理サービス要領 ..... 裏表紙

各部の名称

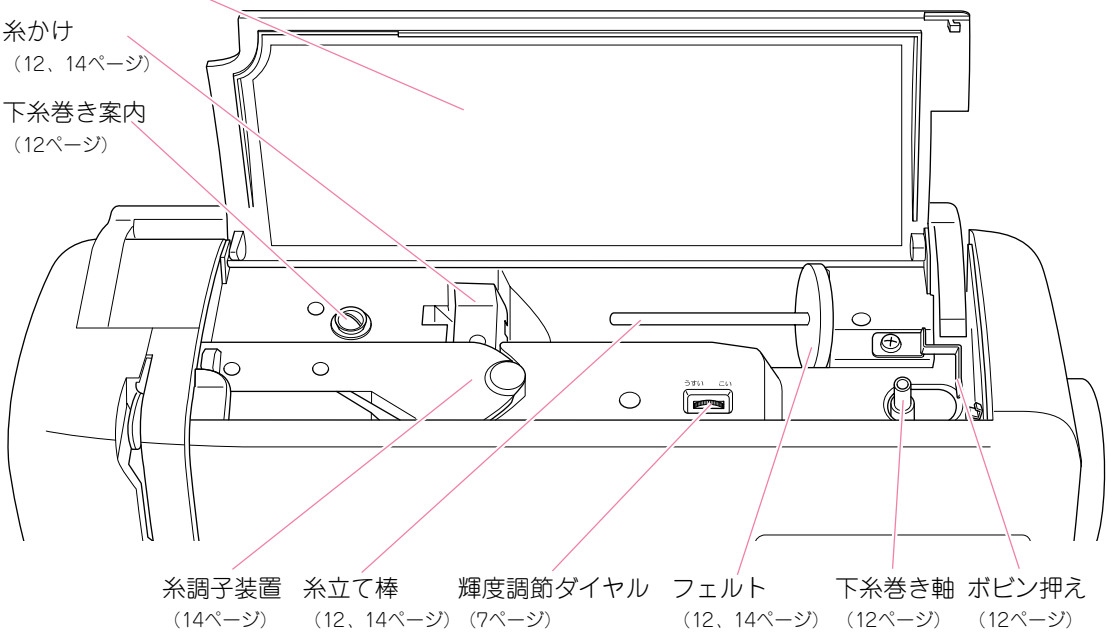
面板・ランプ（52ページ）
天びん（14ページ）
トップカバー（5ページ）
ハンドル
スピード調節つまみ（8ページ）
糸切りボタン（8ページ）
針上下ボタン（8ページ）
返しぬいボタン（8ページ）
スタート・ストップボタン（8ページ）
はずみ車
刺しゅうカード取り出しボタン（41ページ）
刺しゅうカード差し込み口（41ページ）
電源スイッチ（7ページ）
コントローラージャック（8ページ）
補助テーブル（6ページ）
押え上げレバー（8ページ）
ぬい選択ボタン（9ページ）
操作パネル（9ページ）
電源コード（7ページ）
電源プラグ（7ページ）



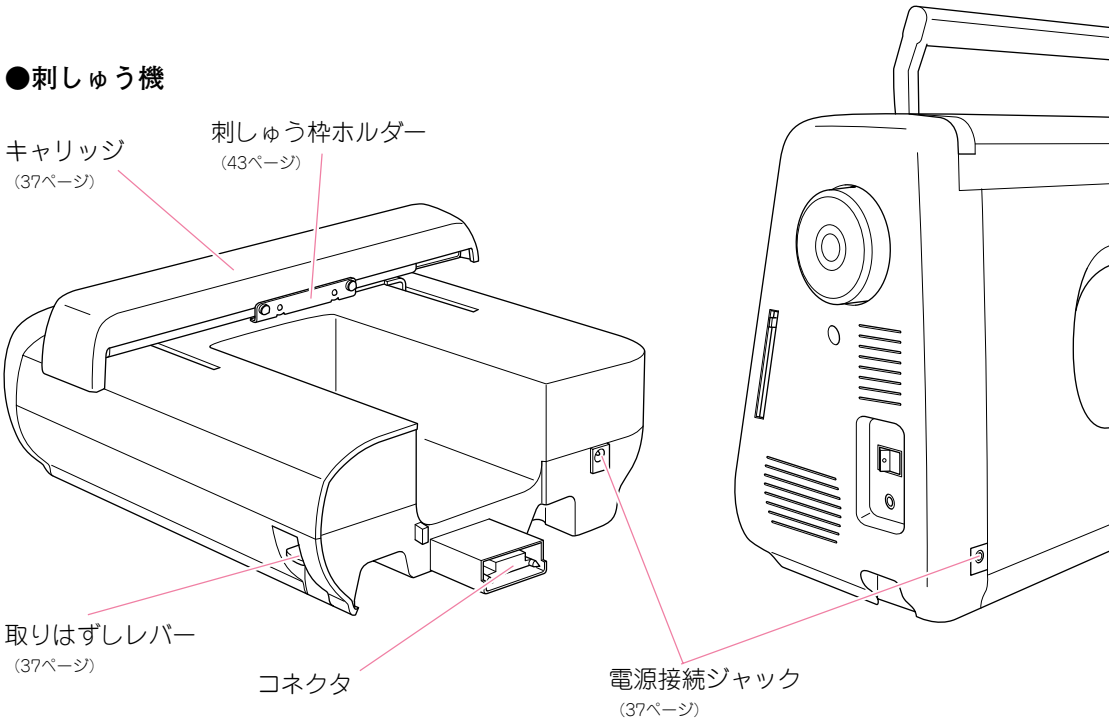
●トップカバー内部

●トップカバーのあけ方

トップカバーの右下をかるく押すと、カバーが少し浮き上がります。
閉めるときも、カチッと音がするまでかるく押し込んでください。



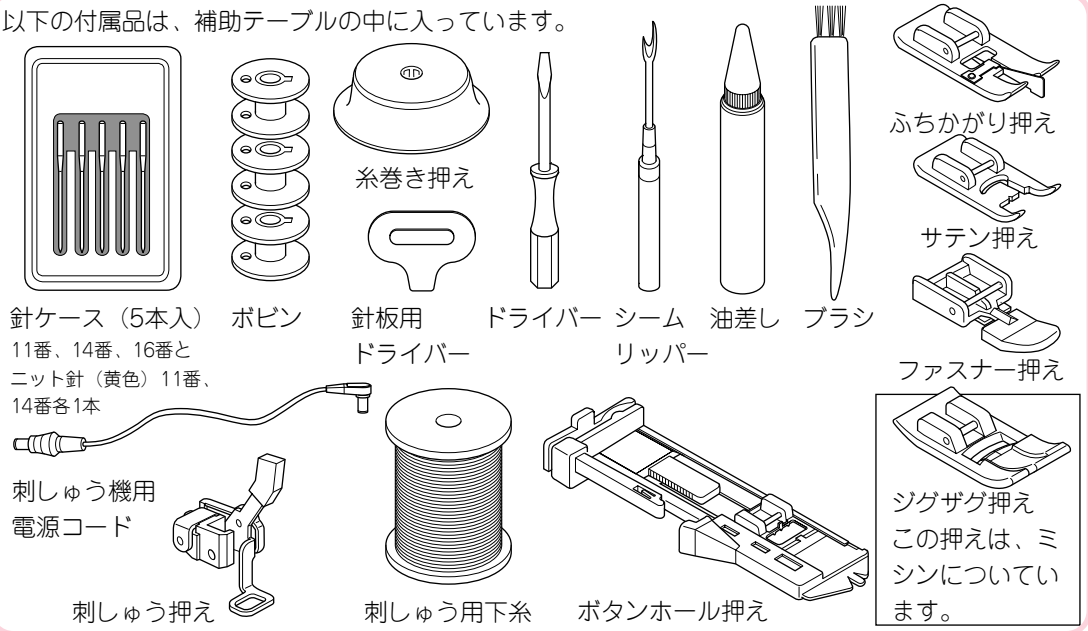
●刺しゅう機



付属品・補助テーブル

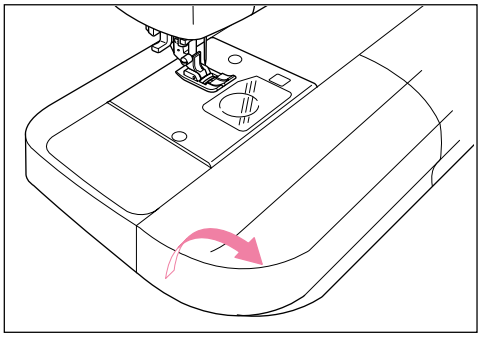
●付属品

以下の付属品は、補助テーブルの中に入っています。



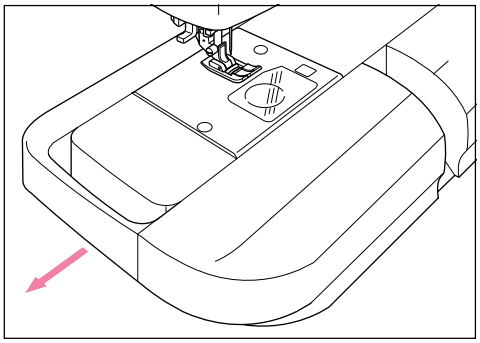
●補助テーブルのあけ方

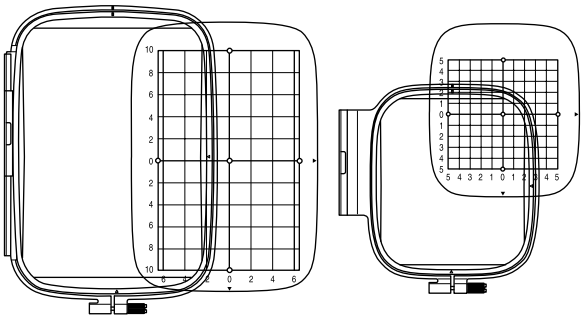
補助テーブルの左側に指をかけ、上に引き上げます。



●補助テーブルのはずし方

補助テーブル左下のみぞに指をかけ、左に引きます。





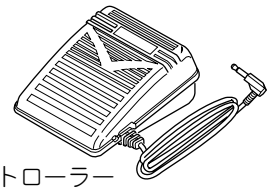
刺しゅう枠（大）
テンプレート（大）

刺しゅう枠（中）
テンプレート（中）

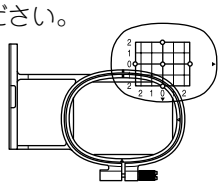
刺しゅうカード
（おじゃる丸）

●別売り品のご案内

お求めは、販売店にご相談ください。



コントローラー

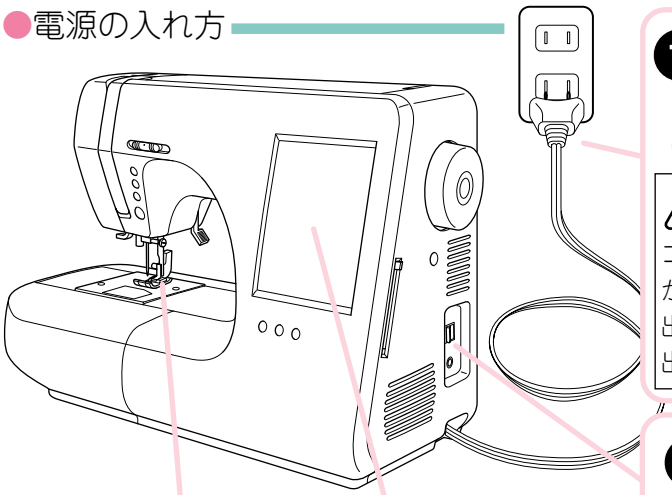


刺しゅう枠（小）と
テンプレート（小）

刺しゅうカード
（各種用意してあります。）

電源を入れましょう

●電源の入れ方



❶ 電源プラグを引き出し、室内の電源コンセントに差し込みます。

コードをしまうときは、コードを少し引っ張ってはなせば自動的に巻き込まれます。

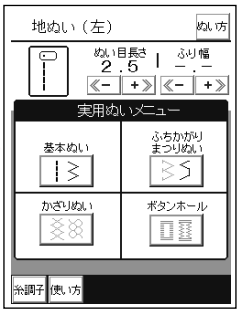
⚠ **警告：感電、火災を防ぐために；**
コードを引き出しすぎると断線の恐れがありますので、赤いマーク以上引き出さないでください。黄色のマークが出たら、まもなく赤いマークです。

❷ 電源スイッチの手前側（●マークのある方）を押すと電源が入ります。

注意：
電源を入れ直すときは、電源を切って数秒待ってから入れてください。あまり早く入れ直すと、操作パネルが表示されないときがあります。

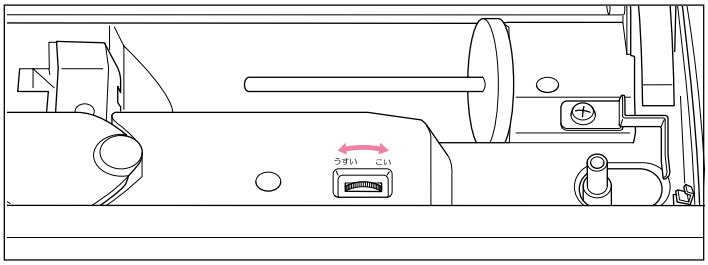
❸ 電源を入れるとランプが点灯し、ぬいの手元を明るく照らします。

❹ 操作パネルにはオープニング画面が表示されます。
ここで画面を軽く押すと、実用ぬいメニューが表示され、自動的に地ぬい（左）が選ばれます。



●操作パネルが見にくいときは

トップカバー内部の輝度調節ダイヤルを回して、濃さを調節してください。



●お知らせメッセージ

このミシンは、ぬい目を選んだり、スタートさせるなどの操作を行うときに、ミシンがその操作を行える状態になっているかを自動的にチェックします。もし、その操作を行えないような場合は、操作パネルにメッセージが表示されますので、それに従ってミシンの状態を直してください。（54ページ「お知らせメッセージ」参照）

針を上に上げてください

⚠ **警告：事故防止のために；**
ミシンを使わないときやお手入れの際は、必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。

各部のはたらき

●スタート・ストップボタン

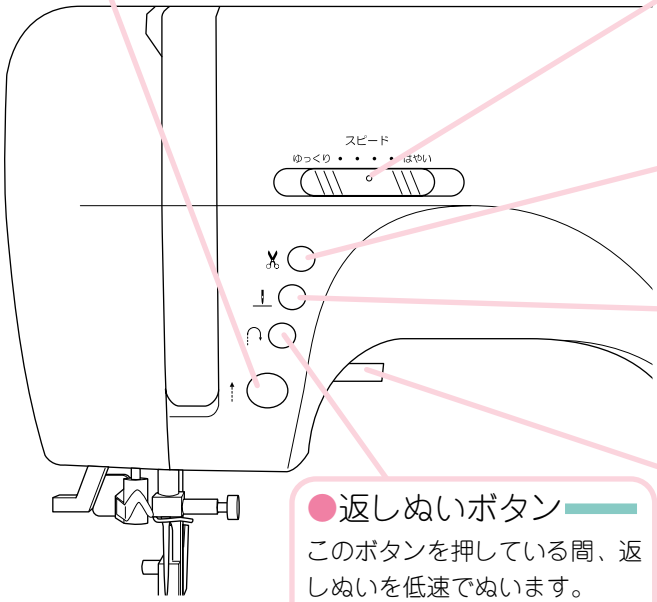
一度押すとスタートし、もう一度押すとストップします。
ぬい始めは、ゆっくり回ります。

●お知らせランプ
緑の点灯 .. スタートできます。
赤の点灯 .. スタートしません。
赤ランプのときにこのボタンを押してもミシンは、スタートしません。
また、ランプが緑でも上糸が正しくかけられていなかったり、なくなったときには、安全装置が働いて数回転して停止します。糸を正しくかけ直して、お知らせメッセージの「戻る」ボタンを押してください。

●スピード調節つまみ

右に動かせば、だんだん速く、左に動かすとゆっくりになります。

注意：ケガ防止のために；
針先には十分注意してください。
刺しゅう機を取り付けて、刺しゅうぬいをするときのスピードはミシンが自動で調整します。



●糸切りボタン

ぬいの終わりにこのボタン押すと、上糸と下糸を同時に切ります。
＊30番以下の太い糸や特殊な糸には、糸切りボタンを使わないでください。

●針上下ボタン

このボタンを押すたびに針の位置が上下に切りかわります。
上位置から続けて 2 回押すと 1 針ぬいになります。

●押え上げレバー

押えの上げ下げをします。
押えが上がっているときは、お知らせランプが赤く点灯し、ミシンはスタートしません。（下糸巻きを除く）

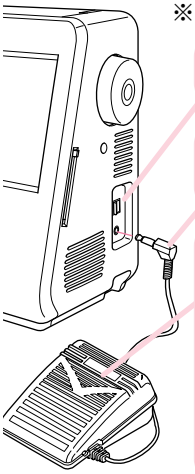
●返しぬいボタン

このボタンを押している間、返しぬいを低速でぬいます。
ボタンをはなすと止まります。

●コントローラーのご案内（別売り）

コントローラーを使えば、足の操作でミシンのスタート・ストップ、スピードの調節ができるようになります。

※コントローラーを接続するとスタート・ストップボタンはきかなくなります。
※刺しゅう機を取り付けての、コントローラーの使用はできません。



❶ 電源スイッチを切ります。

❷ コントローラーのプラグをミシンのジャックに差し込みます。

❸ コントローラーを足元に置き、電源を入れなおします。
ペダルを踏むとミシンがスタートし、強く踏み込むほどスピードが速くなります。
ペダルをはなすとストップします。
●スピード調節つまみは、最高スピードを調節します。速くしたいときは、「はやい」にセットしてください。

●コントローラーは、必ず「シンガー純正の専用品」をお使いください。
●お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

警告：感電、火災を防ぐために；
コントローラーは、落としたり、座ブトンの下において使用しないでください。

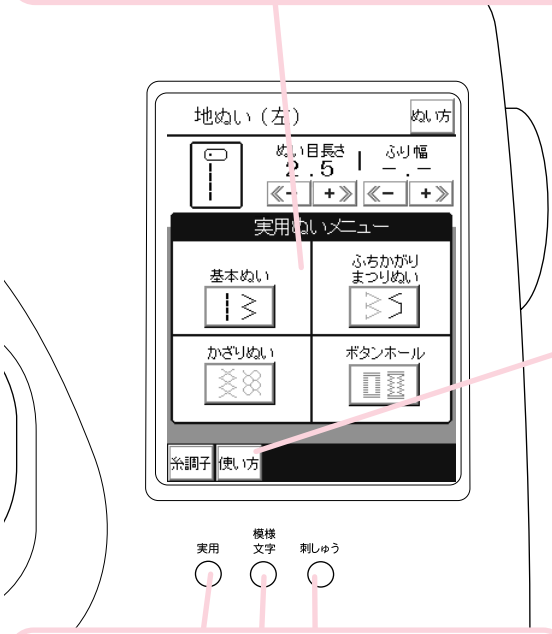
注意：ケガ防止のために；
コントローラーを接続するときは必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

●操作パネル

画面に表示されるボタンを押して、ぬい目の選択などの操作を行います。電源を入れると、オープニング画面が表示されます。この画面を軽く押すと、実用ぬいメニュー画面になります。

ご注意：

操作パネルは、あまり強く押さないでください。強く押しすぎると、故障の原因となります。また、必ず指で操作してください。先のとがったものや、かたいものを使うとパネルに傷が付いたり、故障の原因にもなります。



●ぬい選択ボタン

ぬいの目的に応じて 3 種類に分けられています。

実用ぬいボタン

洋裁に必要な基本的なぬい目が選べます。
電源を入れて、オープニング画面を押した後には「地ぬい（左）」が選ばれます。実用ぬいの選び方は18ページをご覧ください。

模様・文字ぬいボタン

密着模様や装飾模様、ひらがな、カタカナ、アルファベットを自由に組み合わせてぬうことができます。模様・文字ぬいの選び方やぬい方は32ページ以降をご覧ください。

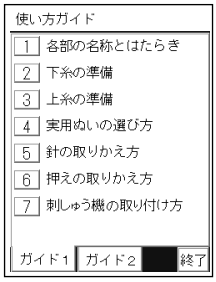
刺しゅうぬいボタン

刺しゅう機を取り付けて、美しい刺しゅうをぬうことができます。刺しゅう機を取り付けないとこのボタンは選べません。刺しゅうぬいの選び方やぬい方は36ページ以降をご覧ください。

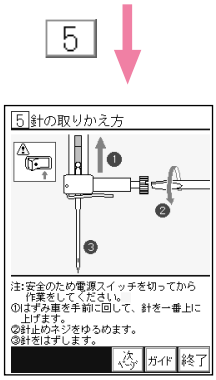
●使い方ボタン

このボタンを押すことによってミシンの基本的な使い方を知ることができます。

1. 「使い方」ボタンを押します。
   「使い方ガイド１」が表示されます。
   「ガイド２」ボタンを押すと、次の項目が表示されます。
   使い方ガイドの項目は、トップカバー内側に表示されています。

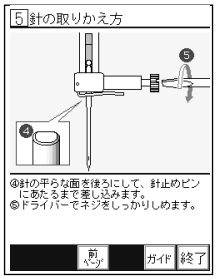


2. 知りたい使い方の番号ボタンを押します。
   その項目の最初のページが表示されます。



3. 「次ページ」ボタンを押すと、次のページが表示されます。
   「前ページ」ボタンを押すと、前のページに戻ります。

- 「ガイド」ボタンを押すと、使い方ガイド画面に戻ります。
- 「終了」ボタンを押すと、「使い方」ボタンを押す前の画面に戻ります。

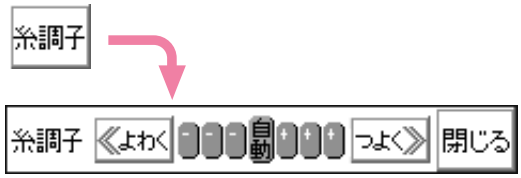


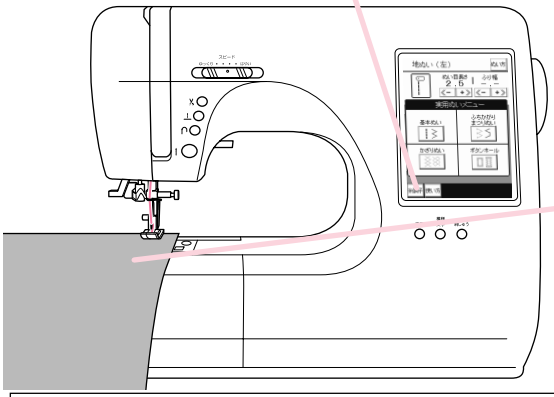
「使い方」を表示しているときは、お知らせランプが赤になり、ミシンはスタートしません。

自動糸調子

このミシンは、上糸調子をぬい目に合わせてコンピュータで自動的に調整します。
電源を入れると糸調子は、「自動」にセットされます。

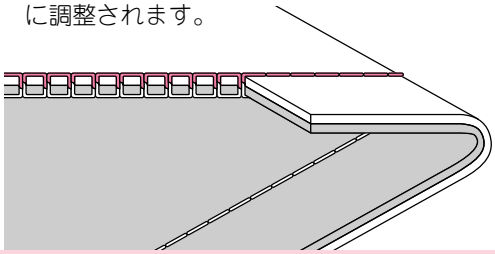
上糸調子をかえてぬいたい場合は、「糸調子」ボタンを押して、調節することができます。



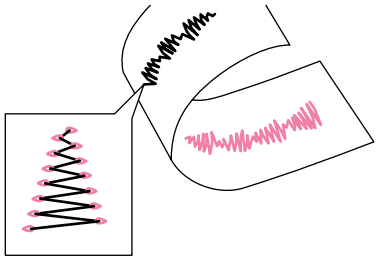


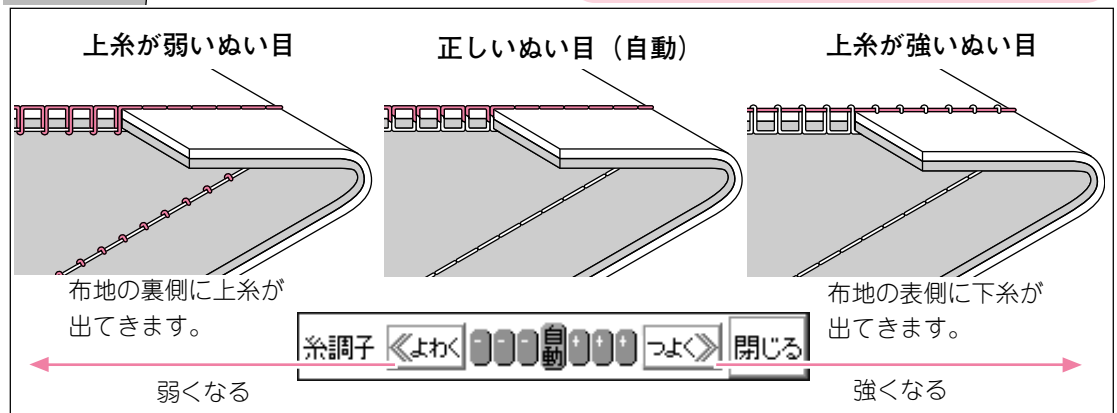
●「自動」での糸調子

上糸と下糸が布地のほぼ中央でまじわるように調整されます。



装飾模様や、文字ぬいでは、きれいにぬえるように上糸が少し布の裏側に出るように調整されます。



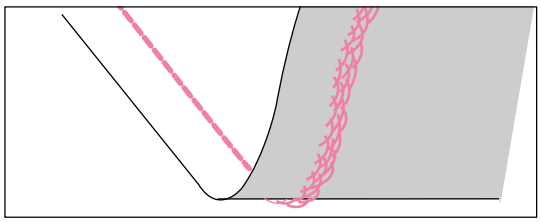


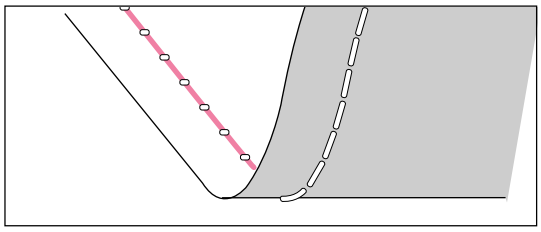
「よわく」ボタンを押すごとに上糸調子は弱く、「つよく」ボタンを押すごとに強くなります。
調節が終わったら「閉じる」ボタンを押します。（糸調子は、電源を切るまで記憶されています。）

●こんな場合は…

図のように布地の上側は普通にぬえて、下側がタオル地のようになるときは、上糸のかけ方（とくに、上糸調節装置への）が違っています。14ページをご覧の上、正しくかけ直してください。

また、糸調子が「自動」になっているのに、下糸が布地の表側に出てくるときは、ボビンの入れ方が違っています。13ページをご覧の上、正しく入れ直してください。





糸と針の選び方

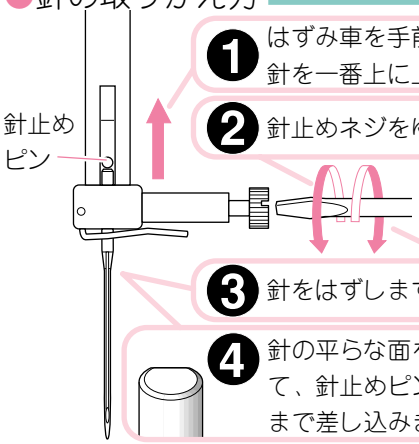
糸と針は、おぬいになる布地の種類や厚さに応じて選びます。

布地の種類	糸の番号	針の番号	ぬい目の長さ
薄地： 薄地ジョーゼット、オーガンディー、 ボイル、タフタ、絹布など	綿　80〜100 絹　60〜80 化繊糸 80〜100	9〜11番	（直線ぬい） 1.4〜2.5ミリ
普通地： ギンガム、ピケ、リンネル、さらさ木綿、サテン、 薄手のコーデュロイ、別珍、一般服地など	綿　50〜80 絹　50 化繊糸 50〜80	11〜14番	2〜3ミリ
厚地： ギャバジン、ツイード、デニム、 キルティング、コーデュロイなど	綿　30〜50 絹　50 化繊糸 30〜60	14〜16番	2〜4ミリ
伸縮性の布地： ダブルニット、トリコット、 スパンデックス、ジャージなど	化繊糸 50〜80 絹　50 ニット用糸	11〜14番 ニット用針	1.4〜3ミリ

針と押えの取りかえ方

注意：ケガ防止のために；
針や押えを取りかえるときは、安全のため、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

●針の取りかえ方



❶ はずみ車を手前に回して、針を一番上に上げます。

❷ 針止めネジをゆるめます。

❸ 針をはずします。

❹ 針の平らな面を後ろにして、針止めピンにあたるまで差し込みます。

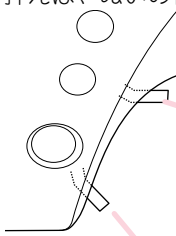
❺ 付属のドライバーでネジをしっかりしめます。
注意：市販の大きなドライバーなどであまり強くしめつけないでください。故障の原因となります。

注意：ケガ防止のために；
1. 針は、家庭用ミシン針とご指定の上、お買い求めください。
2. 曲がった針や、先がつぶれている針は、ご使用にならないでください。

取り付け前には、針板など平らなものにのせ、のぞいて見て確かめてください。

●押えの取りかえ方

押えは、ぬいの種類や用途によって使い分けます。



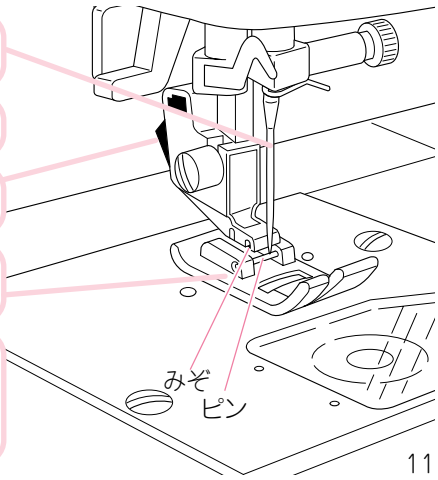
❶ はずみ車を手前に回して、針を一番上に上げます。

❷ 押え上げレバーを上げます。

❸ 押え取りはずしボタンを押します。
押えがはずれます。

❹ 交換する押えのピンを、押えホルダーのみぞの真下に合わせます。

❺ 押え上げレバーを下げます。
ピンがみぞにはまります。
もし、完全にはまらないときは、取りはずしボタンをかるく押してみてください。



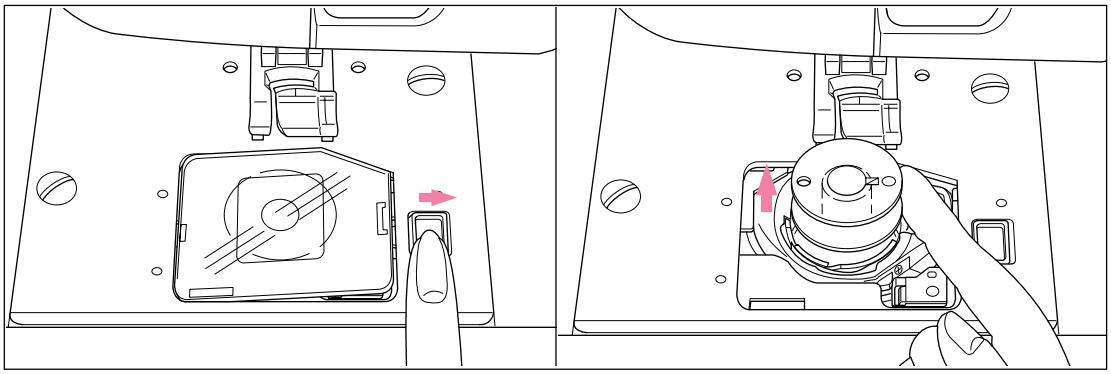
刺しゅう押えの取り付け方は36ページをご覧ください。

下糸の準備

●ボビンの取り出し方

1 ボビンカバー解放レバーを右に押して、ボビンカバーを取りはずします。

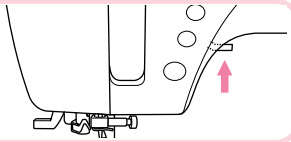
2 ボビンを取り出します。



●下糸の巻き方

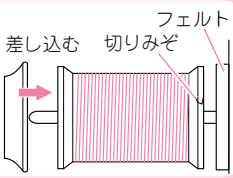
番号順に行います。

❶ 押え上げレバーを上げます。



❷ トップカバーを開けます。

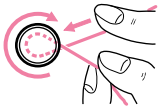
❸ 糸立て棒に糸コマを入れ、糸巻き押えを差し込みます。
糸コマに切りみぞがある場合は右にセットします。



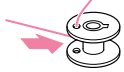
❹ ミシン本体についている①～③の順番で糸をかけます。

① 糸かけにかけます。
両手でしっかりかけます。

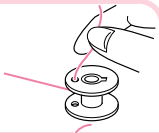
② 下糸巻き案内にかけます。
中までしっかり巻きつけてください。



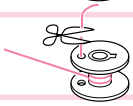
③ ボビンの穴に糸を通します。
ボビンを下糸巻き軸に差し込み、右へ押しつけます。



❺ 糸はしを持ちながら、ミシンをスタートさせます。
スピードをゆっくりに調節します。



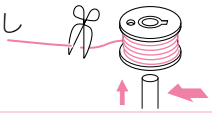
❻ 少し巻いたら、いったん止めて、余分な糸を切ります。



❼ もう一度スタートさせます。
スピードを調節します。

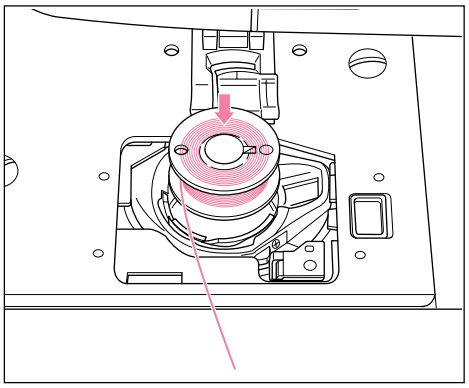
❽ 糸がボビン押えにあたるまで巻かれて、回らなくなったら、ミシンをストップさせます。

❾ 糸を切り、下糸巻き軸を左に戻して、ボビンをはずします。

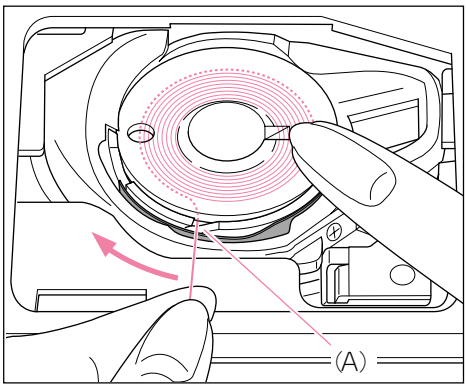


●ボビンの入れ方

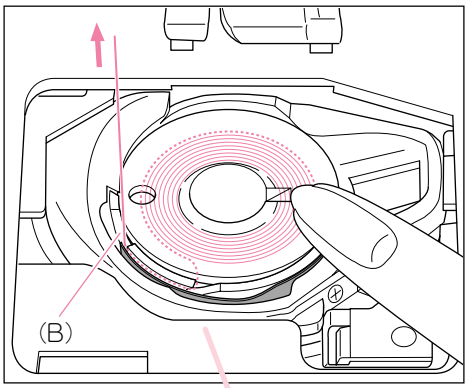
1 糸が図のような方向から出るようにして、ボビンを入れます。

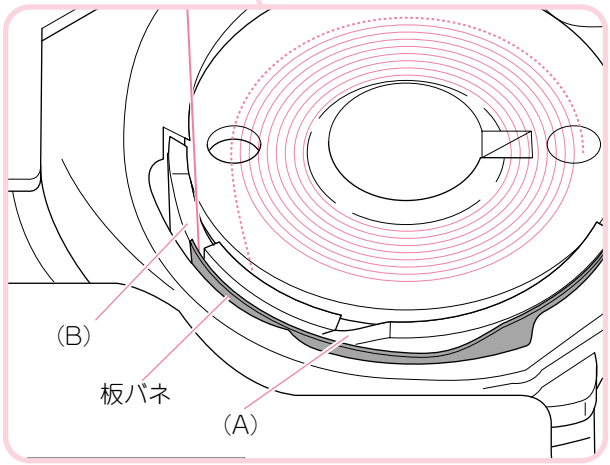


2 ボビンが回らないように押えながら、糸を手前のみぞ（A）にかけます。

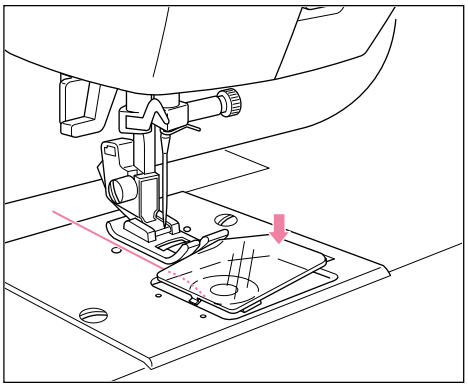


3 糸をみぞにかけたまま左に引き、板バネの内側を通るようにして、みぞ（B）にかけます。





4 糸を10cmくらい引き出します。ボビンカバーの左側のツメを針板のみぞに合わせ、右側をかるく押して、カバーを取り付けます。

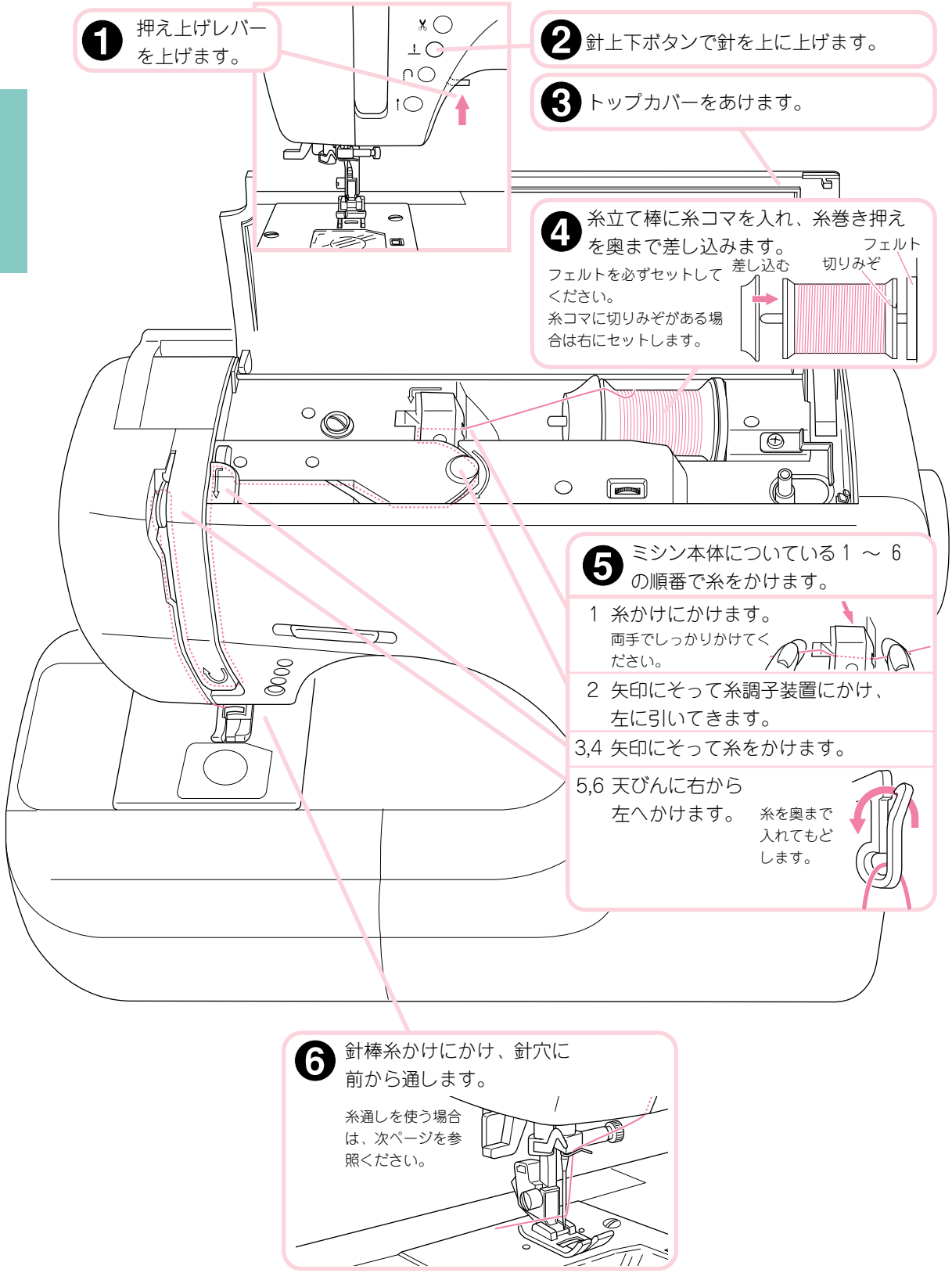


お知らせ：
ボビンは、専用のものをお使いください。

上糸の準備

●上糸のかけ方

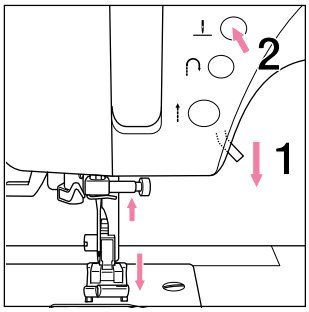
番号順に正しくかけてください。



●糸通しの使い方

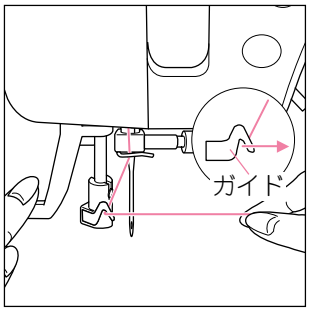
注意：ケガ防止のために；
糸通しを使うときは、針先に十分注意してください。
ミシンが動いているときに糸通しレバーは下げないでください。

1 押えを下げます。
2 針上下ボタンで針を上げます。

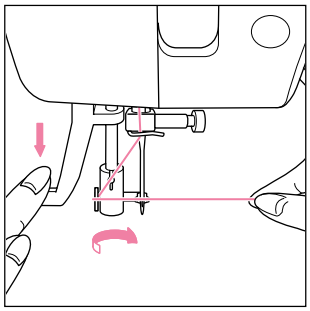


針は11、14、16番が使えます。

3 糸通しレバーをかるく下げ、糸を糸通しのガイドにかけて、右に引いてます。

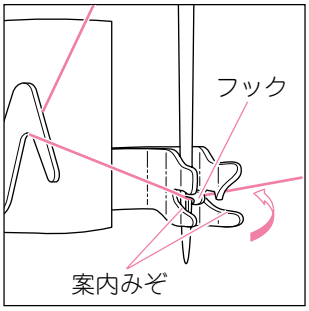


4 レバーをいっぱいに下げます。



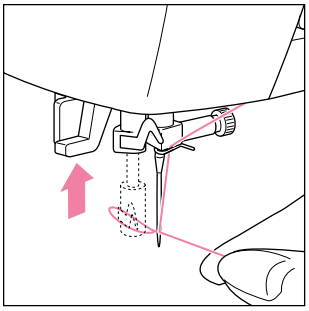
糸通しが回転し、フックが針穴を通ります。

5 糸を案内みぞの奥まで入れます。



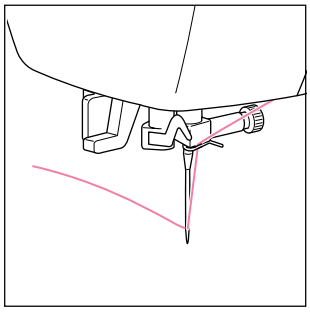
糸がフックに引っかかります。

6 糸をかるく持ってレバーをはなします。



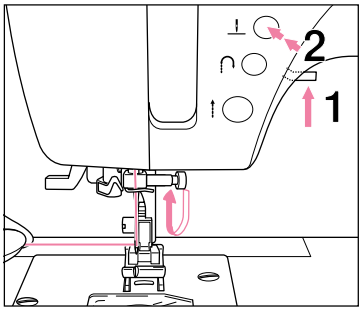
フックが戻り、糸が輪になって針穴を通ります。

7 糸はしを針穴から10cmくらい引き出しておきます。



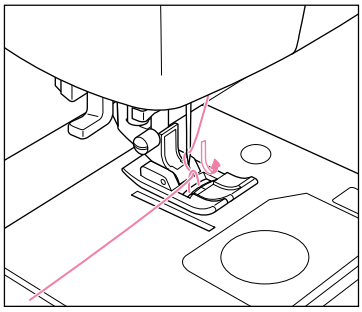
●下糸の引き上げ方

1 押えを上げます。
2 上糸をかるく持ちながら、針上下ボタンを2回続けて押します。

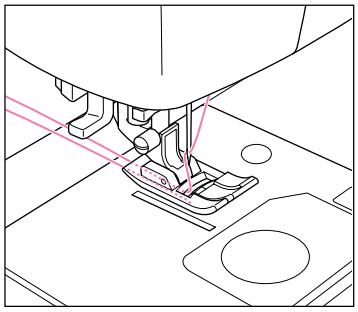


はずみ車が手前に1回転します。

3 上糸を静かに引くと、下糸が輪になって出てきます。



4 上糸と下糸をそろえて押えの下から10cmくらい後ろへ出しておきます。



ぬってみましょう

電源を入れて、オープニング画面を押すと、地ぬい（左）が選ばれます。

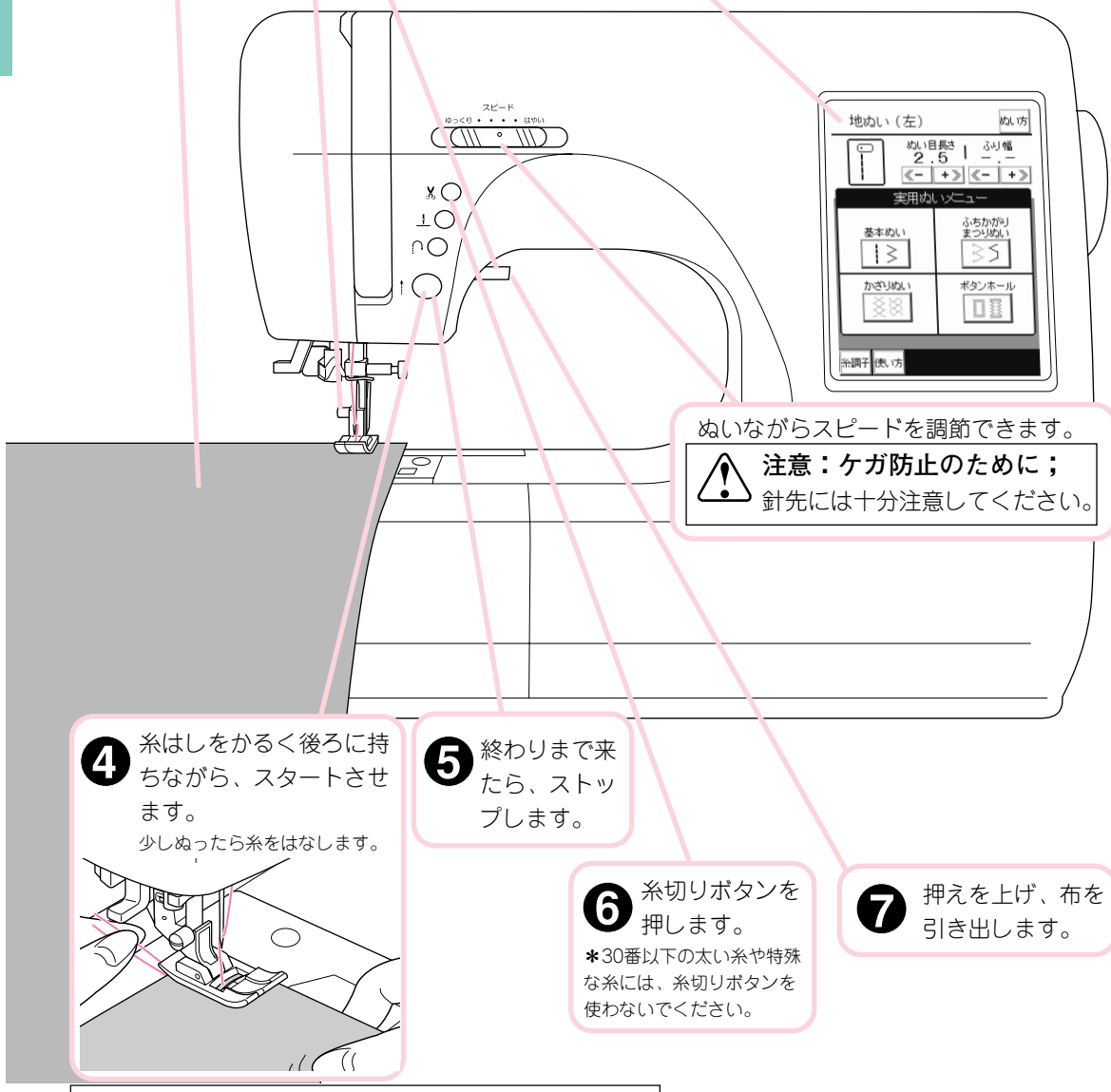
●ぬい始め〜ぬい終わり

安全装置：
このミシンは、押えを上げたままではスタートしないようになっています。
また、ぬいの途中で上糸が切れたり、無くなった場合には、自動的に停止します。
（54ページ「お知らせメッセージ」参照）

❶ ぬい目と押えを確かめます。（ジグザグ押え）
押えの取りかえ方は11ページを参照ください。

❷ 布地を入れます。

❸ 押えを下げます。



ぬいながらスピードを調節できます。

注意：ケガ防止のために；
針先には十分注意してください。

❹ 糸はしをかるく後ろに持ちながら、スタートさせます。
少しぬったら糸をはなします。

❺ 終わりまで来たら、ストップします。

❻ 糸切りボタンを押します。
＊30番以下の太い糸や特殊な糸には、糸切りボタンを使わないでください。

❼ 押えを上げ、布を引き出します。

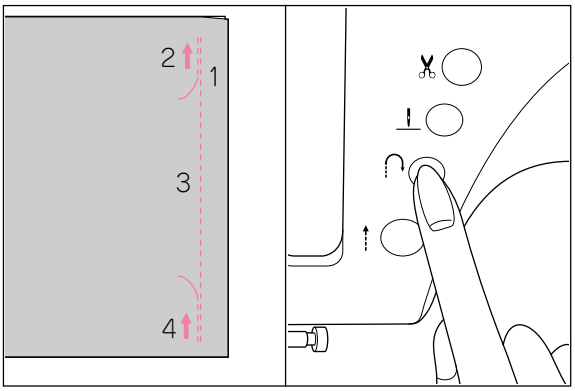
注意：ケガ防止のために；
布地はミシンによって自動的に送られますので、無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が折れケガをする恐れがあります。

●返しぬい

ぬい目のほつれを防ぐため、ぬいの始めと終わりに返しぬいをします。

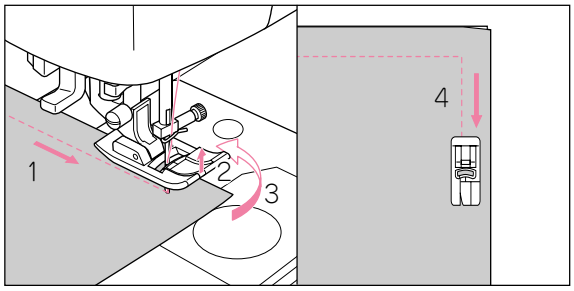
1. 返しぬいの分、布を奥に入れて押えを下げます。
2. 返しぬいボタンを押しながら、4〜5針返しぬいをします。
   ボタンをはなすと止まります。
3. スタートボタンを押して、ぬい進めます。
4. 終わりまで来たら、返しぬいボタンを押します。

＊ 自動返しぬい付直線ぬいは、始めの返しぬいを自動でぬいます。（20ページ参照）



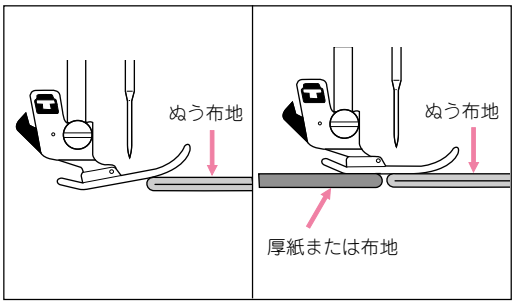
●ぬい方向のかえ方

1. 布地の角まできたら、ストップします。
2. 押えを上げます。
3. 針を軸にして布地を回し、ぬい方向にセットします。
4. 押えを下げて、ぬい始めます。

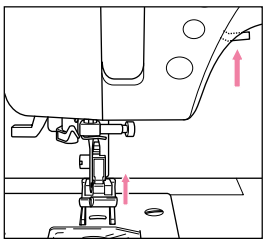


●厚地のぬい始め

厚地の布はしからぬい始めるときに、押えが傾いてスムーズにぬえないことがあります。
このようなときは、押えの下に、同じ厚さの布や厚紙をあてがってぬい始めます。

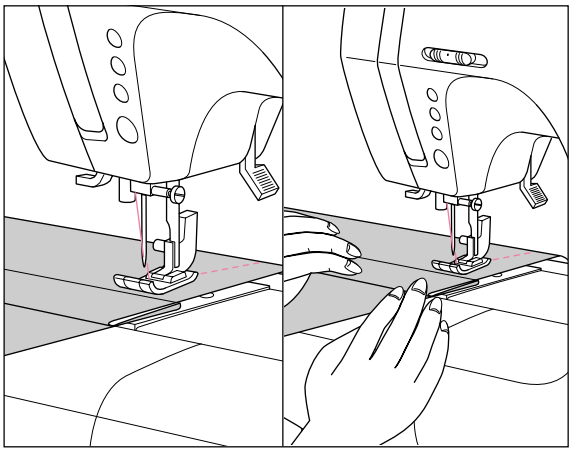


＊ 押え上げレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、厚地の布が入れやすくなります。



●段ぬい

布地が重なって、急に厚くなった部分をぬうときは、手で布の送りを助けながらぬいます。



実用ぬいの選び方

洋裁に用いる基本的なぬい目が選べます。

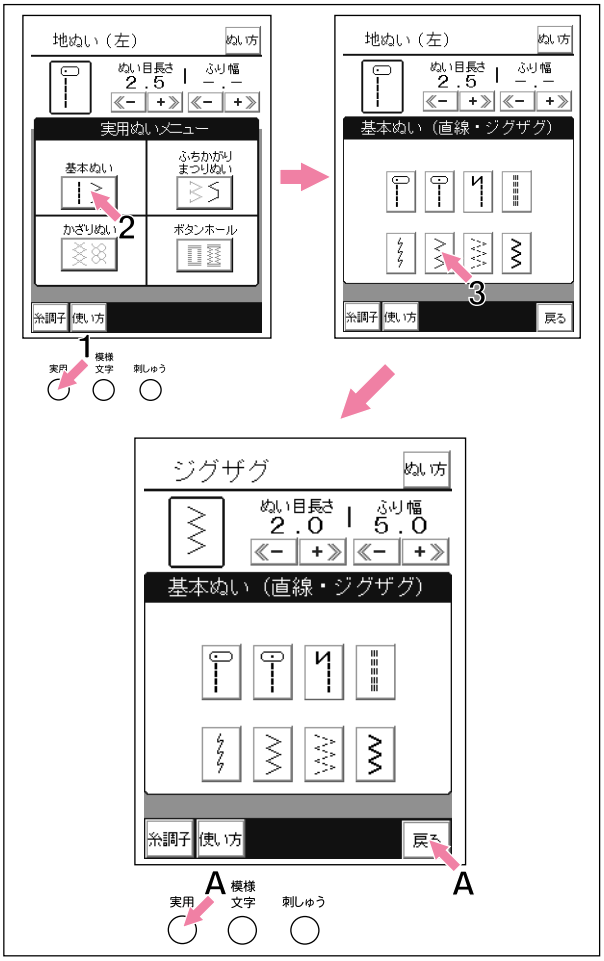
●実用ぬいの選び方

1 「実用」ボタンを押します。
実用ぬいメニューが表示されます。
（電源を入れたときには、オープニング画面を押してもこの表示になります。）

2 実用ぬいのぬい目は、ぬいの目的に応じて4つのグループに分かれています。
ぬいたいぬい目のグループ選択ボタンを押します。
操作パネルにそのグループのぬい目が表示されます。

3 ぬいたいぬい目のボタンを押します。
選んだぬい目が操作パネル上部に表示されます。

A 別のグループのぬい目を選びたいときは、「戻る」または「実用」ボタンを押して、メニューに戻ります。
実用ボタンを押したときは、選んだぬい目も地ぬい（左）に戻ります。

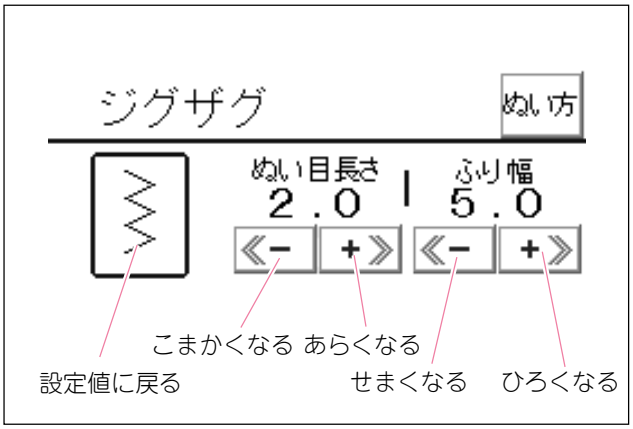


●ぬい目の長さと幅の調節

実用ぬいでは、ぬい目の長さと幅（ふり幅）を調節することができます。

ぬい目を選ぶと、あらかじめ最適な数値に設定されたぬい目長さとふり幅が表示されます。
調節するには、それぞれの＋、－ボタンを押します。
左側のぬい目ボタンを押すか、ぬい目を選び直すと、設定値に戻ります。

ピピピッと音がなったら、それ以上の調節はできません。
表示のでないふり幅は、調節できません。



●ぬい方ボタンの使い方

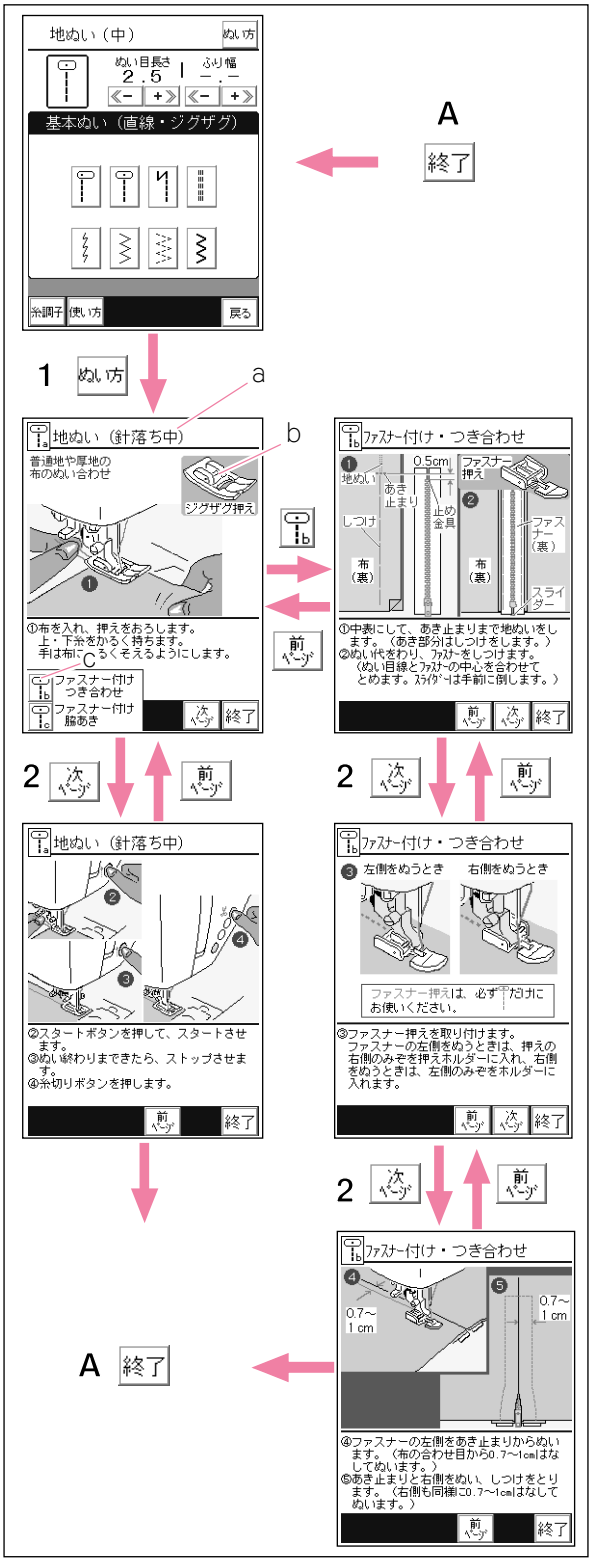
実用ぬいのぬい目を選んだあと、「ぬい方」ボタンを押すと、そのぬい目を使ったぬい方の説明を見ることができます。

1 「ぬい方」ボタンを押します。
選ばれているぬい目の最初のぬい方画面が表示されます。

a. 一番上にぬい方の名称が表示されます。
b. このぬい方に適した押えが表示されます。
c. このぬい目で、他にもぬい方がある場合には　そのぬい方のボタンが表示されます。
ボタンを押すと、そのぬい方の最初のページが表示されます。

2 続きの説明がある場合は、「次ページ」ボタンが表示されます。
「次ページ」を押すごとにページが進みます。
「前ページ」を押すと前のページに戻ります。

A 「終了」ボタンを押せば「ぬい方」ボタンを押す前の画面に戻ります。

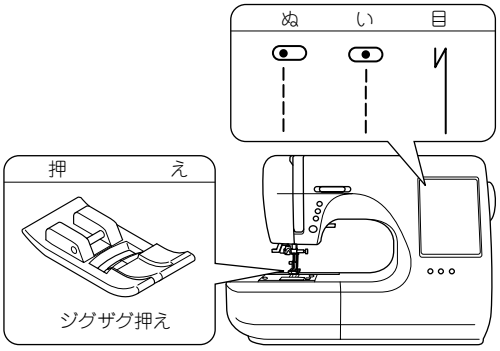


ご注意

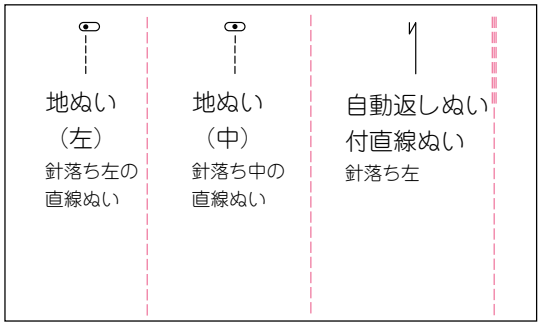
安全のため、ぬい方画面のときは、お知らせランプが赤になり、ミシンはスタートしません。
「終了」ボタンを押してからスタートしてください。

実用ぬい

地ぬい（直線ぬい）



●布地に合わせて、ぬい目を選びます。
針落ち左は、薄地や端ぬいに適しています。

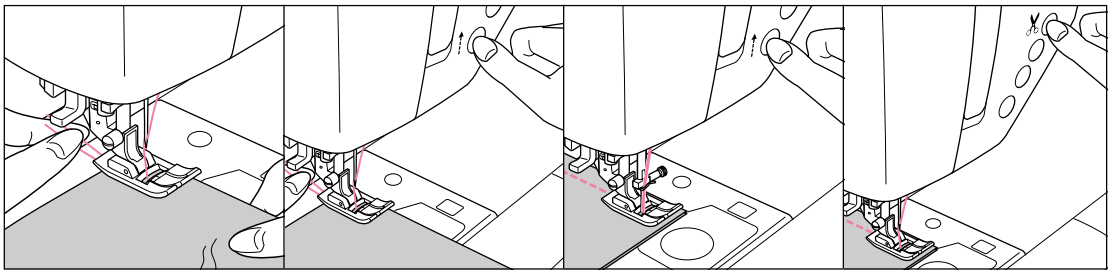


1 布を入れ、押えをおろします。

2 スタート・ストップボタンを押して、スタートさせます。

3 ぬい終わりできたら、ストップさせます。

4 糸切りボタンを押します。



糸はしをかるく持ちます。
手は布にかるくそえるようにします。

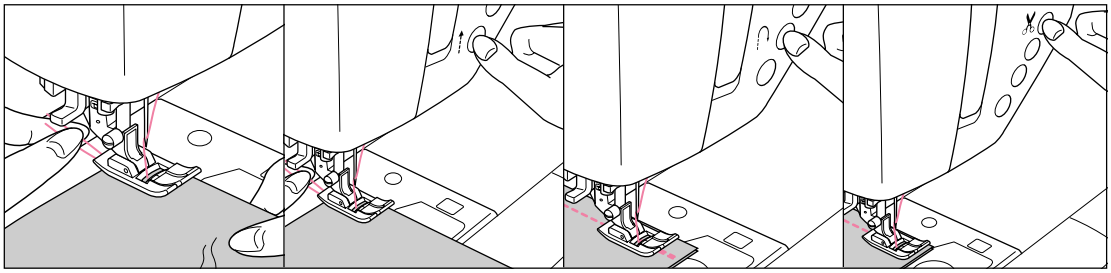
●自動返しぬい付直線ぬい

1 布を入れ、押えをおろします。

2 スタート・ストップボタンを押して、スタートさせます。

3 ぬい終わりできたら、返しぬいボタンを押します。

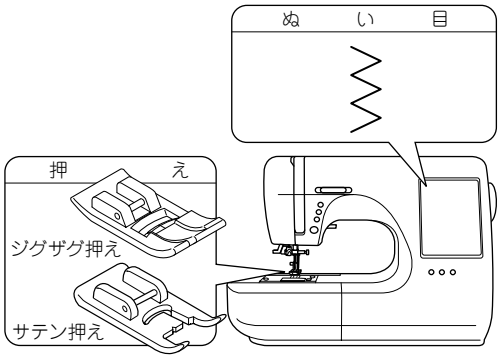
4 糸切りボタンを押します。



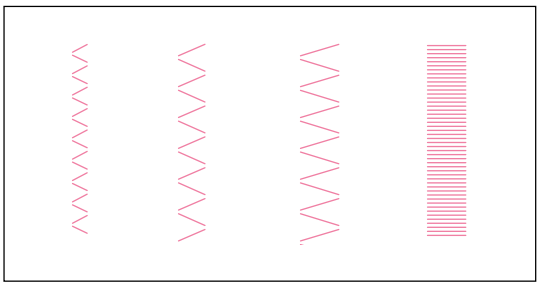
ミシンは数針進んだ後、返しぬいをして、再びぬい進みます。
ぬいを中断するには、スタート・ストップボタンを押します。

ミシンは数針返しぬいをした後、再びぬい進み、ぬい終わりの位置で自動的に止まります。

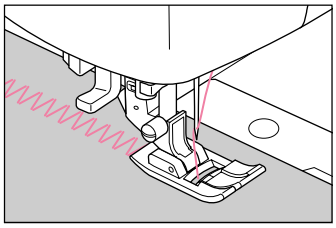
ジグザグぬい



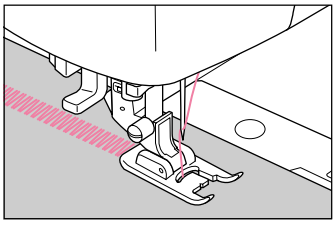
ぬい目の長さ、ぬい目の幅（ふり幅）を調節して、いろいろな形のジグザグぬいができます。



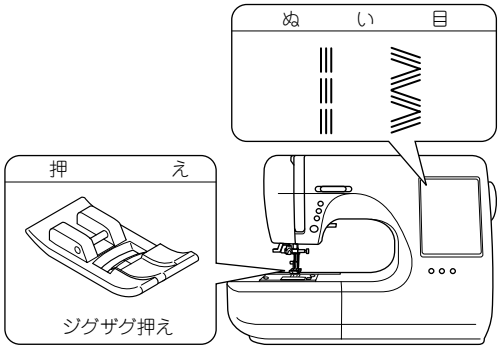
布地のはぎ合わせや、ふちかがりなどのほか、飾りぬいにも広く用いられます。



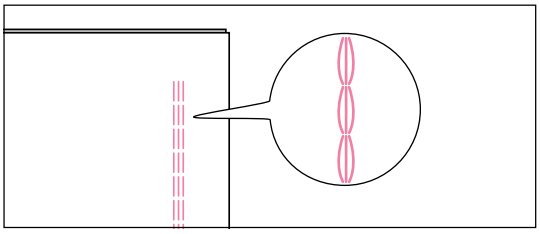
ぬい目の長さをこまかくして、密着ぬいをする場合は、サテン押えをお使いください。



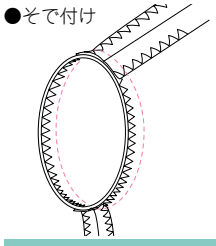
伸縮強化ぬい



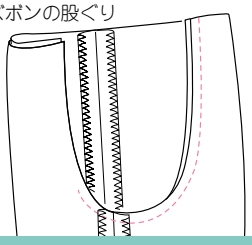
直線とジグザグの 3 重ぬいです。丈夫で伸縮性のあるぬい目なので、力がかかってほつれやすい部分やデニムなどの丈夫な布地のぬい合わせに最適です。



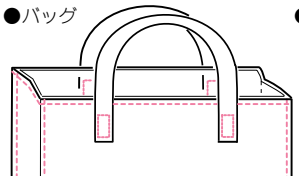
●そで付け



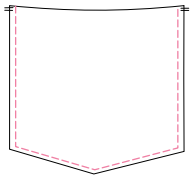
●ズボンの股ぐり



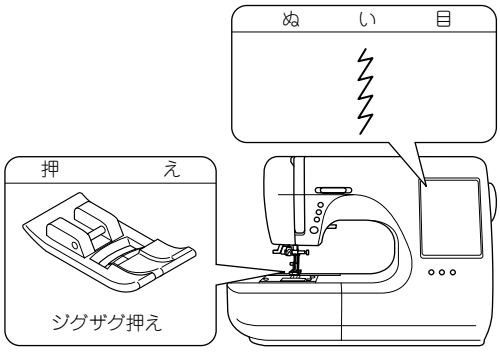
●バッグ



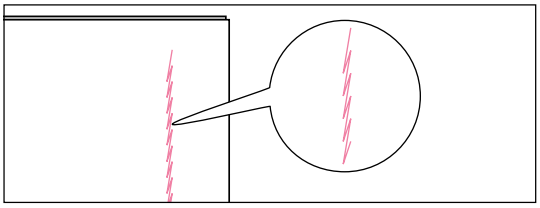
●ポケット



伸縮ぬい

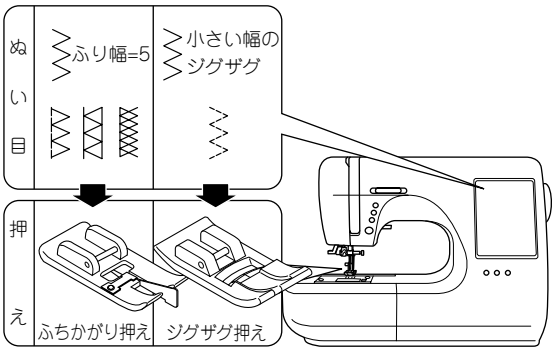


伸縮性のある直線状のぬいです。伸び縮みがきき、布地を伸ばしてもぬい糸は切れません。

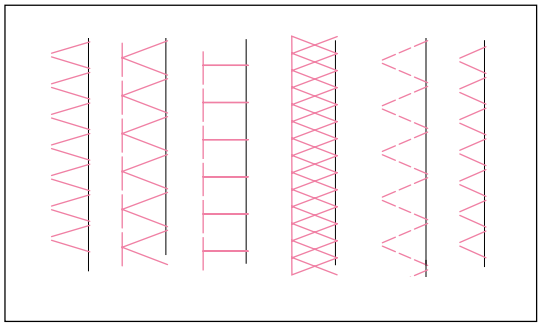


伸縮性布地をぬう場合は、ニット針を使うと、目飛びや糸切れを防ぎます。

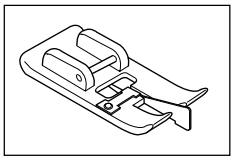
ふちかがりぬい（たち目かがり）



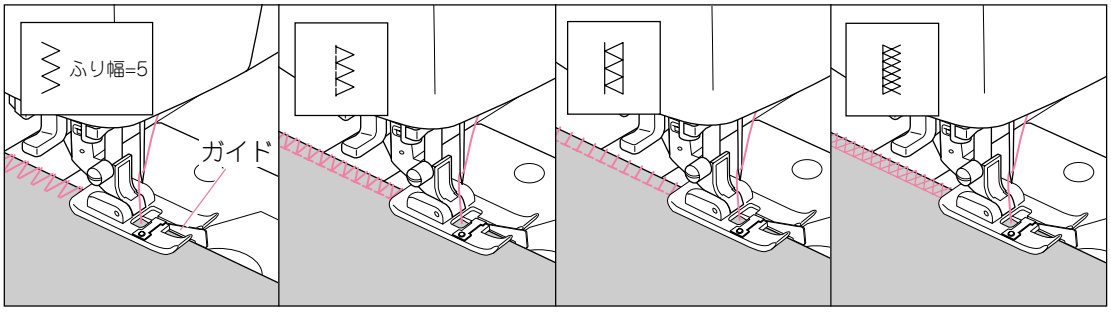
あらゆる布地のたち目のほつれを防ぐぬい方です。



注意：ケガ防止のために；
ふちかがり押えは、必ず（ふり幅=5）か だけにお使いください。ほかのぬい目では、針が押えにあたり、危険です。

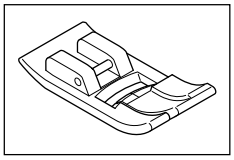


ふちかがり押えを使う場合：
布はしを押えのガイドにあて、針が布はしいっぱいに落ちるようにしてぬいます。

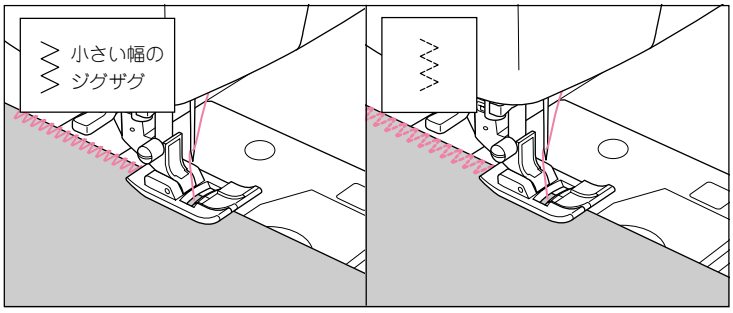


たち目のほつれ止めとして、広く利用します。

かがりぬいと地ぬいが同時にできるぬいです。



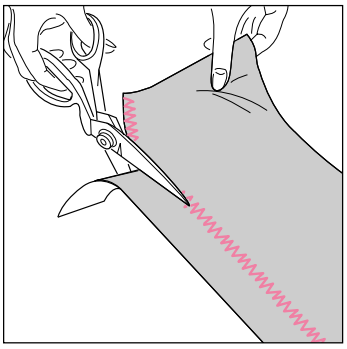
ジグザグ押えを使う場合：
針が布はしぎりぎりに落ちるようにしてぬいます。



かがり幅を小さくしたいときに使います。

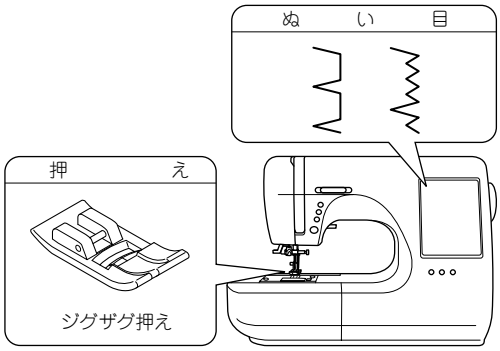
ほつれやすい布、伸縮性のある布に利用します。

あらかじめ布地の内側をぬい、あとからぬいはしを切り落とす方法もあります。

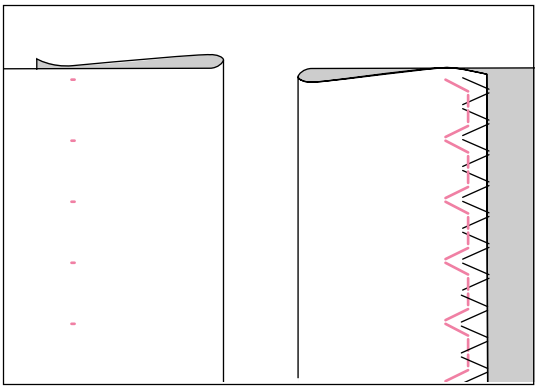


この場合、ぬい糸を切らないように注意してください。

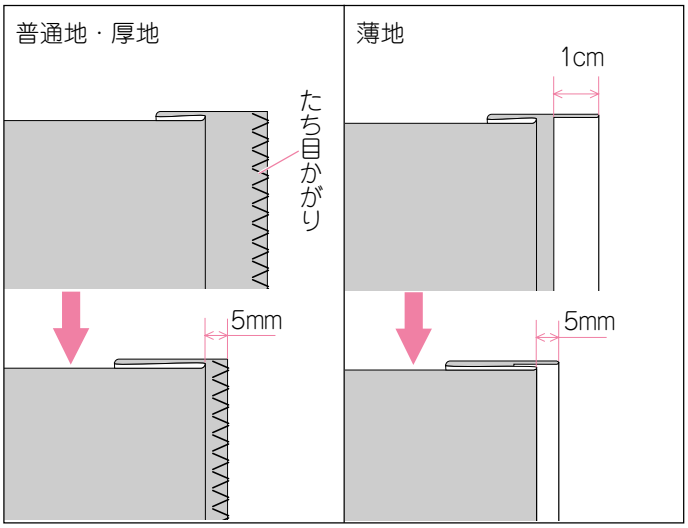
まつりぬい（ブラインドステッチ）



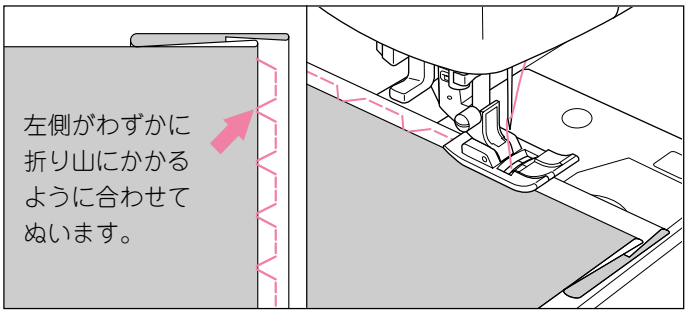
布地の表面に目立たないぬい目を作るぬい方です。
ズボンやスカートのすその仕上げなどに使います。



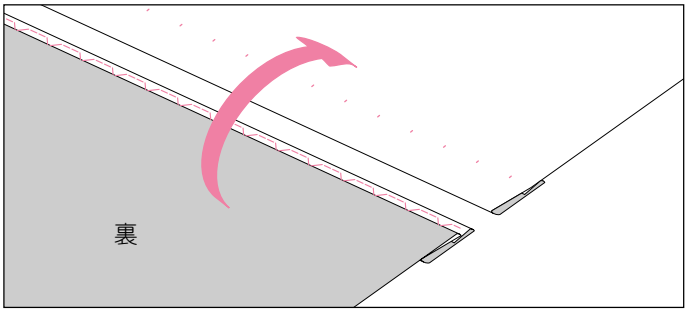
1 布を図のように折ります。
ぬい上がり後の布地の裏・表を間違えないように注意してください。



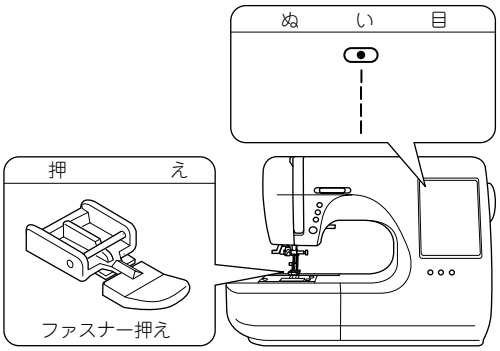
2 針が最も左側にきたとき、折り山にわずかに刺さるように布の位置を合わせてぬいます。
（針が上位置でぬい目を選んだ時に、最も左にくるようになっています。）

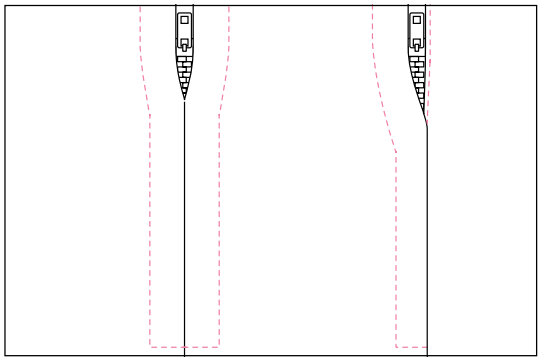


3 ぬい終わりましたら、布を返します。



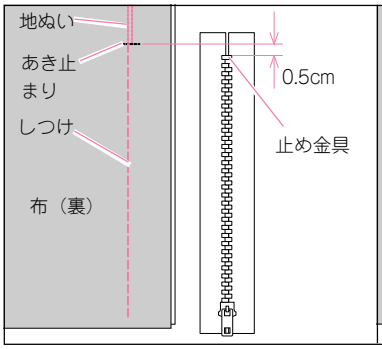
ファスナー付け（つき合わせ・脇あき）





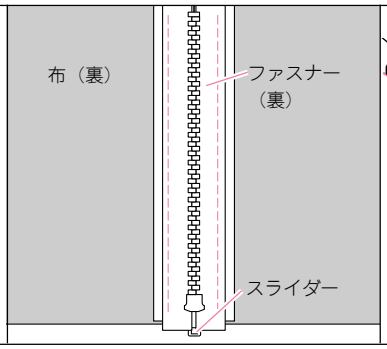
●つき合わせ

1 中表にして、あき止まりまで地ぬいをします。



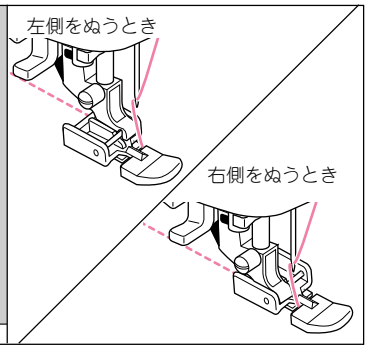
あき部分はしつけをします。

2 ぬい代をわり、ファスナーをしつけます。



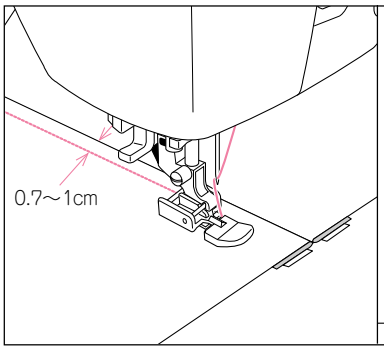
ぬい目線とファスナーの中心を合わせてとめます。
スライダーは手前に倒します。

3 ファスナー押えを取り付けます。



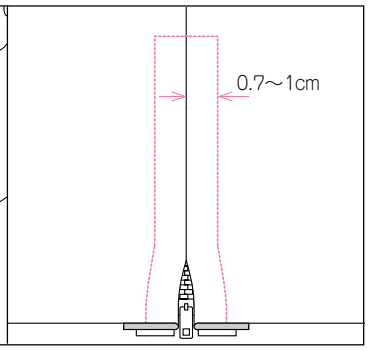
ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側のみぞを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、左側のみぞをホルダーに入れます。

4 ファスナーの左側をあき止まりからぬいます。



布の合わせ目から0.7～1cm はなしてぬいます。

5 あき止まりと右側をぬい、しつけをとります。



右側も同様に0.7～1cm はなしてぬいます。

注意：ケガ防止のために；

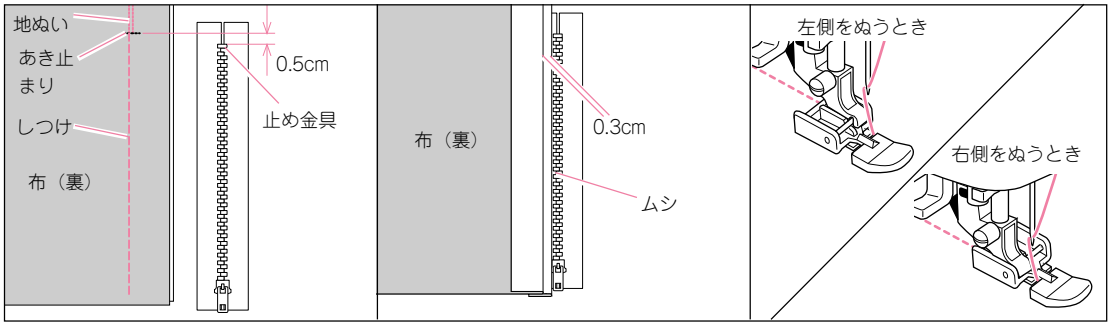
ファスナー押えは、必ずだけにお使いください。ほかのぬい目では、針が押えにあたり、危険です。

●脇あき

1 中表にして、あき止まりまで地ぬいをします。

2 ぬい代をわり、下の布のぬい代を0.3cm出して折り目をつけ、折り山をムシに合わせます。

3 ファスナー押えを取り付けます。



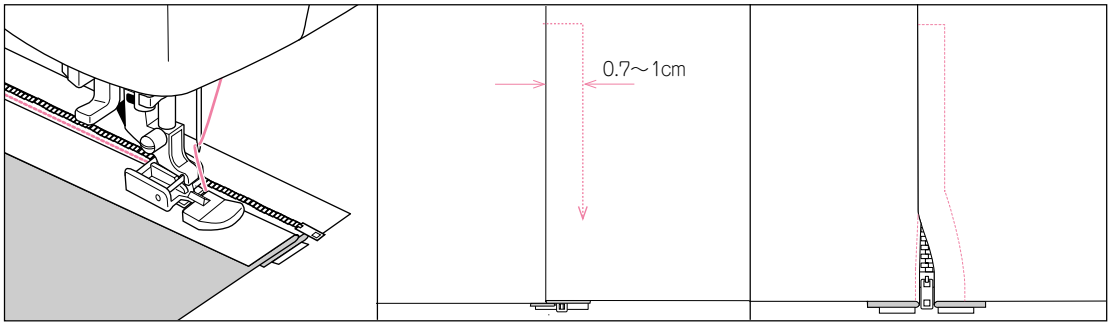
あき部分はしつけをします。

ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側のみぞを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、左側のみぞをホルダーに入れます。

4 ファスナーの左側をあき止まりからぬいます。

5 上の布を開き、あき止まりと右側をぬいます。

6 スライダーの手前で止め、しつけを取り、スライダーを下げて残りをぬいます。

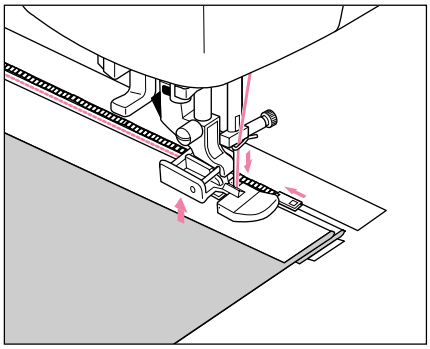


押えがファスナーのムシにのらないようにしてぬいます。

右側は、布の折り目から0.7～1cmはなしてぬいます。

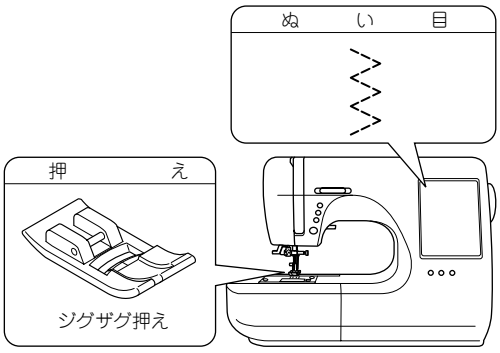
● スライダーをよけてぬうには：

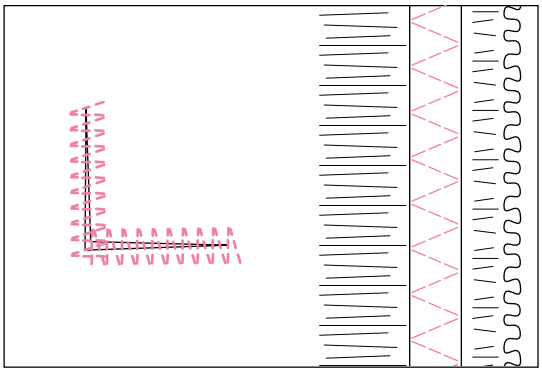
1. スライダーの手前でミシンを止めます。（針が下で止まります。）
2. 押えを上げて、スライダーを向こう側へ下ろします。
3. 押えを下げてぬい続けます。



つくろいぬい（点線ジグザグぬい）

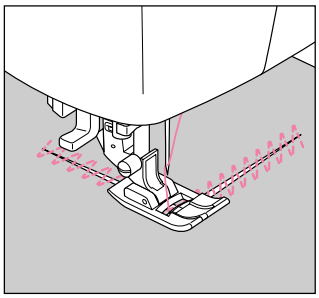
やぶれた布地のつくろいぬいや、ゴムひものぬい付けなどに利用します。





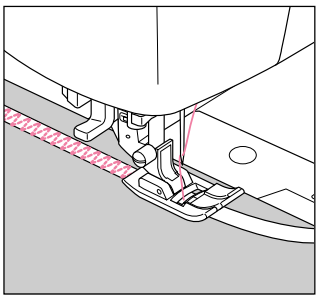
●つくろいぬい

ぬい目の長さをこまかくしてぬいます。



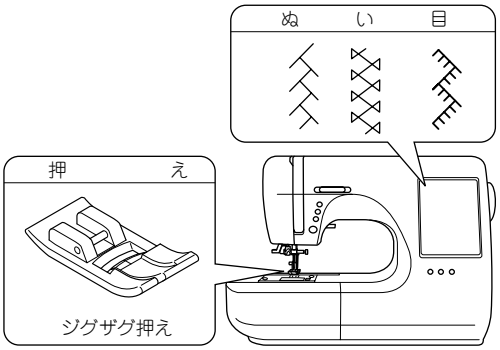
●ゴムひも付け

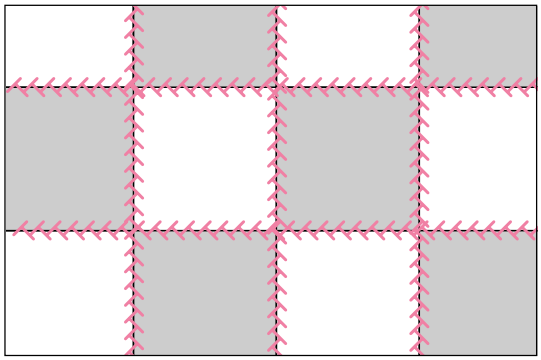
ゴムひもを前後に伸ばしながらぬい付けます。



パッチワーク

いろいろな布をはぎ合わせ、装飾に用います。

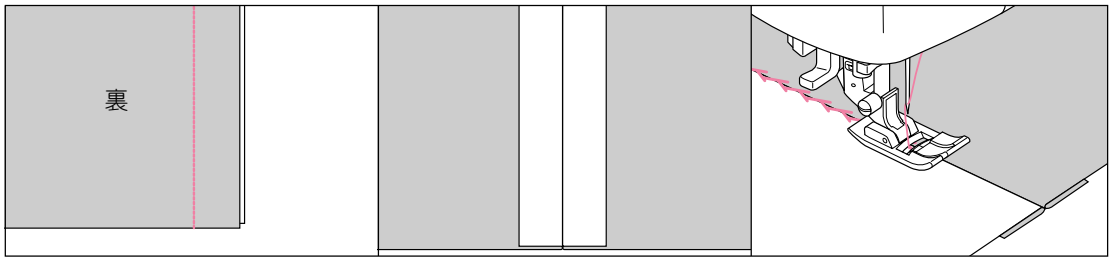




1 2枚の布地を中表に合わせ、地ぬいをします。

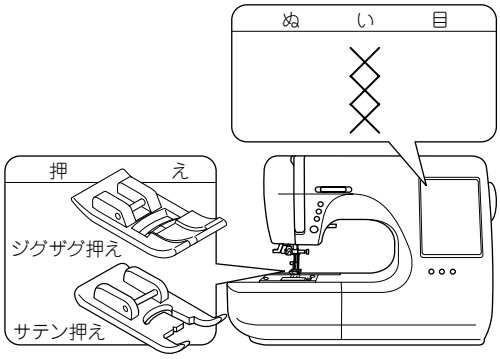
2 ぬい代をわります。

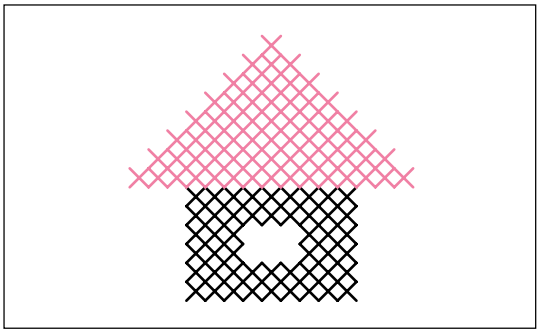
3 両方の布地にぬい目がまたがるようにしてぬいます。



クロスステッチ

刺しゅうによく使われるクロスステッチができます。

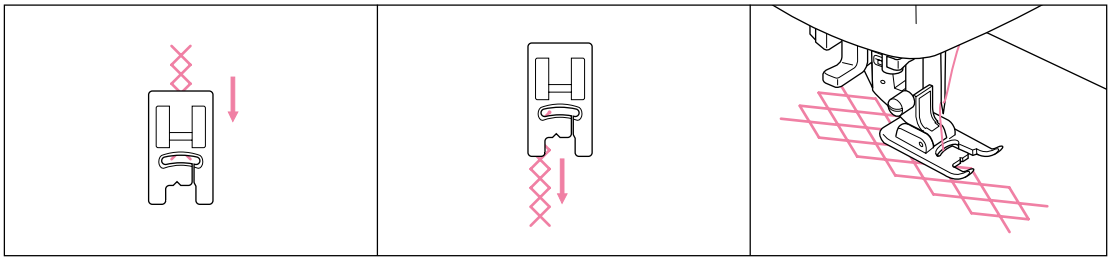




1 最初の列をぬいます。

2 2列目の左側が、最初の列の右端に合うように布を合わせてぬいます。

3 3列目以降も同じようにしてぬいます。

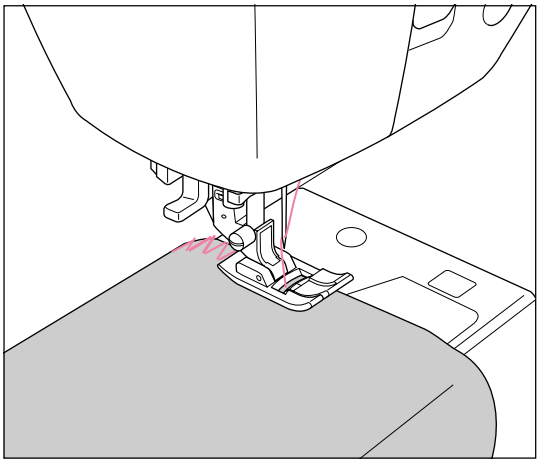


操作パネル左上のぬい目ボタンを押すと、クロスステッチを最初からぬうことができます。（ぬい目長さ、ふり幅も設定値に戻ります。）

フリーアーム ぬい

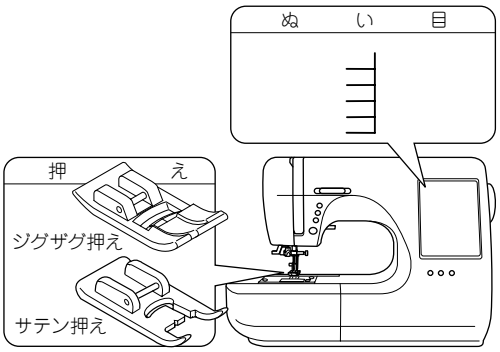
補助テーブルを取りはずすだけで、フリーアームミシンになります。
袖口や肩口の始末、ズボンのすそのまつりぬいなどが簡単に出来ます。

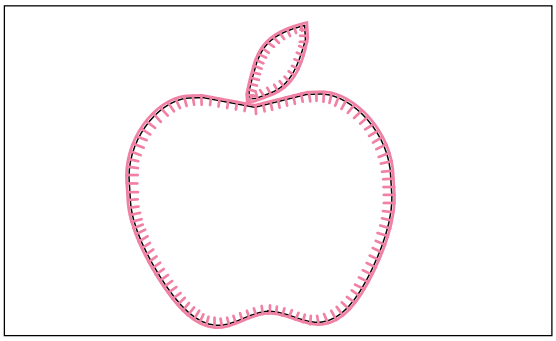
● 補助テーブルのはずし方は、6ページを参照ください。



アップリケ

市販や自作のアップリケ布を丈夫にぬい付けます。



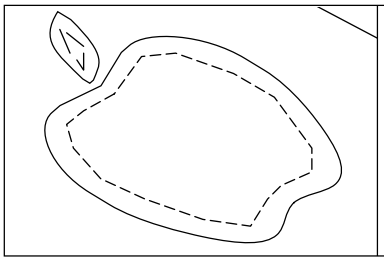


1 アップリケ布を止めます。

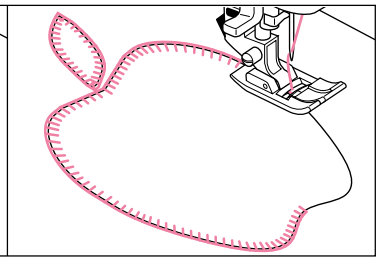
2 アップリケの布はしに針が落ちるようにしてぬいつけます。

●急な角度でぬう場合

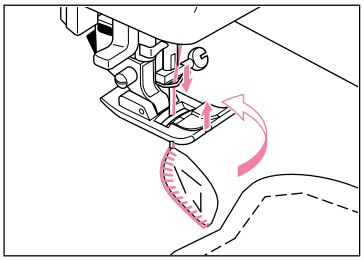
布はしに針を落とした状態で押えを上げ、布地を回します。



のり付けまたはしつけをします。



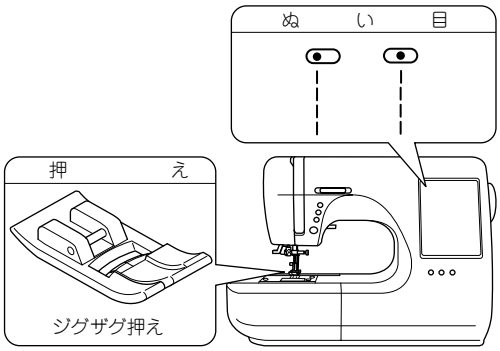
カーブの強いものは、ぬい目の幅（ふり幅）を小さくしてぬいます。

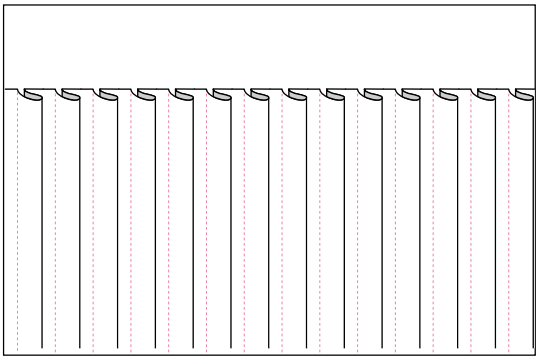


ピアノタップリクケ

ピンタック

ブラウスなどの装飾に使います。

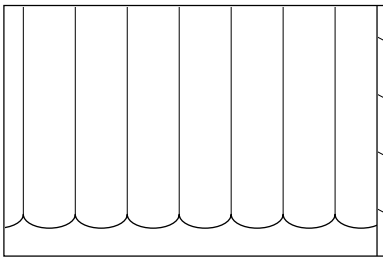


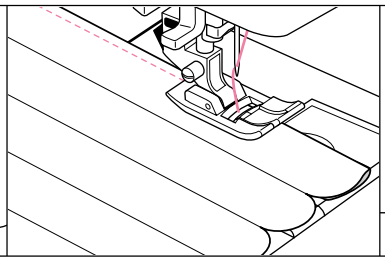


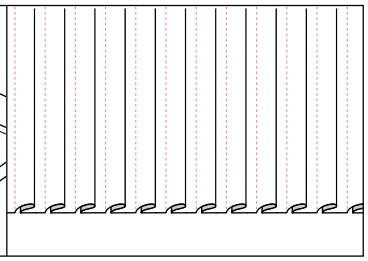
1 アイロンでピンタックの折り山を整えます。

2 折り山を伸ばさないようにしながら、ピンタックをぬいます。

3 アイロンで片側に倒します。

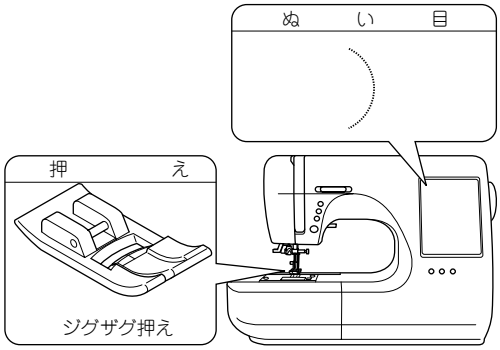


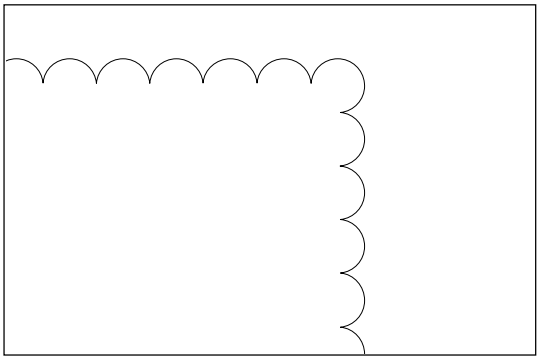




スカラップ

テーブルクロスやブラウスのえりのふち飾りに使います。

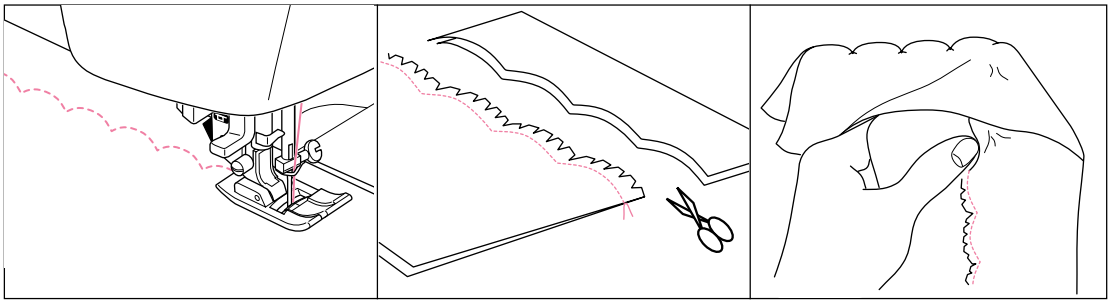




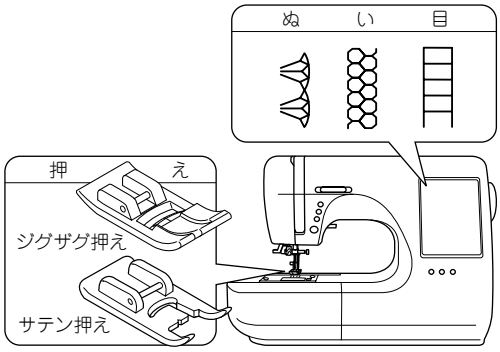
1 布を中表に折り、その端にそってぬいます。

2 ぬい目にそって0.3cm位のぬいしろをとって切り取り、ぬいしろに切り込みを入れます。

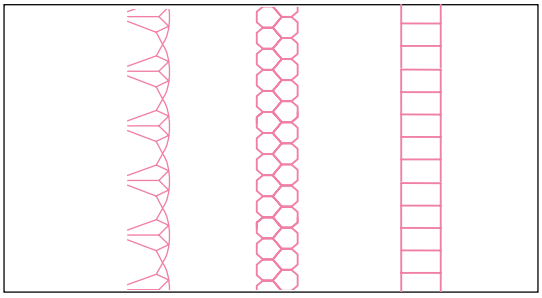
3 布を表に返して、ぬい目の山を表に押しだし、アイロンで仕上げます。

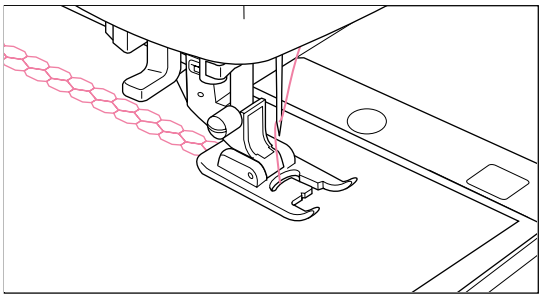


かざりぬい



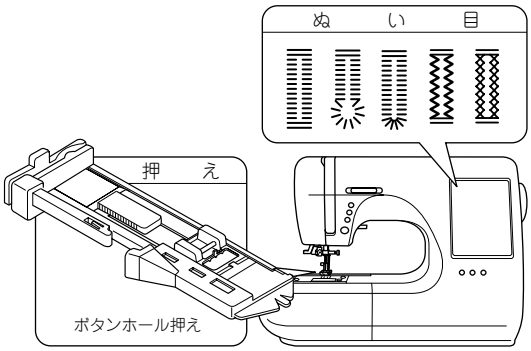
装飾的なぬいに用います。





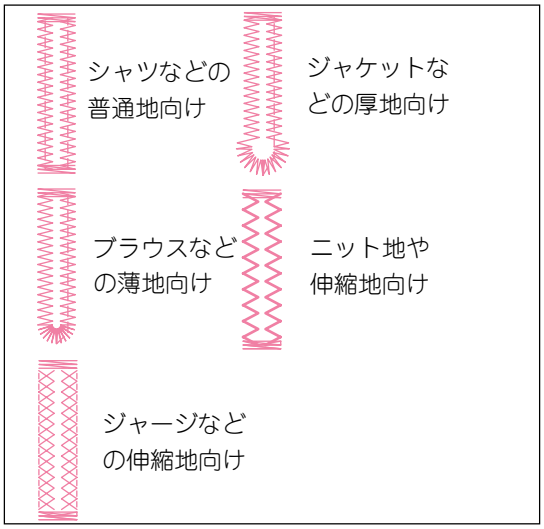
薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬってください。

ボタンホールぬい



それぞれ大小のボタンホールをぬうことができます。大きいボタンホールをぬうときは、ぬい目の幅（ふり幅）を 5.0 に、小さいボタンホールをぬうときは、3.5 に合わせます。

5種類のボタンホールをワンタッチでぬうことができます。

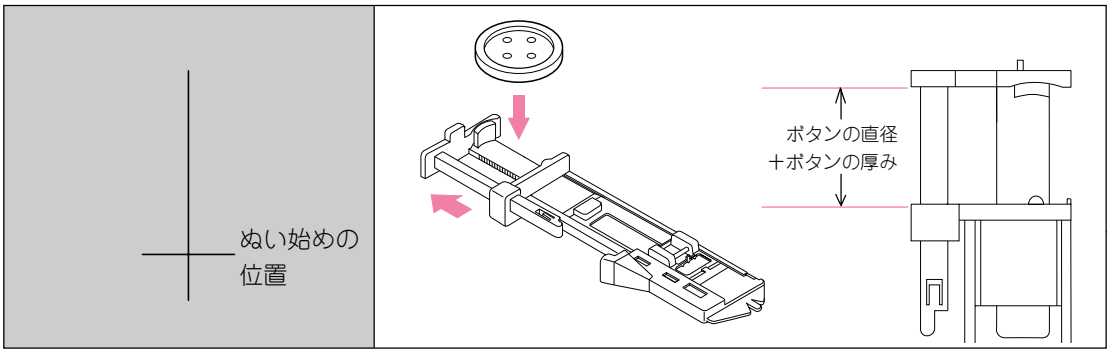


●台にボタンがのらないとき

台の幅が「ボタンの直径＋ボタンの厚み」になるようにスライドさせます。

1 布地のボタンホールをぬう位置に印をつけます。

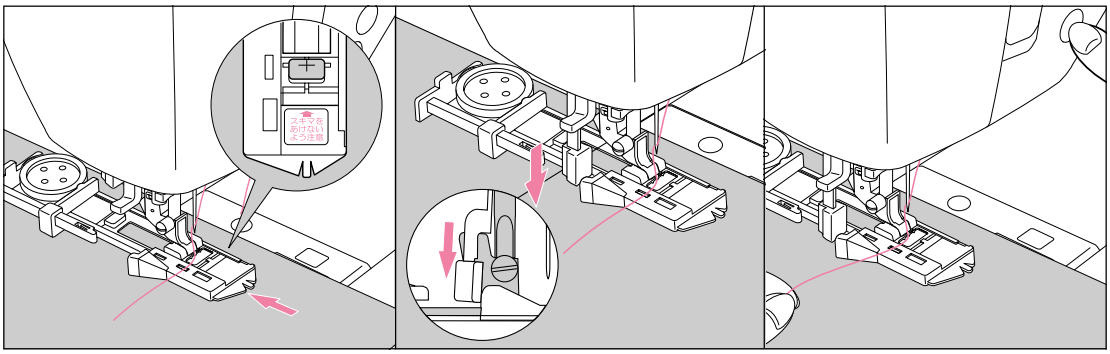
2 ボタンを押えの台にセットします。



3 布の印が押えの印に合うように布地を入れ、押えを下げます。

4 ボタンホールレバーをいっぱいに下げます。

5 上糸を持ちながら、スタートさせます。

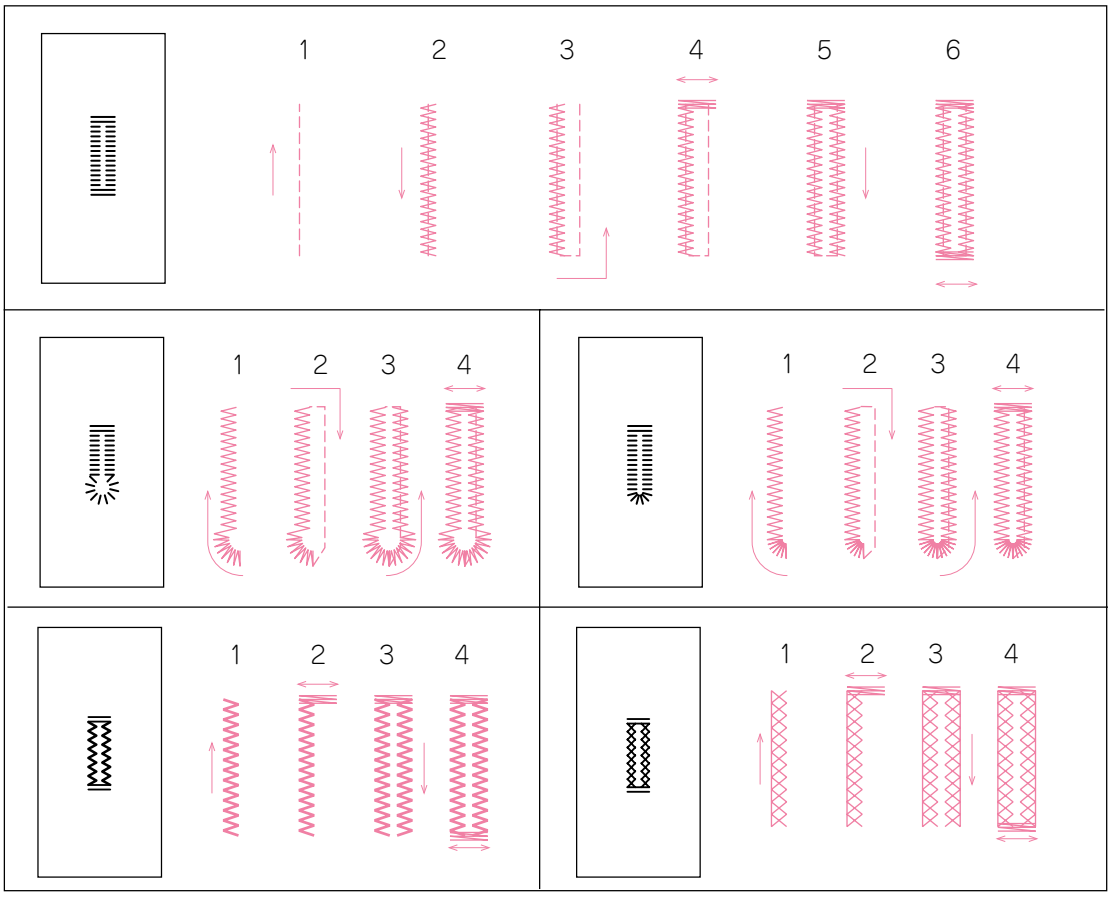


押えの枠と押えの間にスキマができないよう、枠を一番向こう側に戻してください。

ボタンホールレバーはきちんと下げてください。

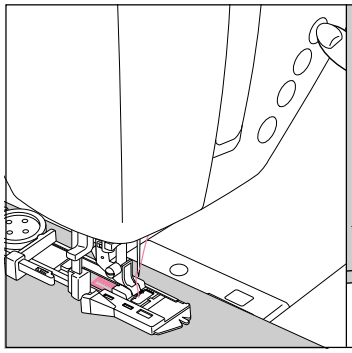
押えの枠と、ボタンホールレバーが正しい位置にないと、お知らせランプが赤く点灯して、スタートボタンを押しても、スタートしません。

6 図の順序でボタンホールがぬわれていきます。



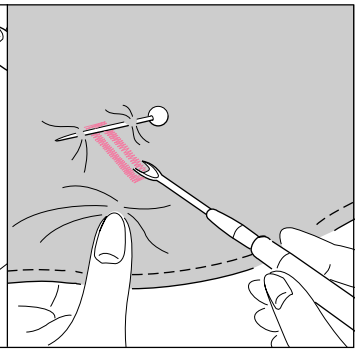
ぬい終わると自動的に止まります。

7 糸切りボタンを押します。押えを上げ、布をはずします。



ボタンホールをもう一度ぬうには、押えを上げて押えの枠を一番向こう側に戻します。

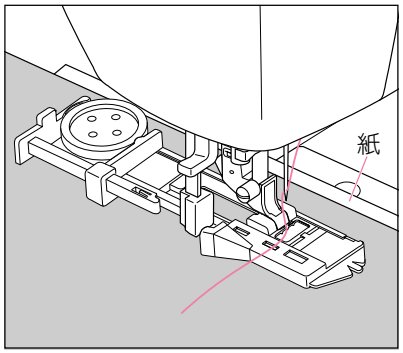
8 シームリッパーで穴を開きます。



ぬい糸を切らないように注意してください。かん止めのところにまち針を刺しておくと、切り過ぎがありません。

●伸縮性のある布地の場合

裏に紙などをしいてぬいます。
ぬい終わったら、紙を取り除きます。

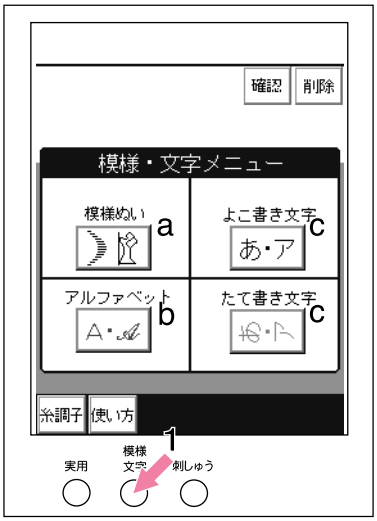


注意：ケガ防止のために；
シームリッパーで穴を開くとき、リッパーの先端に手や指を置かないでください。すべったときケガをする恐れがあります。

模様・文字ぬい

●模様・文字の選び方

このミシンでは、模様と文字を組み合わせて、連続してぬうことができます。
文字は、ひらがな、カタカナ、アルファベットがあり、ひらがな、カタカナは、たて書き、横書きの2通りがぬえます。アルファベットは、ゴシック体と筆記体の2種類が選べます。（58ページ「ぬい目一覧参照）



1 「模様・文字」ボタンを押します。
模様・文字メニューが表示されます。

2 メニューの中から、ぬいたいグループの選択ボタンを押し、下記のａ，ｂ，ｃの方法で模様、文字を選びます。
選んだ模様、文字は、操作パネルの最上段に、選んだ順に表示されていきます。

a. 模様の選び方

1. 模様・文字メニューから「模様ぬい」選択ボタンを押します。
   （密着ぬい）画面が表示されます。
2. この中から模様を選ぶか、ボタンを押して画面を切りかえて、その中から模様を選びます。
   画面の模様は、３つの大きさが選べます。「大、中、小」ボタンで大きさを選んでから模様を選択してください。
   （選ばれた大きさボタンには、赤い下線がつきます。）
3. 「戻る」または「模様・文字」ボタンを押せば、模様・文字メニューに戻ります。

● 模様ぬいを最後に選ぶと、ミシンを止めるまで連続してぬいます。「止めぬい」ボタンを最後に選んでおくと、ミシンは、選んだ模様を一組ぬうと、自動的に止まります。（34ページ「模様・文字のぬい方」参照）

● 模様を選んだときにぬわれる1単位が58ページ「ぬい目一覧-模様ぬい」に表示してあります。

b. 文字の選び方-アルファベット

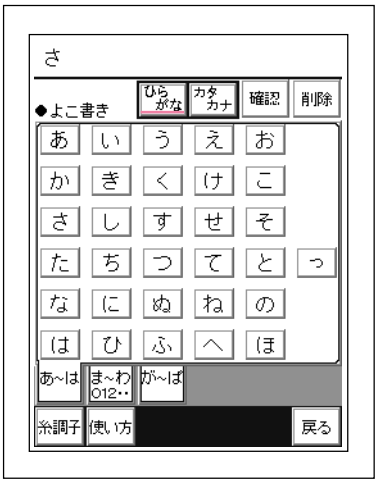
1. 模様・文字メニューから「アルファベット」選択ボタンを押します。
   「ABC..」画面が表示されます。
2. 「ゴシック」 ボタンでゴシック体に、「筆記」ボタンで筆記体に、書体が切りかわります。
3. 「ABC..」ボタン、「abc..」ボタン、「012..」ボタンで選べる文字が切りかわります。
4. ぬいたい文字を直接選びます。選んだ文字がパネル最上段に追加表示されます。
5. 「戻る」または「模様・文字」ボタンを押せば、模様・文字メニューに戻ります。

● 文字を最後に選ぶと、ミシンは組み合わせを一組ぬい終わると自動的に止まります。（34ページ「模様・文字のぬい方」参照）

c.　文字の選び方-よこ書き、たて書き

1. 模様・文字メニューから「よこ書き文字」または「たて書き文字」選択ボタンを押します。
   「あ〜は」画面が表示されます。
2. 「ひらがな」ボタンでひらがなに、「カタカナ」ボタンでカタカナに切りかわります。
3. 「あ〜は」ボタン、「ま〜わ、012..」ボタン、「が〜ぱ」ボタンで選べる文字が切りかわります。
4. ぬいたい文字を直接選びます。選んだ文字がパネル最上段に追加表示されます。
5. 「戻る」または「模様・文字」ボタンを押せば、模様・文字メニューに戻ります。

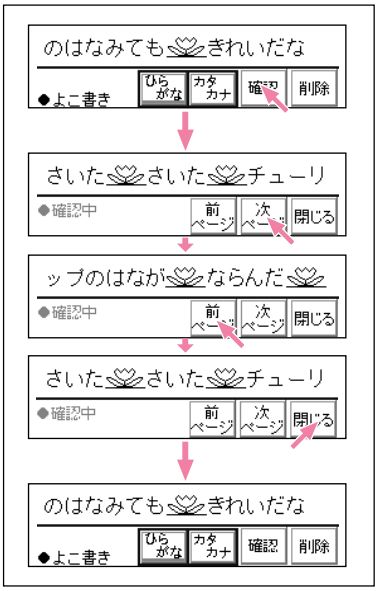
● 文字を最後に選ぶと、ミシンは組み合わせを一組ぬい終わると自動的に止まります。（34ページ「模様・文字のぬい方」参照）



● 模様・文字は、50種類まで組み合わせることができます。
選んだ模様、文字が増えていって表示しきれなくなった場合は、先頭の部分が表示から消えます。
（表示からは消えてもミシンは選んだ順番を記憶しています。）

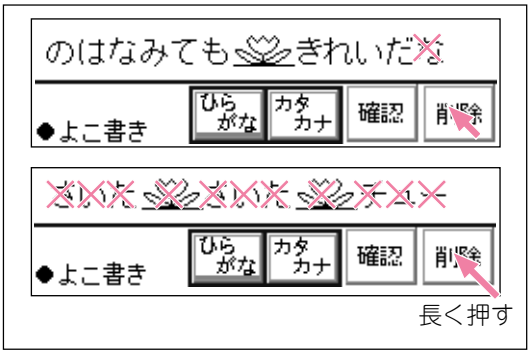
●模様・文字の確認

「確認」ボタンで、選んだ模様・文字を確認することができます。
「確認」ボタンを押すと、最初に選んだ模様、文字から順番に表示されます。
（1画面に表示しきれない場合は、「次ページ」ボタンが表示されるので、このボタンを押すと続きを表示します。「前ページ」ボタンを押すと前の画面に戻ります。）
「閉じる」ボタンを押すと、「確認」ボタンを押す前の画面に戻ります。

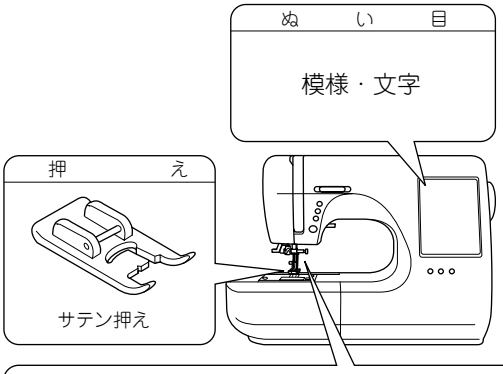


●模様・文字の削除

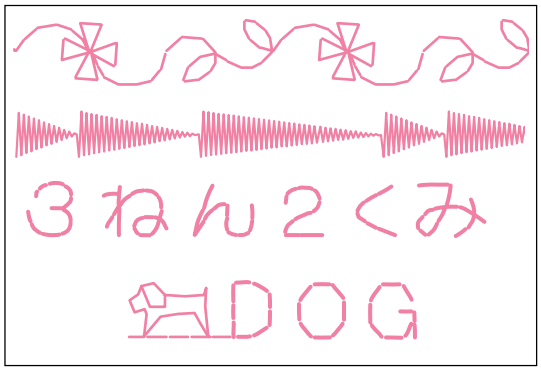
選んだ模様・文字を削除するには
「削除」ボタンを一度押す（0.5秒未満）と一番最後に選んだ模様・文字が削除されます。
「削除」ボタンを押すごとに、後ろから消えていきます。
「削除」ボタンを長く押し続ける（0.5秒以上）と、すべての模様・文字が削除されます。

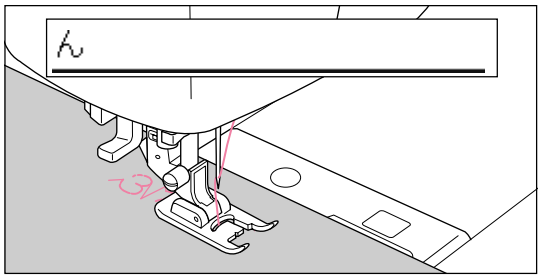


模様・文字のぬい方

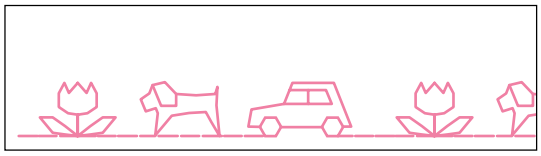


文字ぬいのときの針は、11番のニット針が適しています。
また、糸は、細めのものをお使い下さい。

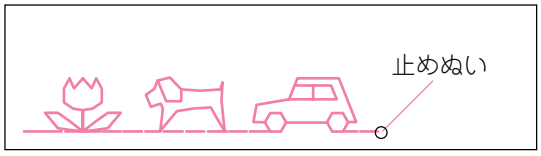




前ページの方法で模様・文字の選択をした後、スタートさせるだけで、ミシンは選んだ順番でぬっていきます。
ぬっている最中は、ぬっている模様・文字がパネル最上段に表示されます。



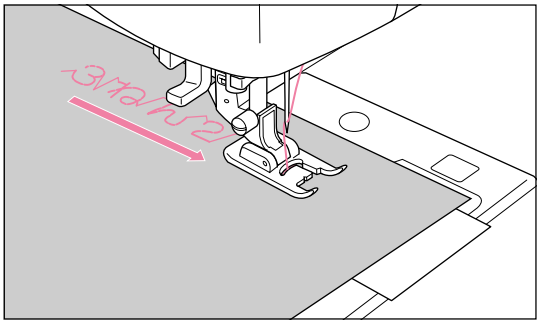
順番の最後に模様ぬい（止めぬい ⦿ を除く）が選ばれていると、ミシンは、ストップさせるまで同じ組み合わせを繰り返しぬいます。



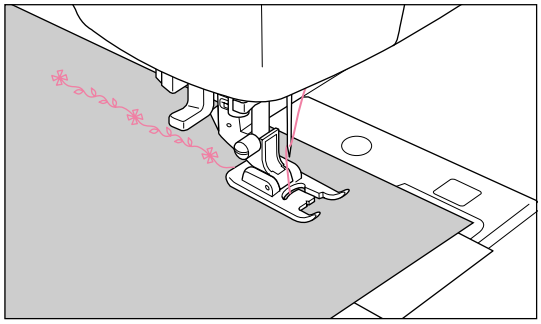
順番の最後が文字ぬい、止めぬい ⦿ のときは、ミシンは組み合わせを一組ぬうと自動的に止まります。
順番の最初や途中に止めぬいを入れても、ストップしません。

文字ぬいの場合、ぬい終わったら余分な上糸を切り取って仕上げます。

電源を切ったり、「実用ぬい」ボタンを押すと、選んだ模様・文字は、すべて削除されます。



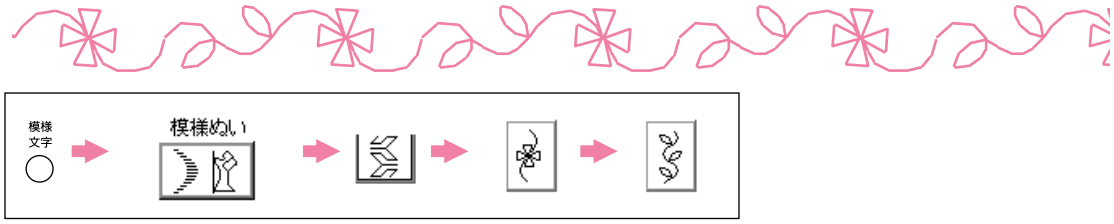
ひらがなの横書きとアルファベットは、文字を横に倒した状態で、たて方向にぬい進みます。



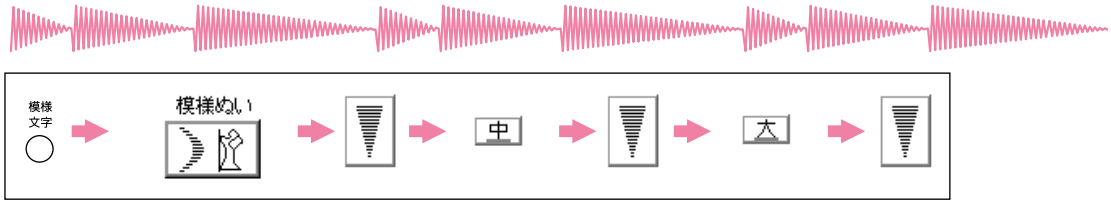
薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬってください。

●組み合わせ例

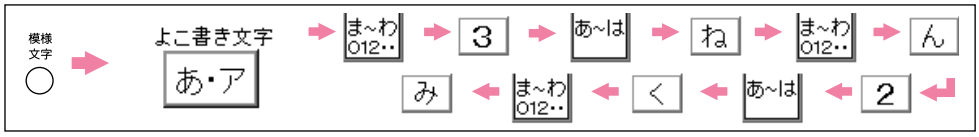
花模様の連続ぬい



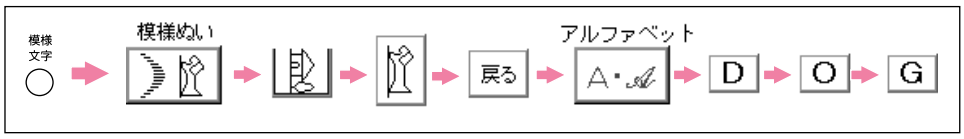
密着ぬい



文字ぬい

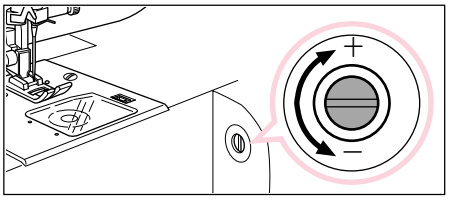


文字と模様の組み合わせぬい



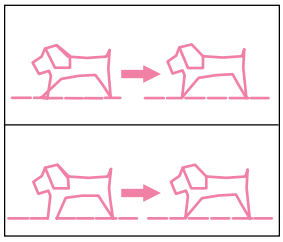
ぬい目の形の調整

布地の種類や厚さなど、ぬうときの条件によってはぬい目の形がくずれてしまう場合があります。模様ぬい、文字ぬいをしているときに形がくずれるようでしたら、バランス調整ネジを回して、きれいなぬい目が得られるように調整してください。
注意：この調整は、微妙なものですので、少しずつ回してください。



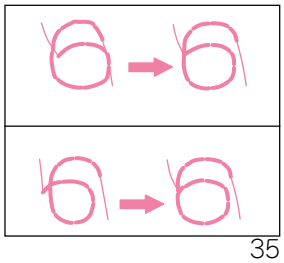
模様ぬい

右の図のようなときは、ネジを（＋）に回します。
右の図のようなときは、ネジを（−）に回します。



文字ぬい

右の図のようなときは、ネジを（＋）に回します。
右の図のようなときは、ネジを（−）に回します。



刺しゅうぬいの準備

注意：ケガ防止のために

- 刺しゅう機、刺しゅう押えを取り付けるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
- 刺しゅう機を取り付けたままでは、ミシンを持ち歩かないでください。刺しゅう機がはずれて落ちる恐れがあります。

注意：故障の原因となります

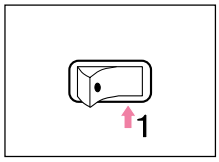
- 刺しゅう機は、平らな安定したテーブルや机の上できちんと取り付けてください。取り付けが不完全ですと、誤動作や模様くずれの原因となります。
- キャリッジは無理に動かしたり、キャリッジを持ってミシンを移動したりしないでください。
- 刺しゅうぬいでは、スピードは自動で調整されますので、コントローラー（別売り）は使えません。電源を切って取りはずしておいてください。

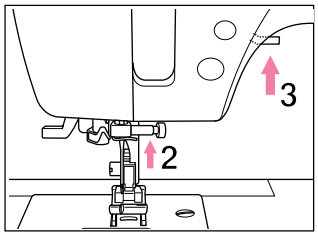
●刺しゅう押えの取り付け

1 電源スイッチを切ります。

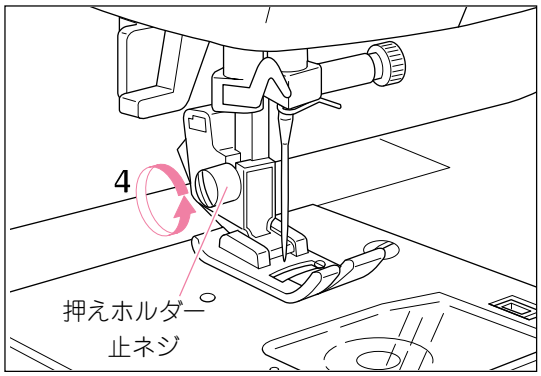
2 ハズミ車を手前に回して、針を一番上に上げます。

3 押え上げレバーを上げます。



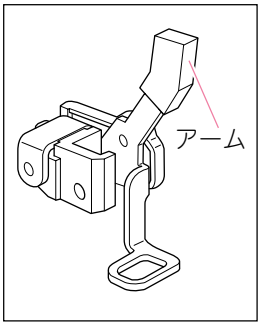


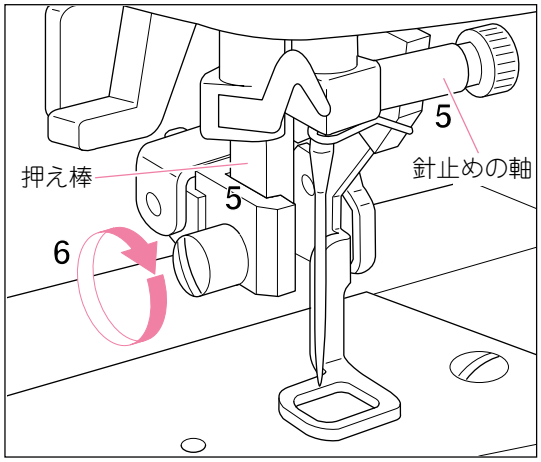
4 押えホルダー止ネジをはずし、押えと押えホルダーを取りはずします。



5 針止めの軸に刺しゅう押えのアームが後ろから乗るようにして、刺しゅう押えを押え棒に取り付けます。（取り付けにくいときは、ハズミ車を少し手前に回して、針止めの軸を少し下げます。）

6 押えホルダー止ネジを取り付け、しっかりしめます。





●刺しゅう機の取り付け

1 ミシンの電源スイッチを切ります。

2 補助テーブルを取りはずします。

3 刺しゅう機を右にスライドさせ、カチッと音がするまで差し込みます。

4 刺しゅう機用電源コードをミシン後ろ側と、刺しゅう機の電源接続ジャックに差し込みます。

5 電源スイッチを入れます。

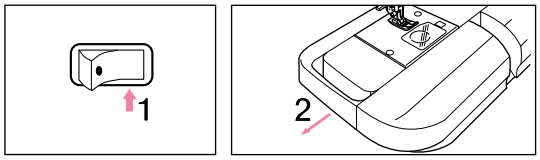
6 オープニング画面が表示されますので、画面を軽く押します。

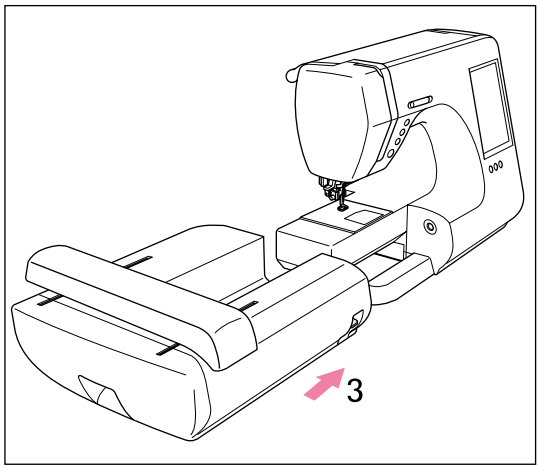
針が上位置にないときは、お知らせメッセージ「針上下ボタンを押して針を上にあげてください」が表示されます。このときは、針上下ボタンで針を上げてください。
また、ここで実用ぬいメニューが表示されるときは、刺しゅう機や刺しゅう機用電源コードが正しく接続されていません。電源を一度切り、接続を確認してから、入れ直してください。

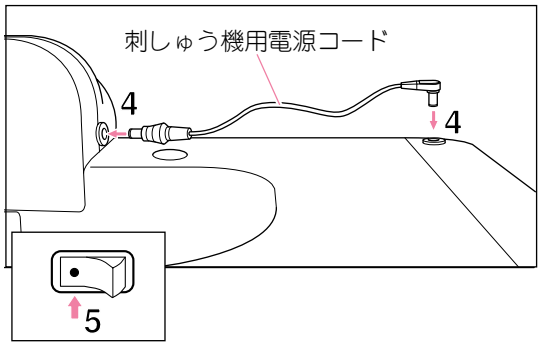
7 「キャリッジが動きます」という表示がでます。

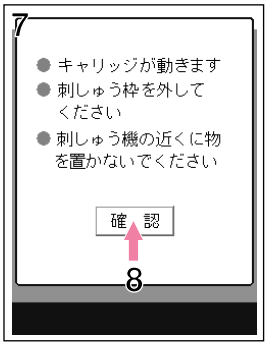
刺しゅう枠は、まだ取り付けないでおいてください。
キャリッジにぶつからないよう、回りにものを置かないでください。

8 「確認」ボタンを押します。キャリッジが動いてスタート位置で止まります。



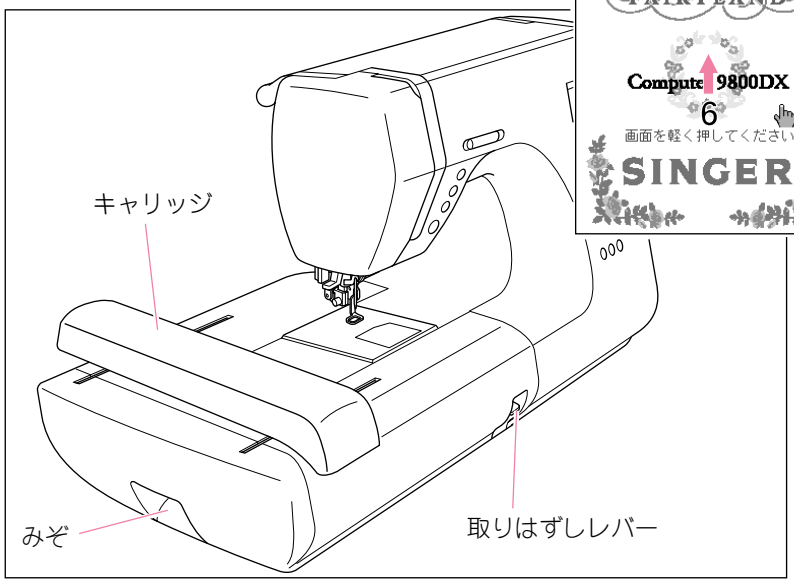






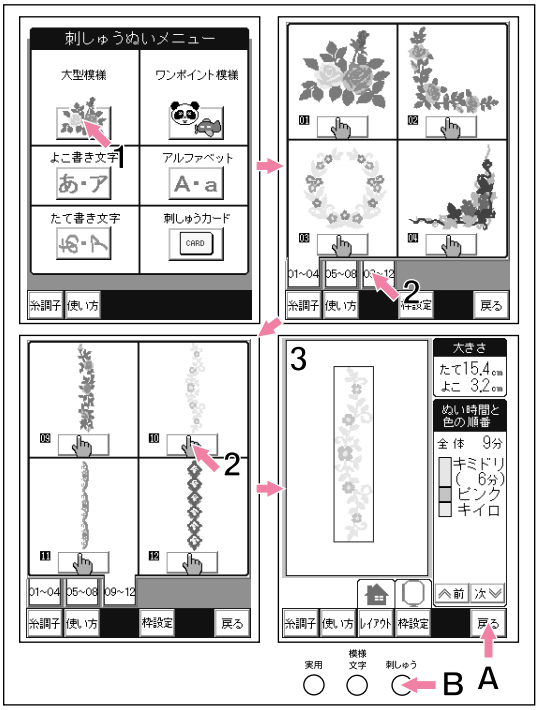
刺しゅう機の取りはずし方

1. ミシンの電源スイッチを切ります。
2. 刺しゅう機用電源コードをミシンと刺しゅう機からはずします。
3. 取りはずしレバーを下げながら、刺しゅう機左下のみぞに指をかけ、ゆっくり左に引いて取りはずします。



刺しゅう模様の選び方

刺しゅう機が正しく取り付けられ、キャリッジの移動が終わると、操作パネルには刺しゅうぬいメニューが表示されます。
刺しゅうぬいメニューには、大型模様、ワンポイント模様、よこ書き文字、たて書き文字、アルファベット、刺しゅうカードの6項目があります。



●大型模様の選び方

12種類の大型模様が内蔵されています。（63ページに一覧表があります。）

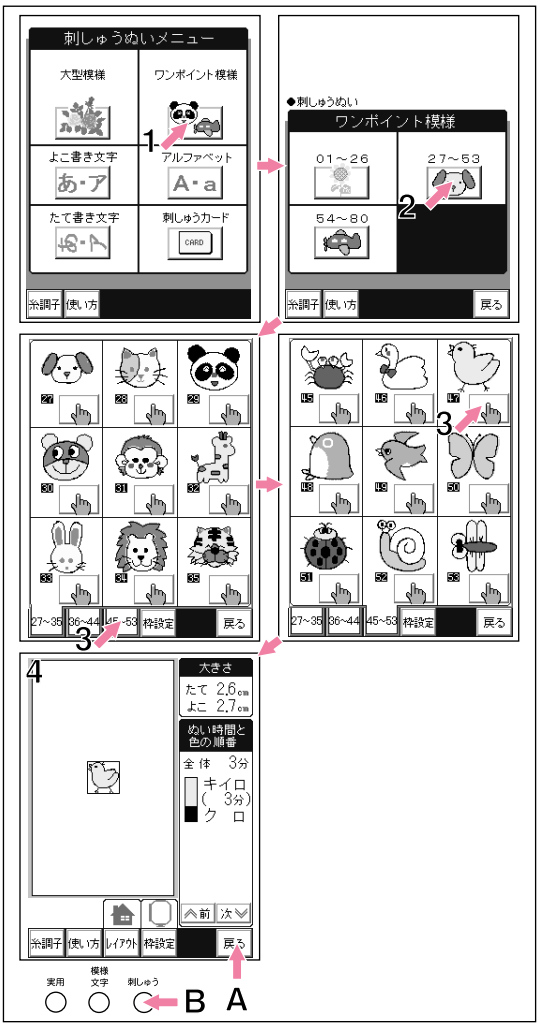
1 刺しゅうぬいメニューから「大型模様」選択ボタンを押します。大型模様の最初の4種類（01～04）が表示されます。

2 この中からぬいたい模様の選択ボタン[ ]を押すか「05～08」「09～12」ボタンを押して、別の大型模様を表示させて模様を選びます。

3 模様を選ぶと刺しゅう開始画面になります。（ぬい方は44ページをご覧ください。）

A 「戻る」ボタンを押すと、１つ前の画面に戻ります。

B 「刺しゅう」ボタンを押すと、刺しゅうぬいメニューに戻ります。



●ワンポイント模様の選び方

80種類のワンポイント模様が内蔵されています。（61ページに一覧表があります。）

1 刺しゅうぬいメニューから「ワンポイント模様」選択ボタンを押します。ワンポイント模様は、3つのグループに分けられています。

2 ぬいたい模様のグループ選択ボタンを押します。（例：27-53）選んだグループの最初の9つの模様「27-35」が表示されます。

3 この中からぬいたい模様の選択ボタン[ ]を押すか、別のグループ番号「36-44」「45-53」ボタンを押して、別の模様を選びます。

4 模様を選ぶと刺しゅう開始画面になります。（ぬい方は44ページをご覧ください。）

A 「戻る」ボタンを押すと、１つ前の画面に戻ります。

B 「刺しゅう」ボタンを押すと、刺しゅうぬいメニューに戻ります。

●模様を選んだら；

刺しゅう枠の設定、取り付けをします。（42ページ）
また、レイアウトの調整（46ページ）でぬい位置の移動、確認や90度回転、反転ができます。

刺しゅう文字の選び方（1）

●よこ書き文字・たて書き文字の選び方

よこ書き文字、たて書き文字は、それぞれ文字を組み合わせてぬうことができます。

1 刺しゅうぬいメニューから「よこ書き文字」または「たて書き文字」選択ボタンを押します。「ひらがな」「カタカナ」「数字・漢字」グループ選択画面が表示されます。

2 この中からぬいたい文字のグループ選択ボタンを押します。（例：カタカナ）選んだグループの最初の文字グループ「ア～ハ」が表示されます。（文字選択画面）

3 この中からぬいたい文字を押して選ぶか、別の文字グループ「マ～ッ」「ガ～パ」ボタンを押して、別の文字を選びます。

4 文字を選ぶと、操作パネルの最上段にその文字が表示され、選んでいくごとに追加されていきます。

（選んだ文字数が刺しゅう枠の範囲を超えると、お知らせメッセージが表示されます。）

5 選び終わったら「決定」ボタンを押します。刺しゅう開始画面になります。（ぬい方は45ページをご覧ください。）

A 「戻る」ボタンを押すと、１つ前の画面に戻ります。

B 文字は、大きさを変えることができます。
文字選択画面で、A+ ボタンを押すと大きく、A− ボタンを押すと小さくなります。

（刺しゅう枠の範囲を超える大きさや、その文字の最大、最小を超える大きさは、ピピピッとなって選べません。）

大きさは、選んだ文字全てが変わります。
大きさは、レイアウト画面（47ページ参照）でも変えられます。

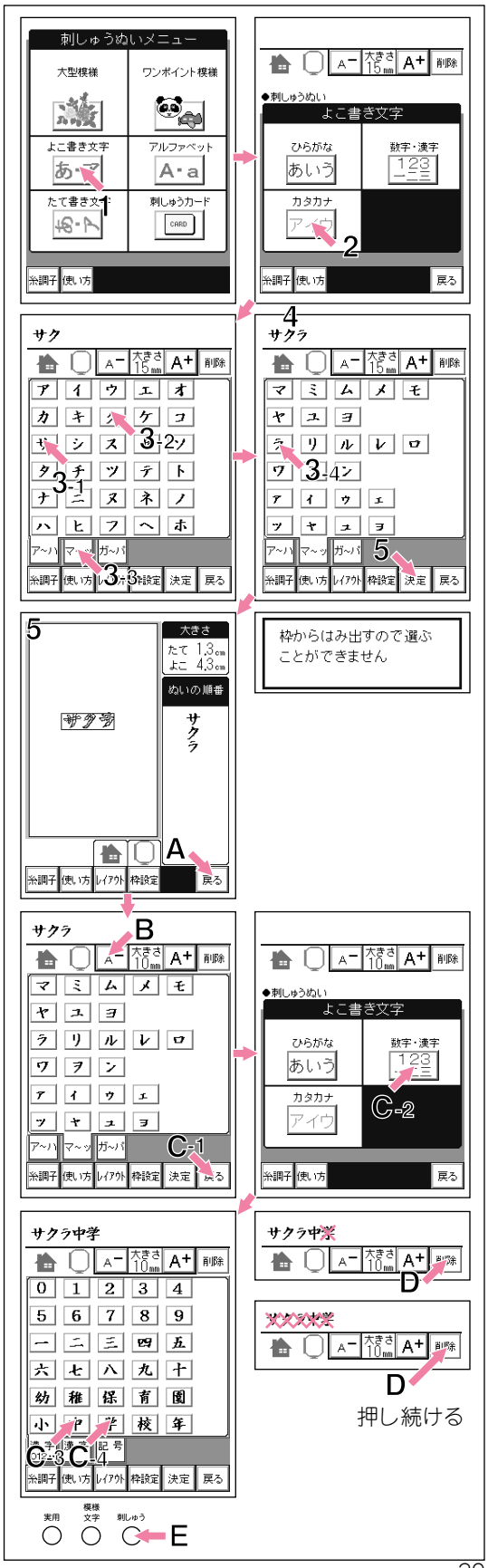
● 大きさやレイアウトを変えたり、刺しゅう枠設定画面（42ページ参照）で、枠の大きさを変えると、ぬえる文字数が変わり、枠の範囲内であれば、文字を追加することができます。

C グループ選択画面に戻り、他のグループの文字を選んで、組み合わせることができます。

D 間違った文字を選んでしまった場合は、削除ボタンを押すと、最後に選んだ文字が削除されます。押し続けると、後ろから１つずつ削除されていきます。

E 「刺しゅう」ボタンを押すと、刺しゅうぬいメニューに戻ります。

注意：
刺しゅうぬいメニューまで戻ると、選んだ文字はすべて削除されます。



刺しゅう文字の選び方（2）

●アルファベットの選び方

アルファベットは、4つの書体から選ぶことができます。

1 刺しゅうぬいメニューから「アルファベット」選択ボタンを押します。
4つの書体グループが表示されます。（書体選択画面）

2 この中からぬいたい書体の選択ボタンを押します。選んだ書体の大文字「ABC..」が表示されます。（文字選択画面）

3 この中からぬいたい文字を押して選ぶか、小文字「abc..」数字「012..」ボタンを押して、別の文字を選びます。

4 文字を選ぶと、操作パネルの最上段に選んだ文字が表示され、選んでいくごとに追加されていきます。

（選んだ文字数が刺しゅう枠の範囲を超えると、お知らせメッセージが表示されます。）

5 選び終わったら「決定」ボタンを押します。
刺しゅう開始画面になります。（ぬい方は45ページをご覧ください。）

A 「戻る」ボタンを押すと、１つ前の画面に戻ります。

B 文字は、大きさを変えることができます。
文字選択画面で、A+ ボタンを押すと大きく、A− ボタンを押すと小さくなります。

（刺しゅう枠の範囲を超える大きさや、その文字の最大、最小を超える大きさは、ピピピッとなって選べません。）

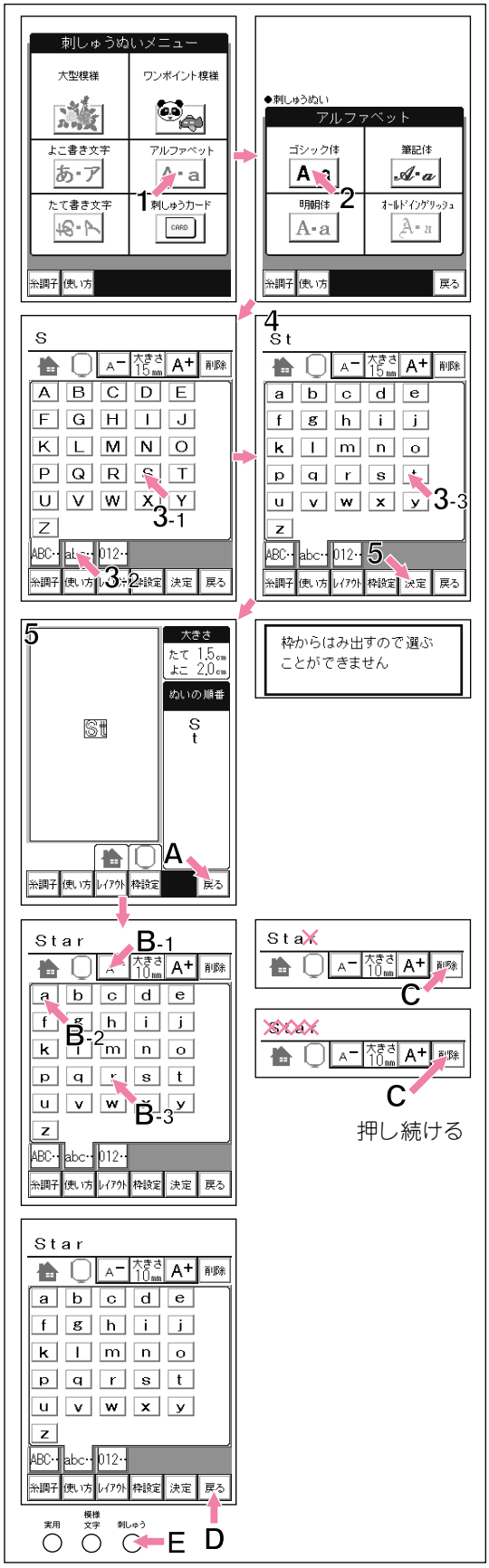
大きさは、選んだ文字全てが変わります。
大きさは、レイアウト画面（47ページ参照）でも変えられます。

● 大きさやレイアウトを変えたり、刺しゅう枠設定画面（42ページ参照）で、枠の大きさを変えると、ぬえる文字数が変わり、枠の範囲内であれば、文字を追加することができます。

C 間違った文字を選んでしまった場合は、削除ボタンを押すと、最後に選んだ文字が削除されます。押し続けると、後ろから１つずつ削除されていきます。

D **注意：**
「戻る」ボタンを押して、書体選択画面に戻ると、選んだ文字はすべて削除されます。

E 「刺しゅう」ボタンを押すと、刺しゅうぬいメニューに戻ります。
注意：選んだ文字はすべて削除されます。

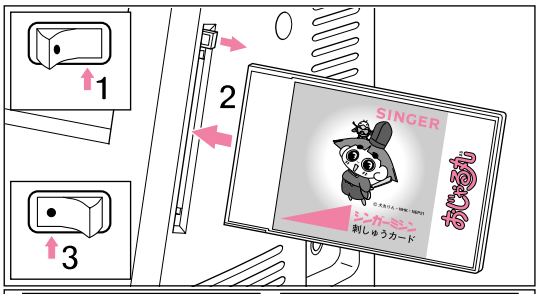


刺しゅうカードの使い方

このミシンには、「おじゃる丸」の刺しゅうカードが標準でついています。
また、別売りの刺しゅうカードを使うことによって、より多くの刺しゅうぬいを楽しむことができます。刺しゅうカードは、いろいろな種類を用意してありますので、販売店にお問い合わせください。

⚠ カード取り扱い上の注意

カードの抜き差しは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
カードは、曲げたり、落としたり、分解、充電、加熱したりしないでください。また、湿気のあるところや、直射日光の当たるところに置かないでください。



●刺しゅうカードの取り付け方

1 電源スイッチを切ります。

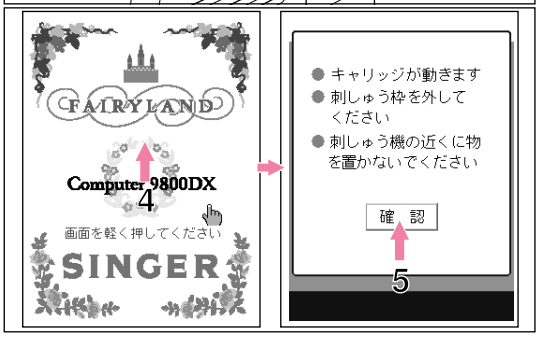
2 刺しゅうカードを矢印のある方を表にして、ミシン右側にある刺しゅうカード差込口にまっすぐ突き当たるまで入れてください。
（取り出しボタンが出てきます。）

3 電源スイッチを入れます。

4 オープニング画面を押します。

5 「キャリッジが動きます」と表示されますので、「確認」ボタンを押します。

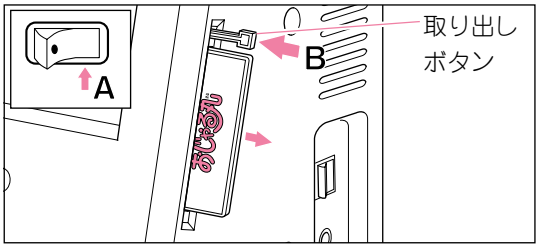
これ以外の表示のときは、37ページをご覧ください。



取り出し方

A 電源スイッチを切ります。

B 刺しゅうカード取り出しボタンを押します。
カードが取り出せます。



●模様の選び方

1 刺しゅうぬいメニューから「刺しゅうカード」選択ボタンを押します。
このカードでぬえる模様の最初の9種類が表示されます。

カードによっては、カラー表示にならないものや、表示に時間のかかるものがあります。

2 この中から模様を選ぶか、「次ページ」ボタンを押します。次の9種類が表示されます。「次ページ」ボタンを押すごとに模様が切りかわります。

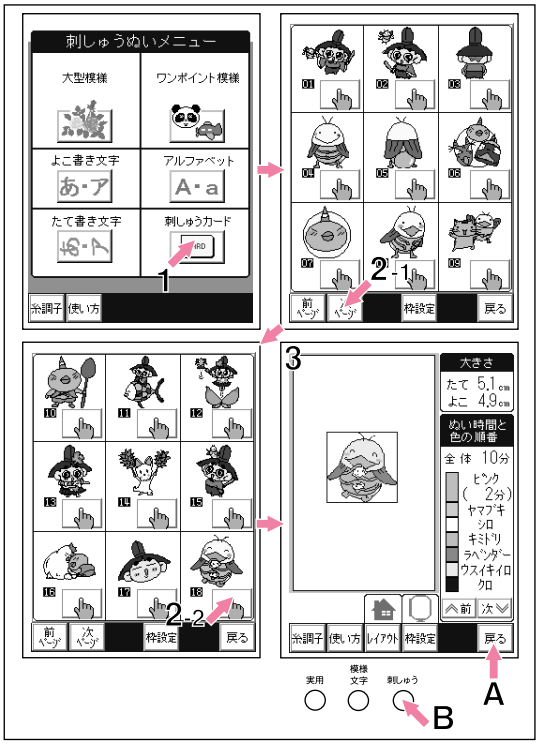
次のページが無いときは、ピピピッとなってお知らせします。「前ページ」ボタンで前のページに戻ります。

3 模様を選ぶと刺しゅう開始画面になります。
ぬい方については、44ページをご覧ください。

A 「戻る」ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

B 「刺しゅう」ボタンを押すと、刺しゅうぬいメニューに戻ります。

カードによっては、選び方や表示が異なる場合があります。その際は、カードについている手びきをご覧ください。



刺しゅう枠の設定

●布、糸、針の準備

布地

きれいに仕上げるために布の裏面に接着芯（不織布タイプ）をはってください。
特に薄地や伸縮地などぬいにくい布地には、芯地をしくか、接着芯を2枚重ねてはってください。

糸

下記の糸のご使用をおすすめします。
上糸：ミシン刺しゅう糸（キングスター）#50
　　シャッペスパン糸　#60
下糸：シャッペスパン糸　#90

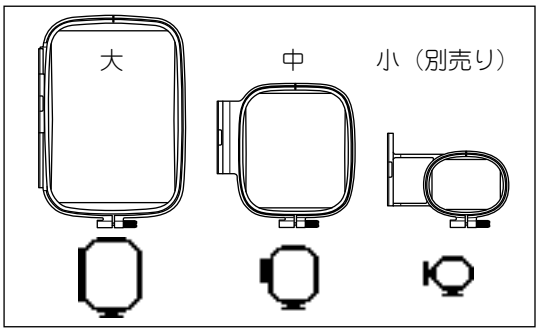
針

家庭用ミシン針（HA×1）11番
（薄地、伸縮地にはニット針をお使いください。）

●刺しゅう枠の設定

刺しゅう枠には、大、中、小（別売り）の3種類があります。ぬう布地や刺しゅうの大きさによって使い分けます。

大　刺しゅう範囲　たて20 cm ×よこ12 cm
　大型模様や、長い文字ぬい
中　刺しゅう範囲　たて10 cm ×よこ10 cm
　ワンポイント模様や、短い文字ぬい
小　刺しゅう範囲　たて 4 cm ×よこ 5 cm
　イニシャル文字ぬい



操作パネルで刺しゅう枠の設定をします。

1 模様または文字を選んで刺しゅう開始画面にします。（または選ぶ前の状態にします）
操作パネルの下部に「枠設定」ボタンが表示されます。

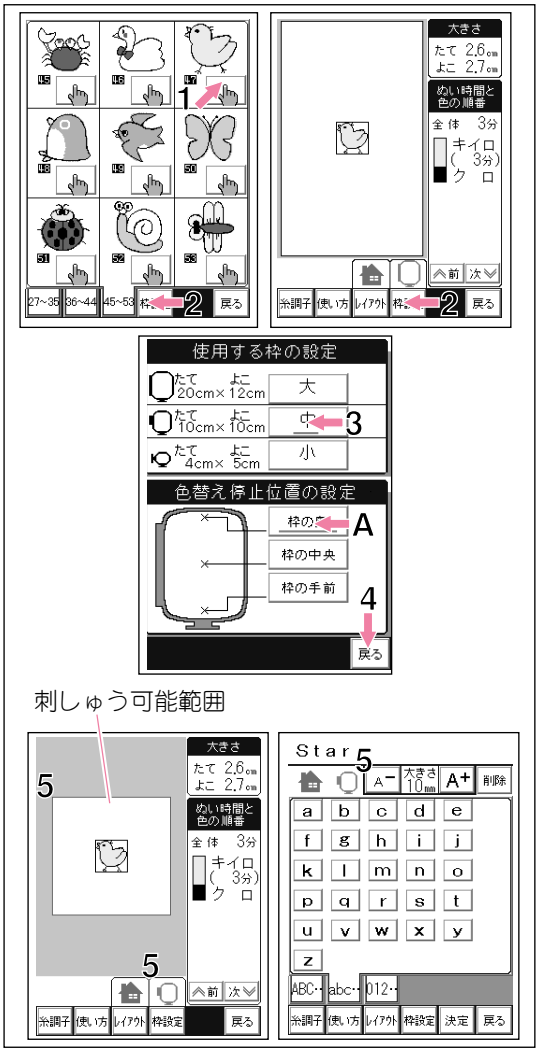
2 「枠設定」ボタンを押します。
枠設定画面が表示されます。

3 使用する枠のボタンを押します。

（選んだ模様が、刺しゅう枠の範囲に入らない場合は、その枠は選べません。
電源を入れたときの枠の設定は、「大」になっています。
枠の設定は、電源を切るまで記憶されています。）

4 設定が終わったら「戻る」ボタンを押します。

5 刺しゅう開始画面では左側の刺しゅう可能範囲を示す枠が変わり、設定した枠の絵が下部に表示されます。また、文字選択画面では、枠の絵が上部に表示されます。



A　色替え停止位置の設定

2色以上の模様で、上糸の色をかえるときに枠の停止位置を設定することができます。
枠設定画面で、「枠の奥」「枠の中央」「枠の手前」ボタンを押して選びます。

（電源を入れたときの位置は「枠の中央」になっています。
色替え停止位置の設定は、電源を切るまで記憶されています。）

刺しゅう枠の取り付け

●布の取り付け方

1 布地に刺しゅうしたい位置をチャコペンで印をつけます。

（模様は、模様の中心線
よこ書き文字は、左右の中心線と、文字の下端の線
たて書き文字は、上下の中心線と、文字の中心線）

2 外枠の調節ネジをゆるめ、内枠を取りはずします。

3 内枠の▌マークを上にして、内枠の上にテンプレートをのせます。

（テンプレート右側と下にある▲マークと、内枠の右側と下にある▲マークが合うようにしてのせます。）

4 テンプレートのガイドラインが、布地の印と合うようにして、内枠を置きます。

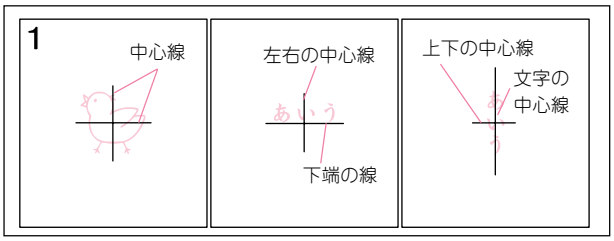
5 布地と内枠がずれないようにして、外枠の中にはさみ込みます。

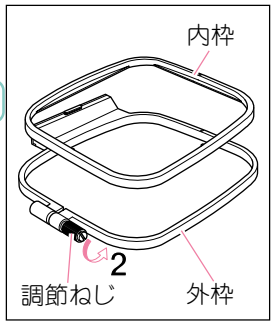
（外枠と内枠の▌マークを合わせてください。
外枠と内枠の高さが合うように、平らなテーブルの上に置いて行ってください。）

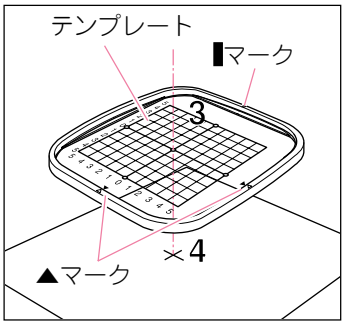
6 調節ネジを軽くしめ、枠内の布地のたるみを引っ張って直します。

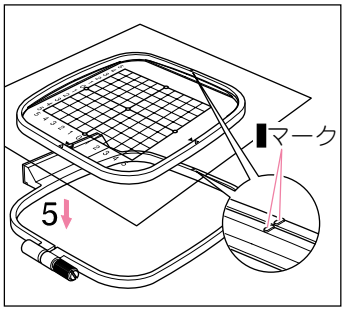
7 調節ネジをしっかりとしめます。

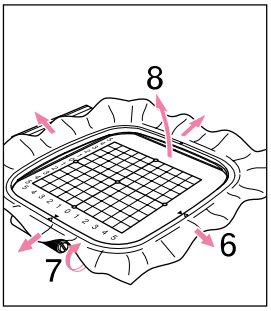
8 テンプレートを取りはずします。











枠の端からぬい始めたいときなどは、レイアウト機能を使ってぬい始めの位置を枠の中心からずらすこともできます。（46ページ「レイアウトの調整」参照）

●刺しゅう枠の取り付け方

刺しゅう枠を取り付ける前に、下糸が十分あることを確認して、正しく引き上げておいてください。

1 針と押えを上げます。

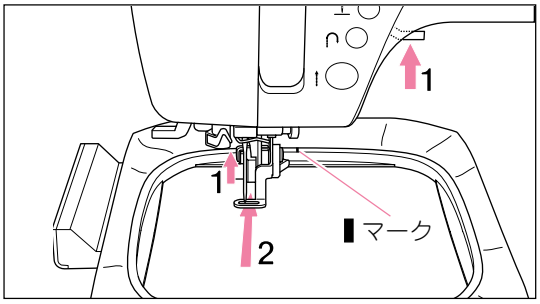
2 枠の▌マークを上にして、押えの下をくぐらせます。

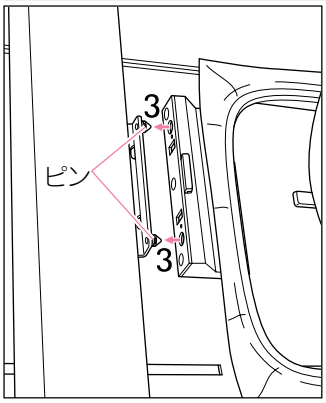
3 刺しゅう枠ホルダーの2つのピンを刺しゅう枠の穴に合わせてしっかりと差し込みます。

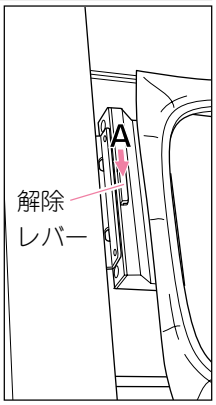
（2ヶ所ともきちんと差し込んでください。）

A 取りはずし方

刺しゅう枠の解除レバーを下に押しながら、刺しゅう枠を右に引きます。







> ⚠ **注意：ケガ防止のために；**
> 刺しゅう枠は必ず設定した刺しゅう枠と同じものを取り付けてください。違う大きさの刺しゅう枠を使うと枠に押えがあたり、危険です。

ぬってみましょう（模様）

ワンポイント模様のヒヨコをぬってみましょう。

1 刺しゅう押えと刺しゅう機を取り付けます。
（刺しゅうぬいの準備36-37ページ）

2 下糸を入れ、上糸（キイロ）をかけて、下糸を引き上げます。
（下糸、上糸の準備12-15ページ）

3 ヒヨコの模様を選びます。（ワンポイント模様の選び方38ページ）
刺しゅう開始画面になります。

●刺しゅう開始画面の表示内容

a. 刺しゅう可能範囲
b. 刺しゅう模様と位置
c. 模様の大きさ
d. ぬい時間と糸色の順番
（「次」ボタンで次にぬう色のぬい時間がわかります。「前」ボタンで前に戻ります。）
e. レイアウトの状態（46ページ参照）
f. 設定した枠の大きさ

4 刺しゅう枠を「中」に設定します。
刺しゅう枠（中）に布を取り付け、刺しゅう枠ホルダーに取り付けます。
（刺しゅう枠の設定42ページ、布と枠の取り付け方43ページ）

5 上糸を刺しゅう押えの穴に上から通し、押えを下げ、後ろの糸切りに下からかけて切ります。

6 スタートボタンを押します。
（ぬい始めの余分な糸が表側に出てきたら、数針ぬってからミシンを止め、押えを上げて切り取ります。切った糸を取り除いてから押えを下げ、再びスタートします。）

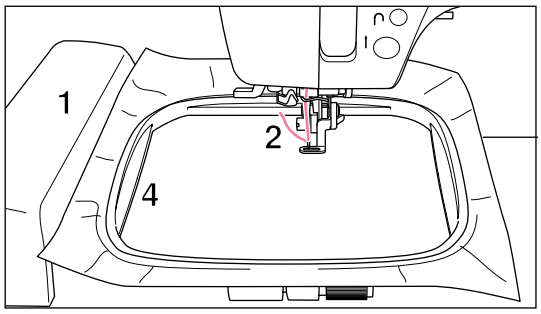
7 ミシンは、最初のキイロの模様をぬって、自動的に糸を切って止まります。
（刺しゅうのぬいスピードは、ミシンが自動で調整します。スピード調節つまみは、きかなくなります。）

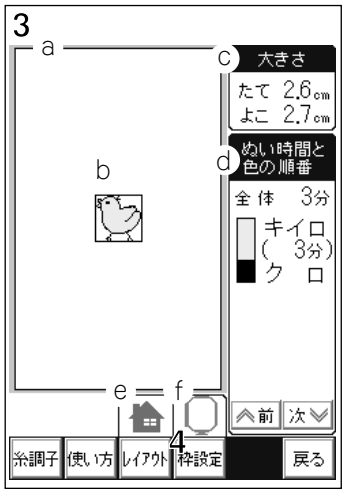
8 ぬい終わると、画面右側では糸色のキイロが消えて、次のクロが上に移動します。

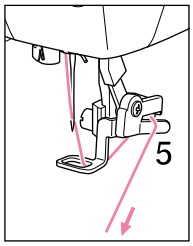
9 押えを上げ、上糸を次のクロにかけ直し、同じようにしてぬいます。
ミシンはクロをぬって自動的に糸を切って止まります。

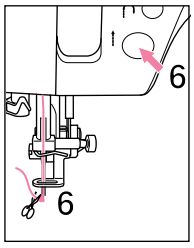
10 押えを上げ、刺しゅう枠を取り外します。
（取り外し方43ページ）

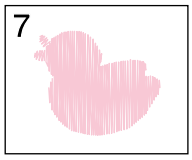
11 刺しゅう枠から布を外し、余分な糸（渡り糸）を切り取って仕上げます。

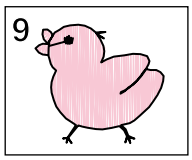


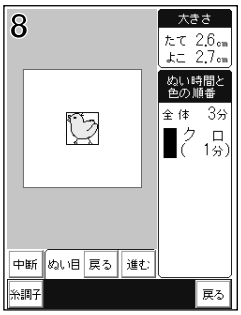


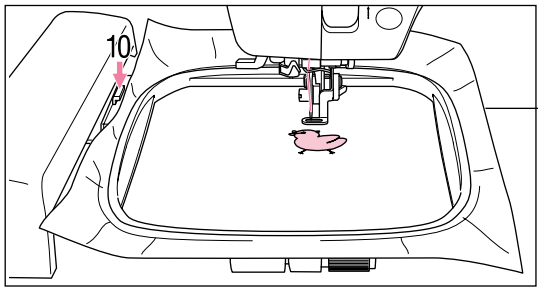


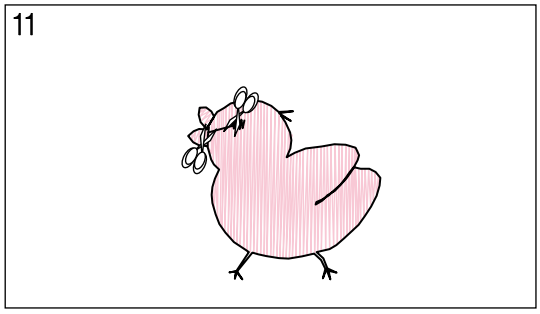












注意：ケガ防止のために；
上糸を糸切りにかけるときや、糸通しを使うときは、針先に十分注意してください。

ぬってみましょう（文字）

「1年2組」をぬってみましょう。

1 刺しゅう押えと刺しゅう機を取り付けます。
（刺しゅうぬいの準備36-37ページ）

2 下糸を入れ、上糸をかけて、下糸を引き上げます。（下糸、上糸の準備12-15ページ）

3 よこ書き文字で「1年2組」を選びます。（選び方39ページ）

4 大きさボタンで大きさを変えることができます。

5 「決定」ボタンを押します。
刺しゅう開始画面になります。

●刺しゅう開始画面の表示内容

a. 刺しゅう可能範囲
b. 刺しゅう文字と位置
c. 文字全体の大きさ
d. 文字の内容

（文字数が多くて、表示しきれないときは、「次」ボタンが表示されます。「次」ボタンを押すごとに、1つ次の文字が表示されます。「前」ボタンで前の文字に戻ります。）

e. レイアウトの状態（47ページ参照）
f. 設定した枠の大きさ

6 刺しゅう枠（大）に布を取り付け、刺しゅう枠ホルダーに取り付けます。
（電源を入れたときの刺しゅう枠は（大）に設定されます。）
（刺しゅう枠の設定42ページ、布と枠の取り付け方43ページ）

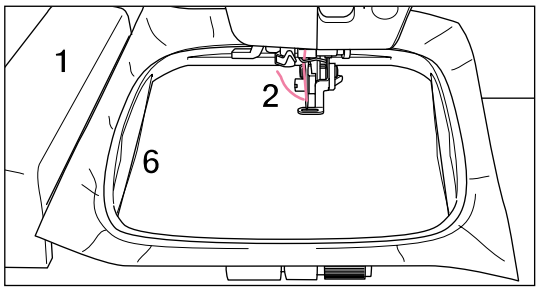
7 上糸を刺しゅう押えの穴に上から通し、押えを下げ、後ろの糸切りに下からかけて切ります。

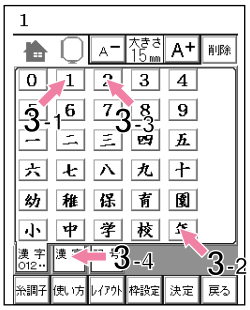
> ⚠ **注意：ケガ防止のために；**
> 上糸を糸切りにかけるときは、針先に十分注意してください。

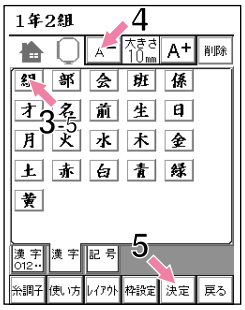
8 スタートボタンを押します。
（ぬい始めの余分な糸が表側に出てきたら、数針ぬってからミシンを止め、押えを上げて切り取ります。切った糸を取り除いてから押えを下げ、再びスタートします。）
画面右側の文字は、ぬい終わると一つずつ消えていきます。
ミシンは、1年2組を続けてぬって、自動的に糸を切って止まります。
（刺しゅうのぬいスピードは、ミシンが自動で調整します。スピード調節つまみは、きかなくなります。）

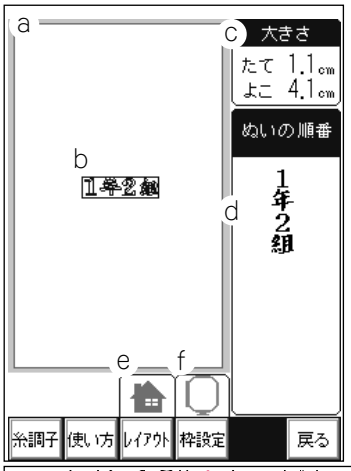
9 押えを上げ、刺しゅう枠を取り外します。
（取り外し方43ページ）

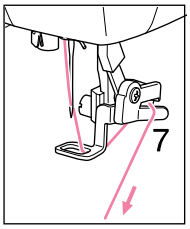
10 刺しゅう枠から布を外し、余分な糸（渡り糸）を切り取って仕上げます。

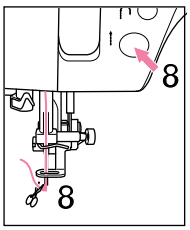


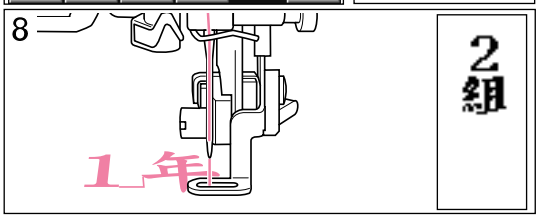


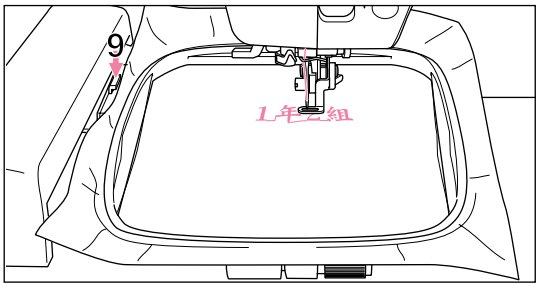












レイアウトの調整（模様）

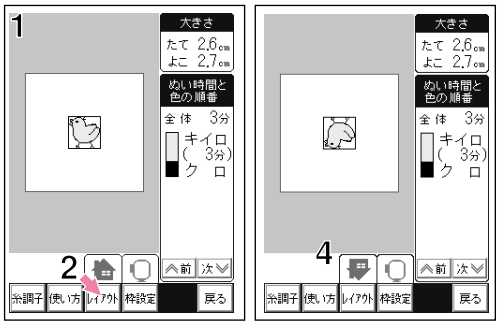
レイアウト機能を使って、模様の回転、反転、ぬい位置の移動ができます。

●レイアウト機能の呼び出し

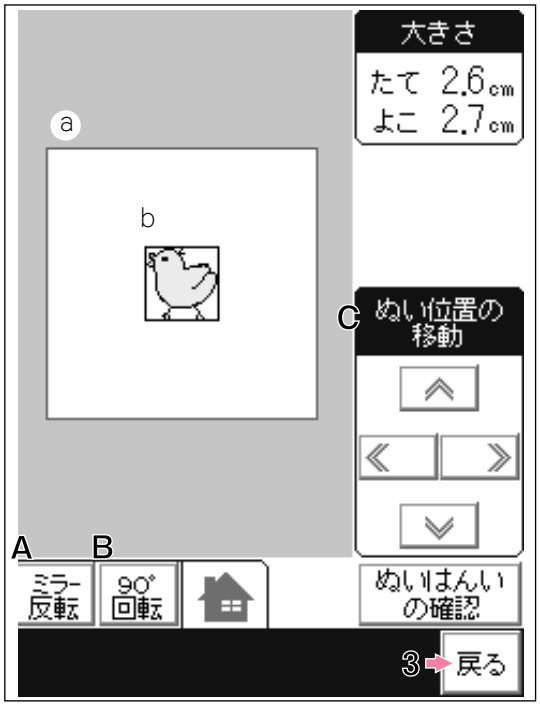
1 模様を選びます。
刺しゅう開始画面になります。

2 「レイアウト」ボタンを押します。
レイアウト画面に切りかわります。

a. ぬい可能範囲が表示されます。
（設定した刺しゅう枠によって、ぬい可能範囲が変わります。）
b. 選んだ模様と位置が表示されます。



レイアウト画面



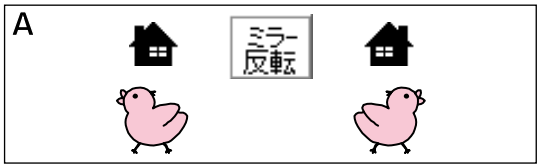
●下記のA.B.C.の機能を使ってレイアウトの調整をします。
画面の模様（b）もレイアウトに合わせて変わります。

3 調整が終わったら「戻る」ボタンを押します。
（レイアウト画面では、ミシンはスタートしません。）

4 レイアウトに合わせて🏠の絵が変わります。

●模様の反転

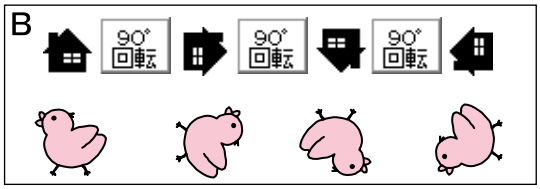
A 「ミラー反転」ボタンを押します。
模様が反転していること示すため、模様（b）と、🏠の絵が反転します。
もう一度押すと、もとに戻ります。



●模様の回転

90度単位で模様を回転させることができます。

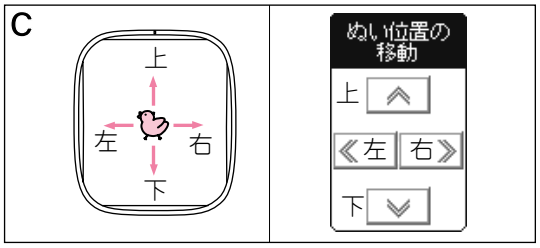
B 「90°回転」ボタンを押します。
90度回転していることを示すため、画面の模様（b）と、🏠の絵が90度回転します。
ボタンを押すごとに90度ずつ回転します。
もし、90度回転でぬい可能範囲を超えるときは、180度回転します。



●ぬい位置の移動

模様を選んだとき、刺しゅう枠の中心に模様をぬうように設定されています。
模様を枠の中心からずらしてぬいたいときは、ぬい位置を移動してぬうことができます。

C 右下の4つの矢印ボタンでぬい位置を移動することができます。



注意：

1. このとき、刺しゅう枠が動きますので、ご注意ください。
2. ぬい位置を移動した後、模様の回転をすると、刺しゅう枠の中心に戻ります。

レイアウトの調整（文字）

レイアウト機能を使って、文字の大きさ、文字間の調整、回転、ぬい位置の移動ができます。

●レイアウト機能の呼び出し

1 文字を選びます。（文字選択画面または、刺しゅう開始画面）操作パネルの下部に「レイアウト」ボタンが表示されます。

2 「レイアウト」ボタンを押します。
レイアウト画面に切りかわります。

a. ぬい可能範囲が表示されます。
（設定した刺しゅう枠によって、ぬい可能範囲が変わります。）

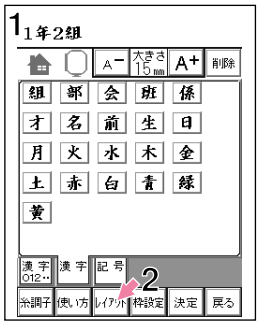
b. ぬう文字と位置が表示されます。

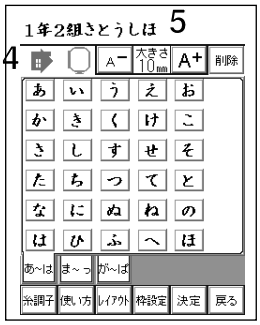
● 下記のA.B.C.D.の機能を使ってレイアウトの調整をします。
画面の文字（b）もレイアウトに合わせて変わります。

3 調整が終わったら「戻る」ボタンを押します。
（レイアウト画面では、ミシンはスタートしません。）

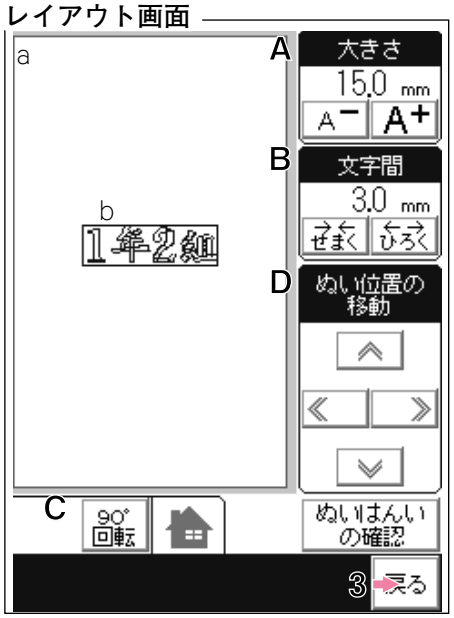
4 回転方向に合わせて🏠の絵が変わります。

5 レイアウト調整でぬい可能範囲が広くなれば、文字を追加して選ぶことができます。





レイアウト画面



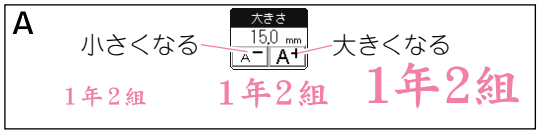
●文字大きさの調整

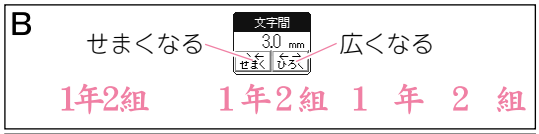
A A+ボタンで大きく、A−ボタンで小さくなります。

●文字間の幅の調整

B 「ひろく」ボタンでひろく、「せまく」ボタンでせまくなります。

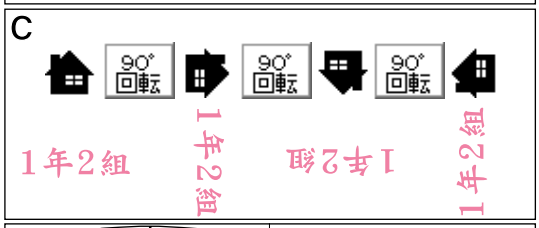
● 文字大きさと文字間の幅は、選んだ文字全てが変わります。
（大きさや文字間の幅は、刺しゅう枠の範囲や、その文字の最大、最小を超えるときは、ピピピッとなって選べません。）





●文字の回転

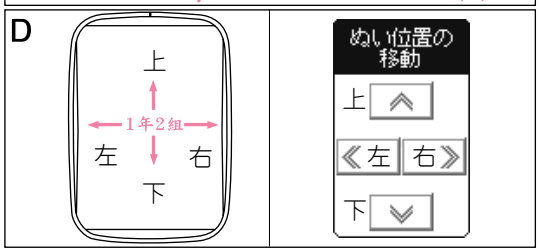
C レイアウト画面の「90°回転」ボタンを押します。90度回転していることを示すため、画面の文字（b）と🏠の絵が90度回転します。
ボタンを押すごとに90度ずつ回転します。
もし、90度回転でぬい可能範囲を超えるときは、180度回転します。



●ぬい位置の移動

文字は、刺しゅう枠の中心にぬうように設定されています。

D 右下の4つの矢印ボタンでぬい位置を移動することができます。



注意：
1. このとき、刺しゅう枠が動きますので、ご注意ください。
2. ぬい位置を移動した後、文字の回転や文字を追加すると、刺しゅう枠の中心に戻ります。
3. ぬい位置によっては、文字大きさや幅を大きく（広く）できない場合があります。移動する前に調整してください。

ぬい範囲の確認

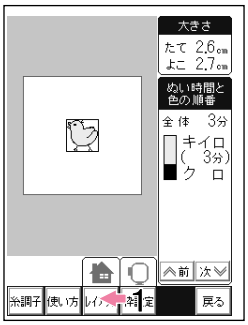
レイアウト画面で刺しゅうをぬう範囲を確認することができます。

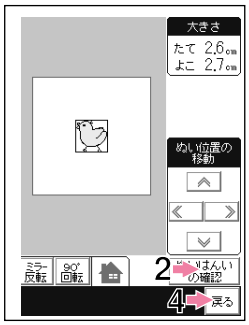
1 刺しゅう開始画面または、文字選択画面で、「レイアウト」ボタンを押します。

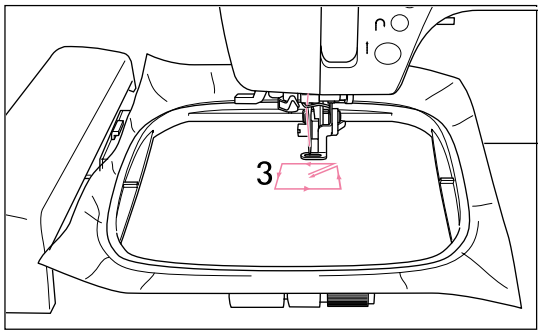
2 右下の「ぬいはんいの確認」ボタンを押します。

3 刺しゅう枠が動いて、ぬい範囲を示します。このとき刺しゅう枠が刺しゅう押えにぶつからないことを確認してください。
もし、ぶつかるようなら刺しゅう枠の設定が取り付けた刺しゅう枠と違っていないか確認してください。

4 確認が終わったら、「戻る」ボタンを押します。







応用ぬい

●模様と文字の組み合わせぬい

レイアウト機能を使って模様と文字を組み合わせてぬうことができます。

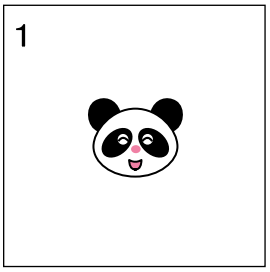
例: ワンポイント模様の とカタカナの「パンダ」を上下に並べてぬってみましょう。

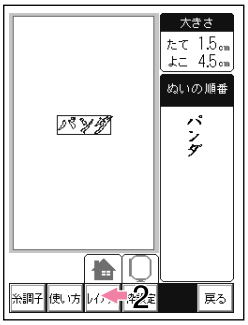
1 ワンポイント模様 を枠の中心にぬいます。

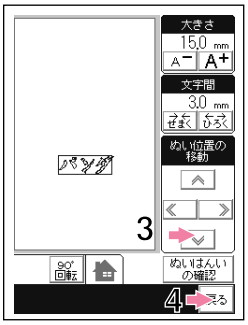
2 よこ書き文字で「パンダ」と選び、「決定」ボタンで刺しゅう開始画面にした後、レイアウトボタンを押します。

3 「ぬいはんいの確認」ボタンでぬい範囲を確認しながら、ぬいがワンポイント模様に重ならないように4つの矢印ボタンでぬい位置を移動します。

4 「戻る」ボタンを押して、「パンダ」の文字ぬいをします。







アップリケ刺しゅうのぬい方（別売り）

別売りの刺しゅうカードの模様の中には、アップリケ布をぬい付けて刺しゅうをする「アップリケ刺しゅう」の出来るものがあります。

1 アップリケ刺しゅうの模様を選びます。
「例：みつばちマーヤカード（別売り）
模様16」

2 最初の色の糸をかけてミシンをスタートさせます。
ミシンはアップリケの形の線をぬって止まります。

3 メッセージ「アップリケ用の布をしいてください」と表示されます。
押えを上げ、2でぬったアップリケの形の線より大きく切った布地をしきます。（薄い布やすべりやすい布には、動かないようにのり付けしてください）

4 メッセージの中の「戻る」ボタンを押します。
押えを下げ、ミシンをスタートさせます。
ミシンは、アップリケの布をぬい付け、自動的に糸を切って止まります。

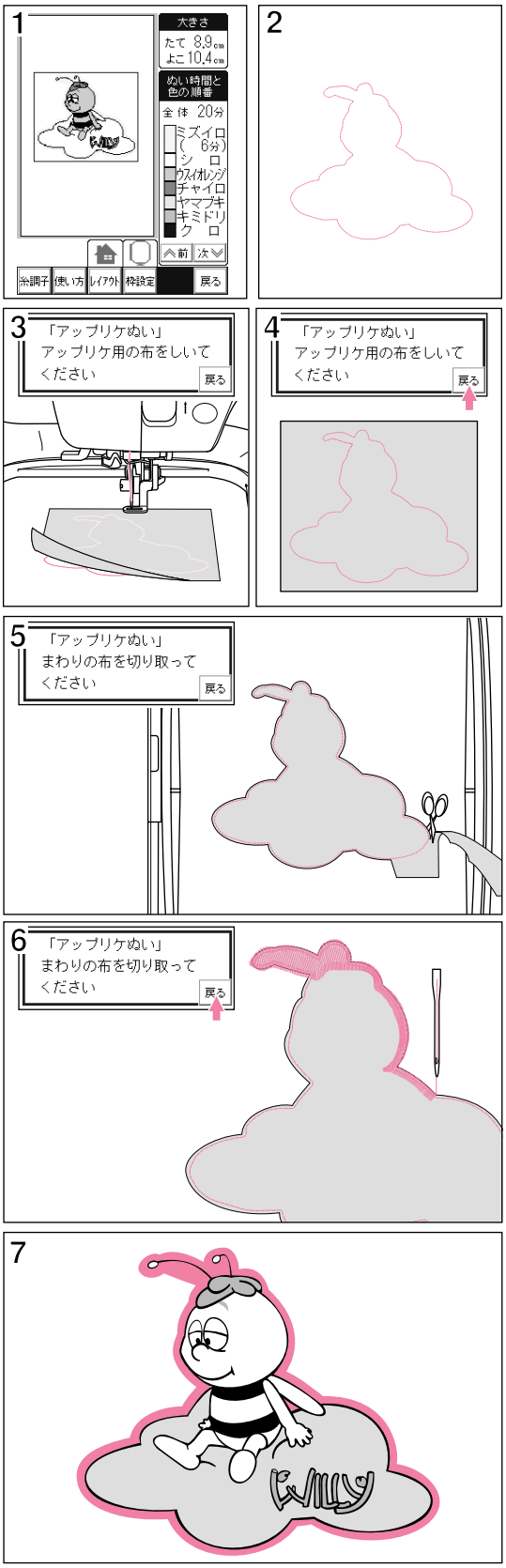
5 メッセージ「まわりの布を切り取ってください」と表示されます。
押えを上げ、刺しゅう枠を刺しゅう機から取りはずし、4でぬったぬい目の外側を少し残して（1mmくらい）アップリケ布の回りを切り取ります。

6 刺しゅう枠を取り付け、メッセージの中の「戻る」ボタンを押します。
押えを下げ、ミシンをスタートさせます。
ミシンは、アップリケ布の端をかがるように密着ぬいをします。

7 糸を次の色に取りかえて、中の刺しゅうをぬっていきます。

アップリケの布をしかずにそのままぬい進めれば、普通の刺しゅうぬいになります。

（別売りカードの）模様の中には、アップリケの形の線をぬわないものもあります。



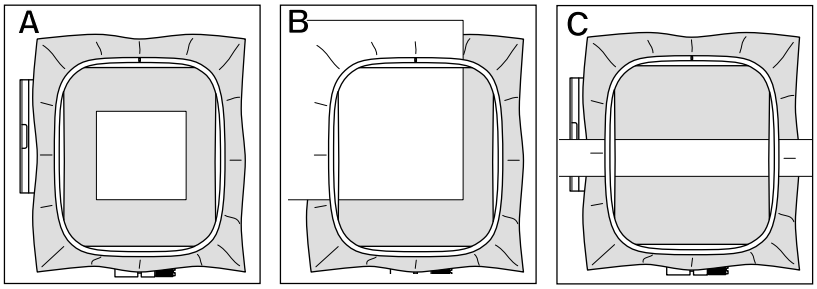
●小さい布や布端にぬうには

接着芯（不織布タイプ）にはってぬいます。
ぬい終わってから芯を取り除きます。

A 小さい布

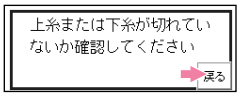
B 布端

C 帯状のもの
（リボンテープなど）

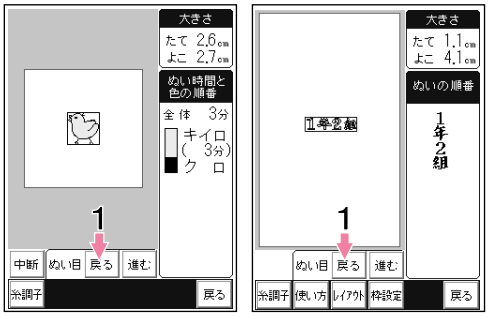


●ぬいの途中で糸が切れたり、なくなったら

上糸が切れたり、なくなった場合には、ミシンは自動的に停止します。お知らせメッセージが出ますので、「戻る」ボタンを押してから、以下のようにして糸をかけ直します。（下糸が切れても止まることがあります。）
下糸が切れたり、なくなったときは、スタート・ストップボタンでミシンを止めてから、下糸（ボビン）を入れ直してください。



模様のとき　文字のとき



上糸が切れたり、なくなった場合

針と押えを上げ、上糸をかけ直します。
（14ページ参照）

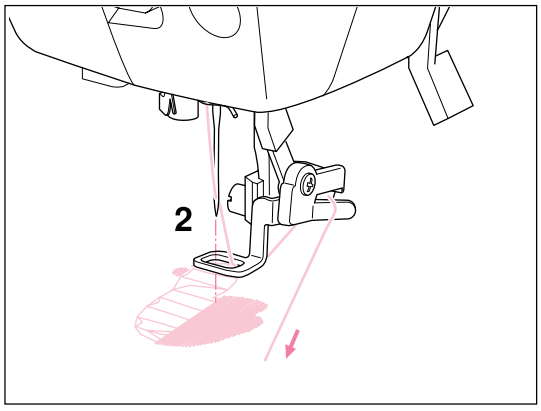
下糸が切れたり、なくなった場合

1. 針と押えを上げます。
2. 上糸を切って刺しゅう枠を取り外します。
3. 下糸（ボビン）を入れ直して、引き上げます。
4. 刺しゅう枠を取り付けます。

糸をかけ直したら、

1 ぬい目「戻る」ボタンを押します。1回押すごとに1針分戻ります。
糸が切れたところより、3-4針多めに戻ります。
戻りすぎた場合は「進む」ボタンで進めます。

2 押えを下げ、上糸を糸切りにかけて切り、スタートします。



> ⚠ **注意：ケガ防止のために；**
> 上糸を糸切りにかけるときは、針先に十分注意してください。

注意

ぬいの途中で、ぬい目「戻る」ボタンではなく、画面右下の「戻る」ボタンを押すと、「刺しゅうぬいを終了しますか」というメッセージが表示されます。このとき、「はい」ボタンを押すと、模様選択画面や、文字選択画面に戻り、そこまでぬっていた刺しゅうの続きがぬえなくなります。
続きをぬいたいときは、「いいえ」ボタンを押してください。

●ぬいを中断するには

模様（大型模様、ワンポイント模様、カード）をぬっている途中で、電源を切ってミシンから離れたい場合があるかもしれません。こんなときには、ぬいの状態を記憶させることができます。戻ってきてから、電源を入れ直して続きをぬうことができます。

中断するには、

1 スタート・ストップボタンでミシンを止めます。

2 糸切りボタンを押します。

3 押えを上げます。

4 「中断」ボタンを押します。

5 「ぬい位置を記憶しました」とメッセージが出たら、電源スイッチを切ります。

（刺しゅうカードを入れているときは、抜かないでおいてください。）

6 刺しゅう枠を取りはずします。

（布は、枠からはずさないでください。）

続きをぬうには、

7 電源スイッチを入れ、オープニング画面を押します。

（針が上位置にないときは、お知らせメッセージ「針上下ボタンを押して針を上にあげてください」が表示されます。このときは、針上下ボタンで針を上げてください。）

8 「キャリッジが動きます」と表示されたら、「確認」ボタンを押します。

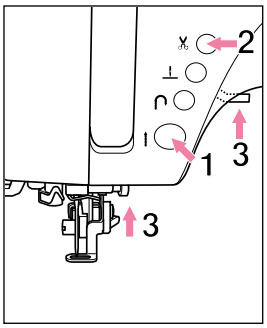
9 「復帰」ボタンを押します。
中断したときの状態に戻ります。
「復帰」ボタン以外を押すと、記憶は消去されます。

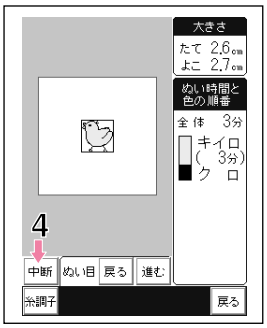
10 刺しゅう枠を取り付けます。

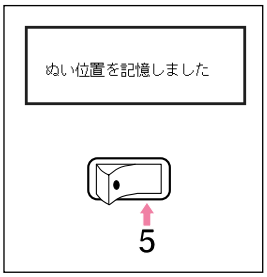
11 ぬい目「戻る」ボタンを3〜4回押して、糸を切ったところから数針戻ります。

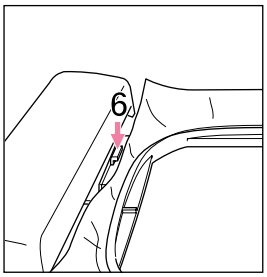
12 押えを下げ、上糸を糸切りにかけて切り、スタートします。

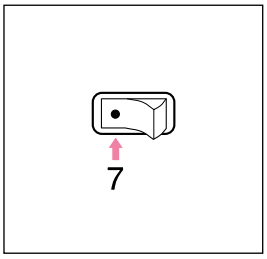
> ⚠ **注意：ケガ防止のために；**
> 上糸を糸切りにかけるときは、針先に十分注意してください。

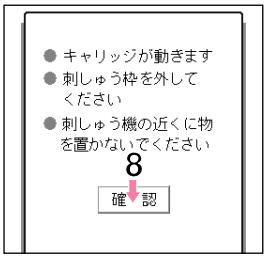


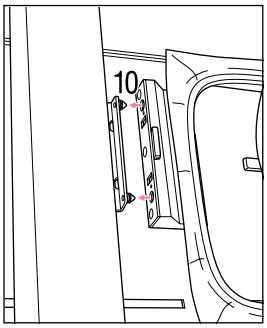


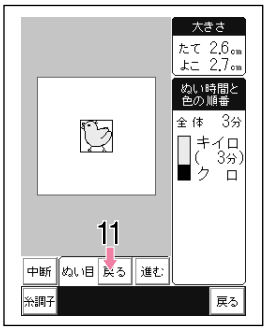


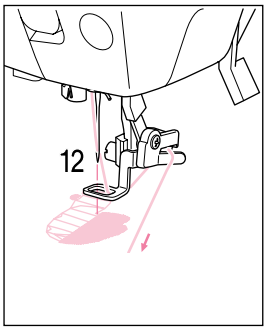












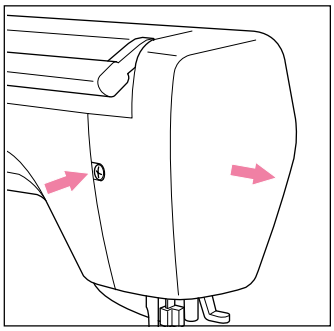
●ミシンと刺しゅう機の仕様

定格電圧	100V
消費電力	75W
周波数	50Hz/60Hz
ランプ定格	8V/2.4W
寸　法	ミシン　　幅：440 mm × 高さ：300 mm × 奥行き：200 mm 刺しゅう機 幅：350 mm × 高さ：130 mm × 奥行き：290 mm
重　量	ミシン　　10.6 Kg　　刺しゅう機　2.2 Kg

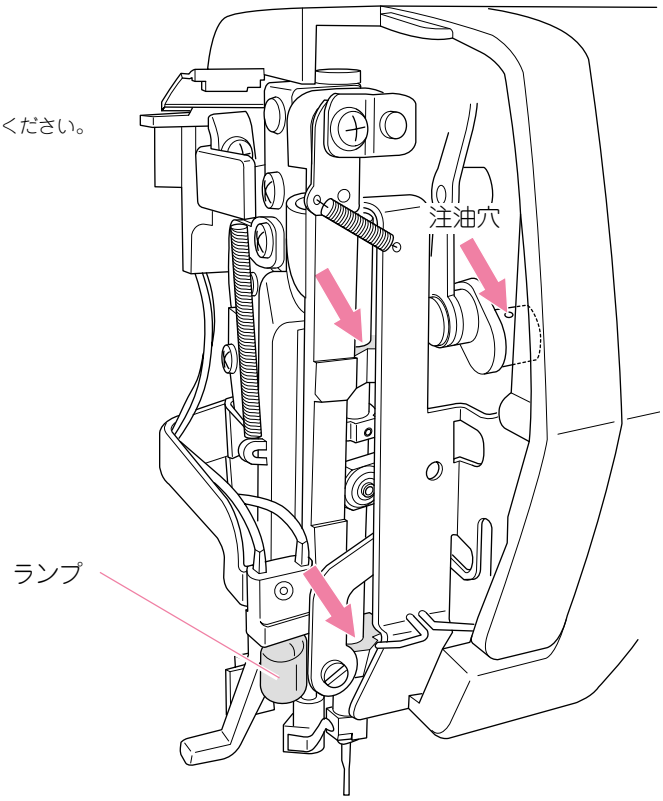
●ランプの交換・注油

⚠ **警告：感電、ケガ防止のために；**
お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。
注意：ケガ防止のために；
長時間使用していると、ランプが熱くなりやけどをする恐れがあります。電源プラグを抜いて十分冷えてから交換してください。

1 面板後ろの止ネジをゆるめます。
2 面板を左に引いて取りはずします。
3 ランプを引き抜きます。
●ランプはミシンをお買い上げの販売店でお求めください。



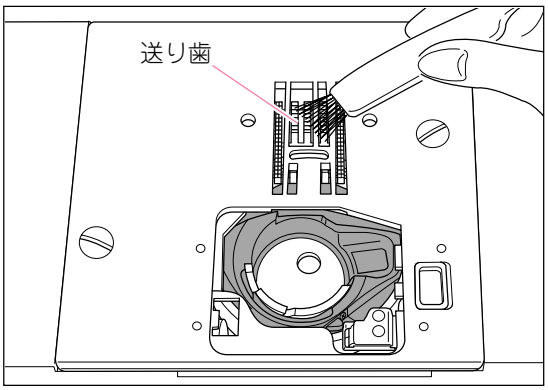
このミシンは特に注油の必要はありませんが、数カ月以上ご使用にならないときや長時間ぬったあとは、右図の矢印のところに油をさしておいてください。
● かまやボビンケースには、油をささないでください。



●かまと送り歯の掃除

> ⚠ **警告：感電、ケガ防止のために；**
> お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。

糸くずやほこりがたまると、ぬい調子を悪くしたり、故障の原因にもなります。
いつも清潔にしておいてください。

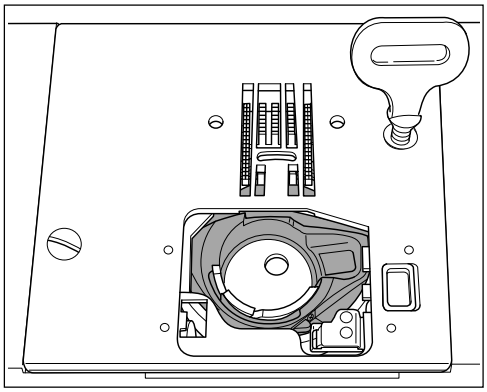


＊ ボビンケースの掃除

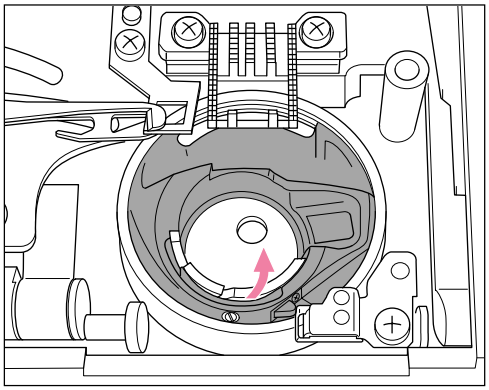
ボビンカバーとボビンを取りはずし、ブラシなどで掃除してください。

＊ 外がまと送り歯の掃除（針板のはずし方）

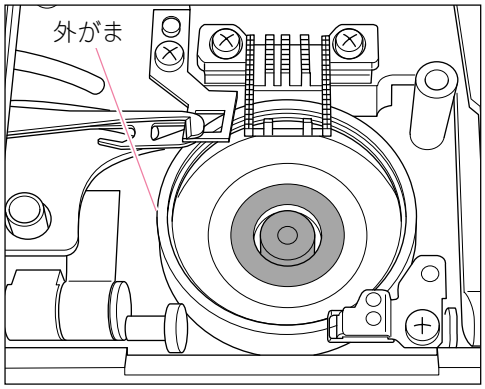
1 針と押えを取りはずします。ボビンカバーとボビンを取りはずします。ねじをはずし、針板を取りはずします。



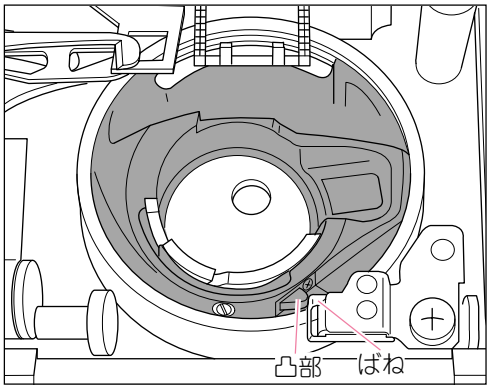
2 ボビンケースの手前を上に持ち上げて取り出します。



3 外がまと送り歯のまわりを掃除します。
●掃除機を使うときれいになります。
ボビンケースのよごれはかわいた布でかるくふき取ります。



4 ボビンケースを外がまの中に手前からすべり込ませます。
ボビンケースの凸部が回転止めのばねに当たるようにします。



お知らせメッセージ

ミシンが正しくない状態でスタートしようとしたときや、間違った操作をしたときには、ピピピッと電子音がなって操作パネルにメッセージが表示されます。

上糸または下糸が切れていないか確認してください
戻る

メッセージ	原因	処置	参照ページ
ボタンホールレバーを下げてください	ボタンホールぬいを選んだ状態で、ボタンホールレバーと、ボタンホール押えが正しい位置にないのにスタートさせようとしている	ボタンホール押えとボタンホールレバーを正しくセットするか、ボタンホールぬい以外のぬい目を選んでください	30
ボタンホールがぬい終わりました　押えを上げてセットし直して下さい	ボタンホールをぬい終わったのに、もう一度スタートさせようとしている。	押えを上げ 、ボタンホール押えをぬい始めの位置に正しくセットしてから押えを下げます	31
フットコントローラをはなしてください	フットコントローラー（別売り）のペダルを踏んだまま電源スイッチを入れたか、止めぬい、文字ぬい、ボタンホールぬいをぬい終わったのにペダルを踏んでいる。または糸からみなどでミシンが緊急停止したときにペダルが踏まれたままである	ペダルをはなしてください	8
押えを下げてください	押えを上げたままスタートさせようとしている	布地を入れ、押えを下げてぬってください	16
これ以上選ぶことができません	文字ぬい、模様ぬいの組み合わせが50個をこえてしまった	組み合わせる模様や、文字は50個以内にしてください	33
ぬい目を選んでください	ぬい目を選ばないままスタートさせようとしている	ぬい目を選んでください	9,18 32,36
「決定」ボタンを押してください	文字選択画面のままスタートさせようとしている	「決定」ボタンを押してからスタートしてください	45
「戻る」ボタンを押してください	レイアウト画面のままスタートさせようとしている	「戻る」ボタンを押してからスタートしてください	46,47
返しぬいボタンをはなしてください	返しぬいボタンを押したまま電源スイッチを入れたか、糸からみなどでミシンが緊急停止したときに返しぬいボタンが押されたままである	返しぬいボタンをはなしてください	8
スタートストップボタンをはなしてください	スタート・ストップボタンを押したまま電源スイッチを入れたか、糸からみなどでミシンが緊急停止したときにスタート・ストップボタンが押されたままである	スタート・ストップボタンをはなしてください	8

上糸または下糸が切れていないか、確認してください	上糸または下糸が無くなったか、糸のかけ方がおかしい	上下糸をかけ直し、「戻る」ボタンを押してください	13,14
フットコントローラを取り外してください	フットコントローラー（別売り）が接続されているのに、スタート・ストップボタンを押した	コントローラーで操作するか、はずしてください（刺しゅうぬいでは、使えません）	8
針を上に上げてください	刺しゅう枠が動くときに針が下にあった	針上下ボタンを押すかハズミ車を手前に回して、針を上げてください	8
針上下ボタンをはなしてください	針上下ボタンを押したまま電源スイッチを入れた	針上下ボタンをはなしてください	8
糸切りボタンをはなしてください	糸切りボタンを押したまま電源スイッチを入れた	糸切りボタンをはなしてください	8
電源を切ってから刺しゅう機を接続してください	刺しゅう機をつながずに刺しゅうボタンを押した	電源スイッチを切って刺しゅう機を取り付けてください	37
電源を切ってから刺しゅうカードを差し込んでください	刺しゅうカードを差し込まずに刺しゅうぬいメニューの「カード」ボタンを押した	電源スイッチを切って刺しゅうカードを差し込んでください	41
押えを上げてください	刺しゅう枠が動くときに押えが下にあった	押え上げレバーを上げてください。	8
カードが正しくありません	ぬいを中断後、復帰ボタンを押したときに違うカードが入っていた このミシンでは、使えないカードが入れられた	電源スイッチを切り中断時と同じカードを入れてください 当社純正の刺しゅうカードをご使用ください。	51 41
この枠は選べません、模様が枠からはみ出します	刺しゅうの模様よりも小さい枠を設定しようとしている	もっと大きい枠を設定してください。	42
針上下ボタンを押して針を上にあげてください	刺しゅう機を取り付けて、電源を入れたときに、針が下にあった	針上下ボタンを押して針を上にあげてください	8
枠からはみ出すので選ぶことができません	設定した枠よりも模様や文字が大きかったり、文字数が多い	大きい枠を設定するか、レイアウトを調整してください	42,46 47
システムの異常です	糸切り装置のエラー （30番以下の太い糸や、特殊な糸を使っている）	電源スイッチを切ってボビンを入れ直してください（30番以下の太い糸や、特殊な糸には糸切りボタンを使わないでください）	13
電源スイッチを入れ直して下さい	コンピュータのエラー	電源スイッチを入れ直してください（それでも同じメッセージが出る場合は、修理・サービスをお申しつけください）	7

不調の原因と処置

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてみてください。

不調の状態	原因	処置	参照ページ
上糸が切れる	糸のかけ方がまちがっている ボビンケースに糸がからまっている 針の取り付け方がまちがっている 布地に対して糸が弱すぎる	正しくかけ直します からんだ糸を取りのぞきます 正しく付け直します 布地と糸、針の関係を合わせます	14 53 11 11
下糸が切れる	ボビンの入れ方がまちがっている ボビンケースに糸がからまっている かまにゴミがたまっている	正しく入れ直します からんだ糸を取りのぞきます 掃除します	13 53 53
ぬい目がとぶ	針の取り付け方がまちがっている 針が曲がっているか、先がつぶれている 布地に対して糸と針が合っていない	正しく付け直します 針を取りかえます 布地と糸、針の関係を合わせます	11 11 11
ぬい目にしわがよる	糸のかけ方がまちがっている ボビンの入れ方がまちがっている 針の先がつぶれている	正しくかけ直します 正しく入れ直します 針を取りかえます	14 13 11
ぬい目に輪ができる	ボビンの入れ方がまちがっている 糸のかけ方がまちがっている	正しく入れ直します 正しくかけ直します	13 14
糸通しができない	針が上に上がっていない 針の取り付け方がまちがっている 針が曲がっている	針上下ボタンで針を上に上げます 正しく付け直します 針を取りかえます	8 11 11
糸調子が合わない	ボビンの入れ方がまちがっている 糸のかけ方がまちがっている 糸調子が自動になっていない	正しく入れ直します 正しくかけ直します 自動にします	13 14 10
ぬい目の形がくずれる	バランスが合っていない	バランス調整ねじで調整します	35
刺しゅうがくずれる	刺しゅう枠に布地が正しく取り付けられていない 伸縮性のある布地や薄地の布を使っている 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない	布地を正しく取り付けます 裏に芯地をしくか接着芯をはります 正しく取り付けます	43 42 43

不調の状態	原因	処置	参照ページ
布地を送らない	ぬい目の長さが布地に合っていない 送り歯にほこりがかたまっている	ぬい目の長さを調整します 掃除します	18 53
針が折れる	布地を無理に引っ張っている ぬい目に対して押えが合っていない（針が押えにあたっている） 針の取り付け方がまちがっているか、しめ方がゆるい 布に対して針が細すぎる	手は布地にそえるだけにします ぬい目にあった押えを取り付けます 正しく付け直します 布地と糸、針の関係を合わせます	16 20〜 11 11
回転が重く音が高い 糸切りの切れが悪い	かまの内部や送り歯にごみがたまっている	針板をはずして掃除します	53
操作パネルが見えない	画面の濃さが合っていない 電源を早く入れ直した	輝度調節ダイヤルで調節します 電源をゆっくり入れ直します	7 7
ミシンが動かない	電源プラグの差し込みが不十分である 電源スイッチが入っていない コントローラー（別売り）が取り付けてある 糸巻き軸が右へ押されている 押えが上がっている ボタンホールぬいで： 　ボタンホールレバーがきちんと下がっていない 　ボタンホール押えが取り付けられていない 　押えの枠と押えの間にスキマがある	しっかり差し込みます スイッチを入れます コントローラーで操作するか、コントローラーをはずします 左へもどします 押えを下げます きちんと下げます ボタンホール押えを取り付けます 枠を一番向こう側に戻します	7 7 8 12 8 30 30 30
刺しゅう機が動かない	刺しゅう機が正しく取り付けられていない。 刺しゅう機用電源コードが接続されていない	正しく取り付けます コードを接続します	37 37

このページに記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店または「お客様相談係」（裏表紙参照）におたずねください。

ぬい目一覧（実用・模様・文字ぬい）

●実用ぬい（選び方18ページ）

基本ぬい

ぬい目								
用途	地ぬい左 ピンタック	地ぬい中 ファスナー付け ピンタック	地ぬい左 返しぬい付き	伸縮強化 直線	伸縮 ぬい	ジグザグ ぬい	つくろい ぬい	伸縮強化 ジグザグ
押え	ファスナー	ジグザグ						
参照ページ	20,28	20,24,28	20	21	21	21	26	21

縁かがり・まつりぬい

ぬい目						
用途	縁かがりぬい				まつりぬい	縁かがりぬい
押え	縁かがり	ぬい目の幅=5	小さい幅のジグザグ	ジグザグ		
参照ページ	22				23	22

かざりぬい

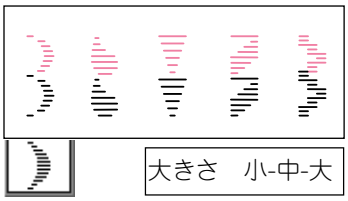
ぬい目								
用途	パッチワーク			クロスステッチ	アップリケ	かざりぬい	スカラップ	かざりぬい
押え	ジグザグ			ジグザグ・サテン			ジグザグ	ジグザグ サテン
参照ページ	26			27	28	29	29	29

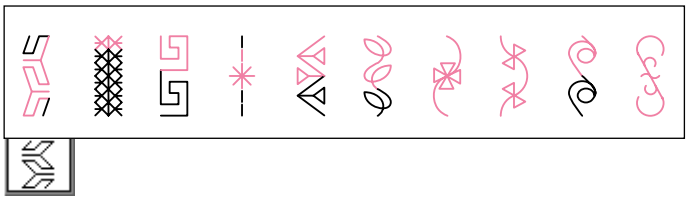
ボタンホール

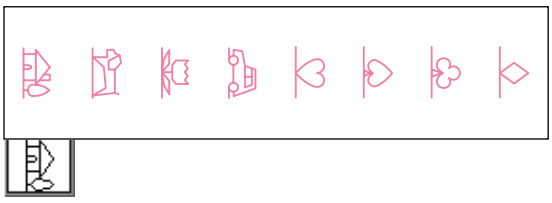
ぬい目				
用途	普通地	厚地	薄地	ニット伸縮地	伸縮地
押え	ボタンホール				
参照ページ	30				

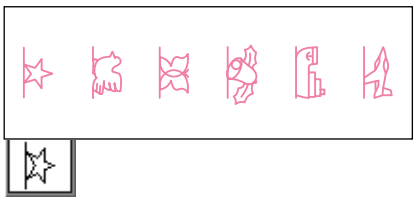
●模様ぬい（選び方32ページ）

赤で表示された部分が、模様を組み合わせたときに記憶される１単位です。

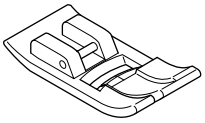


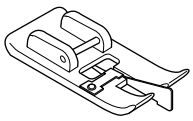


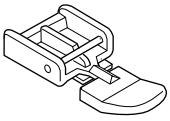


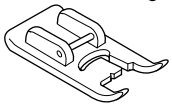


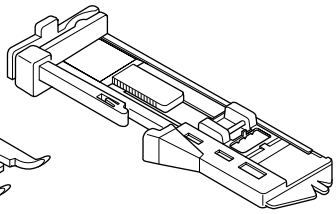
押え	サテン


ジグザグ押え


ふちかがり押え


ファスナー押え


サテン押え


ボタンホール押え

●文字ぬい（選び方32ページ）

よこ書き　ひらがな

あ～は	ま～わ012..	が～ぱ
あいうえお	まみむめも	がぎぐげご
かきくけこ	やゆよゃゅょ	ざじずぜぞ
さしすせそ	らりるれろ	だぢづでど
たちつてとっ	わをんゐゑー	ばびぶべぼ
なにぬねの	0 1 2 3 4＿	ぱぴぷぺぽ
はひふへほ	5 6 7 8 9.	

よこ書き　カタカナ

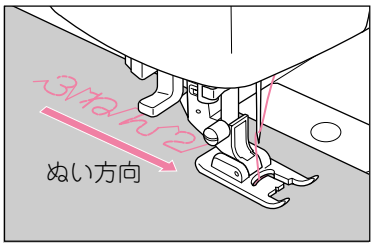
ア～ハ	マ～ワ012..	ガ～パ
アイウエオ	マミムメモ	ガギグゲゴ
カキクケコ	ヤユヨャュョ	ザジズゼゾ
サシスセソ	ラリルレロ	ダヂヅデド
タチツテトッ	ワヲンヰヱー	バビブベボ
ナニヌネノ	0 1 2 3 4＿	パピプペポ
ハヒフヘホ	5 6 7 8 9.	

たて書き　ひらがな

あ～は	ま～わ012..	が～ぱ
あいうえお	まみむめも	がぎぐげご
かきくけこ	やゆよゃゅょ	ざじずぜぞ
さしすせそ	らりるれろ	だぢづでど
たちつてとっ	わをんゐゑー	ばびぶべぼ
なにぬねの	0 1 2 3 4＿	ぱぴぷぺぽ
はひふへほ	5 6 7 8 9.	

たて書き　カタカナ

ア～ハ	マ～ワ012..	ガ～パ
アイウエオ	マミムメモ	ガギグゲゴ
カキクケコ	ヤユヨャュョ	ザジズゼゾ
サシスセソ	ラリルレロ	ダヂヅデド
タチツテトッ	ワヲンヰヱー	バビブベボ
ナニヌネノ	0 1 2 3 4＿	パピプペポ
ハヒフヘホ	5 6 7 8 9.	



- ひらがなの横書きとアルファベットは、文字を横に倒した状態で、たて方向にぬい進みます。
- ＿は、１文字分あけるときに使います。（実際には１針ぬい進むだけです。）
- 横書きとたて書きとでは、ぬい上がりの文字の形が少し異なります。

アルファベット　A　ゴシック体

ABC..	abc..	012..
A B C D E	a b c d e	0 1 2 3 4
F G H I J	f g h i j	5 6 7 8 9
K L M N O	k l m n o	＿. ？！
P Q R S T	p q r s t	
U V W X Y Z	u v w x y z	

アルファベット　A　筆記体

ABC..	abc..	012..
A B C D E	a b c d e	0 1 2 3 4
F G H I J	f g h i j	5 6 7 8 9
K L M N O	k l m n o	＿. ？！
P Q R S T	p q r s t	
U V W X Y Z	u v w x y z	

押え	サテン

刺しゅう一覧（文字）

（選び方39ページ）

よこ書き文字

ひらがな

あ～は	ま～っ	が～ぱ
あいうえお	まみむめも	がぎぐげご
かきくけこ	やゆよ	ざじずぜぞ
さしすせそ	らりるれろ	だぢづでど
たちつてと	わをん	ばびぶべぼ
なにぬねの	ぁぃぅぇぉ	ぱぴぷぺぽ
はひふへほ	っゃゅょ	

カタカナ

ア～ハ	マ～ッ	ガ～パ
アイウエオ	マミムメモ	ガギグゲゴ
カキクケコ	ヤユヨ	ザジズゼゾ
サシスセソ	ラリルレロ	ダヂヅデド
タチツテト	ワヲン	バビブベボ
ナニヌネノ	ァィゥェォ	パピプペポ
ハヒフヘホ	ッャュョヴ	

数字・漢字

数字・漢字	漢字	記号
0 1 2 3 4	組部会班係	ー、。・～
5 6 7 8 9	才名前生日	「」／？！
一二三四五	月火水木金	&♪ （）＿
六七八九十	土赤白青緑	
幼稚保育園	黄	
小中学校年		

たて書き文字

ひらがな

あ～は	ま～っ	が～ぱ
あいうえお	まみむめも	がぎぐげご
かきくけこ	やゆよ	ざじずぜぞ
さしすせそ	らりるれろ	だぢづでど
たちつてと	わをん	ばびぶべぼ
なにぬねの	ぁぃぅぇぉ	ぱぴぷぺぽ
はひふへほ	っゃゅょ	

カタカナ

ア～ハ	マ～ッ	ガ～パ
アイウエオ	マミムメモ	ガギグゲゴ
カキクケコ	ヤユヨ	ザジズゼゾ
サシスセソ	ラリルレロ	ダヂヅデド
タチツテト	ワヲン	バビブベボ
ナニヌネノ	ァィゥェォ	パピプペポ
ハヒフヘホ	ッャュョヴ	

数字・漢字

数字・漢字	漢字
0 1 2 3 4	組部会班係
5 6 7 8 9	才名前生日
一二三四五	月火水木金
六七八九十	土赤白青緑
幼稚保育園	黄
小中学校年	

記号

記号
ー、。・～
「」／？！
&♪ （）＿

- 最後の＿は、１文字分あけるときに使います。（スペース）
- ぬい上がりの文字は、見本と少し異なることがあります。

アルファベット

ゴシック体

ABC..	abc..	012..
ABCDE	abcde	0 1 2 3 4
FGHIJ	fghij	5 6 7 8 9
KLMNO	klmno	- , . ’ /
PQRST	pqrst	? ! &
UVWXY	uvwxy	< > ( ) ＿
Z	z	

明朝体

ABC..	abc..	012..
ABCDE	abcde	0 1 2 3 4
FGHIJ	fghij	5 6 7 8 9
KLMNO	klmno	- , . ’ /
PQRST	pqrst	? ! &
UVWXY	uvwxy	< > ( ) ＿
Z	z	

筆記体

ABC..	abc..	012..
ABCDE	abcde	0 1 2 3 4
FGHIJ	fghij	5 6 7 8 9
KLMNO	klmno	- , . ’ /
PQRST	pqrst	? ! &
UVWXY	uvwxy	< > ( ) ＿
Z	z	

オールドイングリッシュ

ABC..	abc..	012..
ABCDE	abcde	0 1 2 3 4
FGHIJ	fghij	5 6 7 8 9
KLMNO	klmno	- , . ’ /
PQRST	pqrst	? ! &
UVWXY	uvwxy	< > ( ) _
Z	z	

刺しゅう一覧（ワンポイント模様）（選び方　38 ページ）

●模様番号
●たての大きさ
●よこの大きさ
●全体のぬい時間
●ぬう糸の色
　を表示しています。

No.01
|
No.26

色はぬうときの目安です。いろいろ試しぬいをして、お好みの色でぬってください。
また、各色そろえた刺しゅう糸のセットも別売品として用意してあります。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。

写真と実際の刺しゅうとでは、形が少し異なることがあります。

No.27
|
No.53

ぬい時間は、30 秒以上を切り上げた分単位で表示してあります。ただし 30 秒に満たない場合は、1 分と表示します。
従って操作パネルに表示される各色のぬい時間の合計は、全体のぬい時間と一致しない場合があります。

No.54
|
No.80

本製品には、エイチツーソフト（Tel:0422-28-5212 / Fax:0422-28-5211）製、「マスタークリップ」のクリップアートを使用しています。

No.10
たて 2.7cm
よこ 1.8cm
1分
1. 茶色
2. 緑

No.11
たて 2.8cm
よこ 1.6cm
2分
1. 茶色
2. 緑

No.12
たて 2.5cm
よこ 2.0cm
2分
1. 緑
2. 茶色

No.19
たて 2.7cm
よこ 2.4cm
3分
1. 黄緑
2. 赤
3. 黒

No.20
たて 2.6cm
よこ 2.6cm
3分
1. 黄色　4. 茶色
2. 水色
3. 赤

No.21
たて 2.4cm
よこ 2.7cm
4分
1. 水色　4. 赤
2. 黄色　5. 黒
3. 白

No.13
たて 2.4cm
よこ 2.1cm
3分
1. 白
2. 赤
3. 黒

No.14
たて 2.5cm
よこ 2.7cm
4分
1. 緑　4. 白
2. 赤
3. 黒

No.15
たて 2.7cm
よこ 2.5cm
3分
1. 黄緑
2. 赤
3. 茶色

No.22
たて 2.8cm
よこ 2.0cm
3分
1. 薄いオレンジ
2. 水色
3. 黒

No.23
たて 2.6cm
よこ 2.7cm
2分
1. 黄色
2. 赤

No.24
たて 2.7cm
よこ 2.8cm
3分
1. 水色
2. 黒

No.16
たて 2.8cm
よこ 2.2cm
4分
1. 赤
2. 緑
3. 黒

No.17
たて 2.8cm
よこ 2.3cm
4分
1. 青
2. 緑
3. 黒

No.18
たて 1.5cm
よこ 2.8cm
3分
1. 赤
2. 緑
3. 黒

No.25
たて 2.8cm
よこ 2.6cm
3分
1. 白
2. 薄いオレンジ
3. 黒

No.26
たて 2.3cm
よこ 1.7cm
3分
1. 肌色
2. 黒

No.36
たて 2.6cm
よこ 2.7cm
4分
1. 黄色
2. 茶色
3. 黒

No.37
たて 2.1cm
よこ 2.7cm
4分
1. 白
2. 茶色
3. 黒

No.38
たて 1.8cm
よこ 2.7cm
3分
1. 水色
2. 青
3. 黒

No.45
たて 2.4cm
よこ 2.7cm
3分
1. 肌色
2. 赤
3. 黒

No.46
たて 2.4cm
よこ 2.7cm
4分
1. 白
2. 赤
3. 黒

No.47
たて 2.6cm
よこ 2.7cm
3分
1. 黄色
2. 黒

No.39
たて 2.2cm
よこ 2.5cm
3分
1. 肌色
2. 茶色

No.40
たて 2.5cm
よこ 2.8cm
3分
1. 黄緑
2. 薄いオレンジ
3. 黒　4. 赤

No.41
たて 2.7cm
よこ 2.6cm
3分
1. 水色　4. 黒
2. 黄色
3. 青

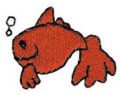
No.48
たて 2.6cm
よこ 2.8cm
3分
1. 黄色　4. 黒
2. 白
3. 青

No.49
たて 2.6cm
よこ 2.7cm
3分
1. 白
2. 青
3. 黒

No.50
たて 2.2cm
よこ 2.5cm
3分
1. 薄いオレンジ
2. 黒

No.42
たて 2.0cm
よこ 2.7cm
3分
1. 水色
2. 青
3. 黒

No.43
たて 1.8cm
よこ 2.9cm
3分
1. 黄緑　4. 黒
2. 緑
3. 水色



No.44
たて 2.1cm
よこ 2.9cm
3分
1. 赤
2. 黒

No.51
たて 2.5cm
よこ 2.8cm
4分
1. 赤
2. 黄色
3. 黒

No.52
たて 2.7cm
よこ 2.6cm
5分
1. 白
2. 薄いオレンジ
3. 黒

No.53
たて 2.6cm
よこ 2.4cm
3分
1. 水色
2. 赤
3. 黒

No.63
たて 2.1cm
よこ 1.6cm
2分
1. 白
2. 赤
3. 黒

No.64
たて 2.6cm
よこ 2.6cm
4分
1. 赤　4. 黒
2. 水色
3. 黄色

No.65
たて 2.5cm
よこ 2.4cm
4分
1. 肌色　4. 黒
2. 白
3. 赤

No.72
たて 2.0cm
よこ 2.8cm
3分
1. 赤　4. 黒
2. 黄色
3. 黄緑

No.73
たて 2.3cm
よこ 2.7cm
3分
1. 薄いオレンジ
2. 赤
3. 黒

No.74
たて 2.7cm
よこ 2.4cm
4分
1. 黄色　4. 黒
2. 黄緑
3. 緑

No.66
たて 2.0cm
よこ 2.0cm
3分
1. 赤　4. 黒
2. 緑
3. 黄色

No.67
たて 1.4cm
よこ 2.8cm
2分
1. 薄いオレンジ
2. 黄色
3. 黒

No.68
たて 2.3cm
よこ 2.4cm
5分
1. 黄色　4. 黒
2. 赤
3. 水色

No.75
たて 2.4cm
よこ 2.4cm
4分
1. 黄緑　4. 黒
2. 白
3. 肌色

No.76
たて 2.1cm
よこ 2.2cm
3分
1. 濃いピンク
2. 白　4. 黒
3. 肌色　5. 濃いピンク

No.77
たて 1.8cm
よこ 2.8cm
3分
1. 黄緑
2. 緑

No.69
たて 2.8cm
よこ 2.0cm
2分
1. 茶色
2. 黒

No.70
たて 2.9cm
よこ 3.1cm
4分
1. 白　4. 白
2. 赤
3. 黒

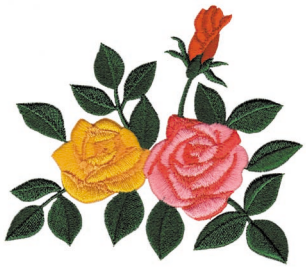
No.71
たて 2.7cm
よこ 2.6cm
3分
1. 黄色　4. 黒
2. 黄緑
3. 青

No.78
たて 1.8cm
よこ 2.7cm
4分
1. 白
2. 赤
3. 黒

No.79
たて 2.8cm
よこ 2.4cm
2分
1. 赤
2. 白
3. 黒

No.80
たて 3.1cm
よこ 3.2cm
6分
1. 青
2. 白
3. 黒

刺しゅう一覧（大型模様）（選び方　38 ページ）



No. 01
たて　9.8 cm
よこ11.4 cm
44 分
1. 緑
2. 黄色
3. 薄いオレンジ
4. ピンク
5. 濃いピンク
6. 朱色
7. 赤

No. 02
たて 11.0 cm
よこ 11.4 cm
21 分
1. 緑
2. ピンク
3. 濃いピンク

No. 03
たて 8.0 cm
よこ 8.0 cm
13 分
1. 黄緑
2. 濃いピンク
3. 薄紫
4. 黄色

No. 04
たて 10.9 cm
よこ 11.2 cm
16 分
1. 薄緑
2. 紫
3. 濃い緑
4. 薄緑

No. 05
たて 7.2 cm
よこ 7.1 cm
16 分
1. 緑
2. ピンク
3. 濃いピンク
4. 黄色

No. 06
たて 8.9 cm
よこ 7.2 cm
27 分
1. 薄緑
2. 緑
3. 薄紫
4. 白
5. 黄色

No. 07
たて 9.9 cm
よこ 6.6 cm
12 分
1. 赤
2. 黒

No. 08
たて 3.9 cm
よこ 6.9 cm
11 分
1. 薄いグレー
2. 水色

No. 09
たて 19.8 cm
よこ　3.8 cm
22 分
1. 緑
2. ピンク
3. 濃いピンク

No. 10
たて 15.4 cm
よこ　3.2 cm
9 分
1. 黄緑
2. ピンク
3. 黄色

No. 11
たて16.1 cm
よこ　1.5 cm
4 分
1. 薄紫
2. 濃いピンク

No. 12
たて19.0 cm
よこ　3.1 cm
15 分
1. 緑
2. 黄色
3. 赤

修理サービス要領

◎修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から 1 年間の「無料修理保証書」が発行されます。
   内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

◎修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常 8 年間は、必要に応じて当社よりご購入店に供給できるよう体制を整えております。

◎無料修理保証期間後の修理サービス

1. 使用説明書に基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
   イ . 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
   ロ . 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
   ハ . ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
   . ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
   ホ . 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料の合計額となります。

150 年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使えるミシンをお届けいたしております。修理サービスについてご不審の点がある場合には下記にお申し越ください。

お客様相談係

株式会社 シンガーハッピージャパン　電話：03-3837-1865

SINGER®
シンガーミシン

株式会社 シンガーハッピージャパン
〒 110-0016　東京都台東区台東 2 丁目 9 番 5 号
電話　03-3837-1865

® は THE SINGER COMPANY の登録商標です。

32661 B3. 9800DX